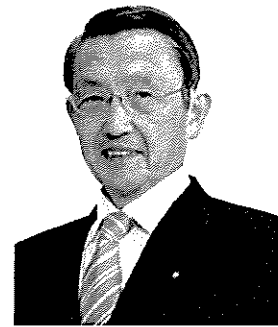


国際ロータリー第 2650 地区

社会奉仕委員会

2016 ～ 2017 年度事業報告集

国際ロータリー第 2650 地区
2016 ～ 2017 年度
社会奉仕委員会



国際ロータリー第 2650 地区
2016-17 年度社会奉仕担当諮問委員
坂 本 克 也

ご 挨 拶

2016-17 年度の地区内クラブの社会奉仕委員会の奉仕活動の報告書を作成されました。いずれも素晴らしい社会奉仕事業でありました。これらの社会奉仕事業の実施までの地域のニーズに基づく企画、準備に多くの努力をされたことに大いに敬服申し上げます。

社会奉仕は、クラブの所在地または行政区域内に住まわれている人々の生活の向上、質を高めるために、他の組織や、奉仕理念を共有する人々との協力をも得て行うものです。

時には、今日までの継続事業として社会奉仕事業を実施されているクラブもあります。一方今年度は、同じ事業でも 5 W 1 H（いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのように）の一部を替えられた事業もありました。これは例年とは違って社会背景が変わったからかもしれません。社会奉仕は範囲が広い奉仕でありますので的が絞りにくいこともあります。それだけにやりがいのある奉仕事業であり地域の皆様から多くの感謝の念を頂戴することになります。更に、我々ロータリアンの奉仕への喜び、クラブ会員としての誇りが一層呼び起こされることになります。

昨今、国際的にも保護主義や自国第一主義、一方 ポピュリズムなど今までにあまり主張されてなかったことを多く耳にします。

ここに一層、ロータリー精神に基づく社会奉仕が重要になってまいります。

今後このすばらしい[報告書]は各クラブの会長・幹事・会員の皆様方、特に社会奉仕委員長にとっての今後の奉仕事業の実践に有意義な事例となる事でしょう。

関心をお持ちになった社会奉仕事業について担当のクラブに直接お訊きになってより一層その内容を深めていただければ幸いと存じます。

今後は、ロータリーも大いに変化しようとしています。各クラブでの自主性と柔軟性を十分に発揮して楽しいロータリーライフをお送りください。

報告書作成にあたりご尽力頂いた地区、各クラブの関係の皆様方に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

ご 挨 拶

ロータリーにおける社会奉仕とは、地域に居住する人々の暮らしや生活の質を高めるために行うさまざまな取り組みであると言われています。

2016 - 17 年度の事業報告集を発行するにあたりあらためて地区内 97 クラブの事業報告に目を通しますと、会員数や予算が市部と郡部で大きく異なるなかにおいても、それぞれのクラブの創立の歴史や地域の文化や特性、そこに住む人々との関わりが見えてきます。

しかし地域のニーズが複雑多様化する今日、ロータリーが単独で担える奉仕活動は減少し、自治体や各種団体との共催協賛事業が増加しました。

そのような状況下、地区社会奉仕委員会は社会奉仕事業のヒントになる情報提供の場として年 2 回の委員長会議を開催しています。地域で活躍されている方の講演と、京都・奈良・福井・滋賀からのユニークで優秀な事業の事例を発表して頂いています。

2010 - 11 年度からの「まちづくり基金」奨励金の事業も最終年となりました。応募数 20 クラブ 21 事業から選考を致しました。取り組まれたクラブのご苦労や達成の喜びが伝わるレベルの高い事業内容でありました。

会員皆さま方からの 2016 - 17 年度地区社会奉仕委員会へのご協力とご支援に感謝申し上げますと共に 97 クラブのご発展をお祈り申し上げます。

国際ロータリー第 2650 地区

2016 - 17 年度社会奉仕委員会

委員長	北野 加代子	(栗東ロータリークラブ)
副委員長	影近 義之	(京都東ロータリークラブ)
副委員長	宮倉 靖幸	(五條ロータリークラブ)
委員	岩井 美晴	(京都南ロータリークラブ)
委員	岩崎 新	(福井ロータリークラブ)
委員	久保 和子	(京都洛西ロータリークラブ)
委員	峰 覚雄	(長浜東ロータリークラブ)
委員	大島 國裕	(奈良ロータリークラブ)
委員	澤村 富哉	(大津東ロータリークラブ)
委員	竹内 順子	(福井フェニックスロータリークラブ)

目次

京都府

綾部ロータリークラブ	...	2	宇治ロータリークラブ	...	79	大津東ロータリークラブ	...	141
福知山ロータリークラブ	...		宇治鳳凰ロータリークラブ	...	81	大津西ロータリークラブ	...	142
福知山西南ロータリークラブ	...	7				栗東ロータリークラブ	...	143
亀岡ロータリークラブ	...	8	福井県			高島ロータリークラブ	...	145
亀岡中央ロータリークラブ	...	9	福井ロータリークラブ	...	83	野洲ロータリークラブ	...	147
京丹後ロータリークラブ	...	10	福井あじさいロータリークラブ	...	84	八日市南ロータリークラブ	...	151
京都ロータリークラブ	...	14	福井フェニックスロータリークラブ	...	85			
京都伏見ロータリークラブ	...	17	福井東ロータリークラブ	...	88	奈良県		
京都平安ロータリークラブ	...		福井北ロータリークラブ	...	94	あすかロータリークラブ	...	153
京都東ロータリークラブ	...	19	福井南ロータリークラブ	...	97	五條ロータリークラブ	...	154
京都東山ロータリークラブ	...		福井西ロータリークラブ	...	99	平城京ロータリークラブ	...	155
京都北東ロータリークラブ	...		福井水仙ロータリークラブ	...	100	生駒ロータリークラブ	...	157
京都城陽ロータリークラブ	...	20	勝山ロータリークラブ	...		橿原ロータリークラブ	...	159
京都桂川ロータリークラブ	...	21	丸岡ロータリークラブ	...	104	奈良ロータリークラブ	...	161
京都北ロータリークラブ	...	23	三園ロータリークラブ	...	105	奈良東ロータリークラブ	...	162
京都南ロータリークラブ	...	25	大野ロータリークラブ	...	107	奈良西ロータリークラブ	...	164
京都モーニングロータリークラブ	...	26	鯖江ロータリークラブ	...	109	奈良大宮ロータリークラブ	...	166
京都紫野ロータリークラブ	...	28	鯖江北ロータリークラブ	...		桜井ロータリークラブ	...	170
京都中ロータリークラブ	...	29	武生ロータリークラブ	...		大和郡山ロータリークラブ	...	
京都西ロータリークラブ	...	31	武生府中ロータリークラブ	...	110	やまとまほろばロータリークラブ	...	173
京都西山ロータリークラブ	...	33	敦賀ロータリークラブ	...	111	やまと西和ロータリークラブ	...	175
京都乙訓ロータリークラブ	...	34	敦賀西ロータリークラブ	...	112	大和高田ロータリークラブ	...	177
京都洛中ロータリークラブ	...	35	若狭ロータリークラブ	...	115			
京都洛北ロータリークラブ	...	36				Eクラブ		
京都洛南ロータリークラブ	...	39	滋賀県			日本ロータリーEクラブ2650	...	178
京都洛西ロータリークラブ	...	44	びわ湖八幡ロータリークラブ	...	118			
京都洛東ロータリークラブ	...	45	五個荘能登川ロータリークラブ	...	122	2016-17年度まちづくり基金奨励金		
京都嵯峨野ロータリークラブ	...		東近江ロータリークラブ	...		最優秀賞		
京都さくらロータリークラブ	...	48	彦根ロータリークラブ	...	126	大津中央ロータリークラブ	...	181
京都西北ロータリークラブ	...	50	彦根南ロータリークラブ	...	128			
京都西南ロータリークラブ	...	57	湖南ロータリークラブ	...	129			
京都紫竹ロータリークラブ	...	59	草津ロータリークラブ	...	131	※上半期報告書は2016年12月15日、		
京都朱雀ロータリークラブ	...	61	水口ロータリークラブ	...	133	下半期報告書は2017年6月15日締切で		
京都田辺ロータリークラブ	...	62	守山ロータリークラブ	...	134	ご提出頂いたものです。		
京都山城ロータリークラブ	...	64	長浜ロータリークラブ	...	136			
京都八幡ロータリークラブ	...	66	長浜東ロータリークラブ	...	137	※京都西山ロータリークラブは、		
舞鶴ロータリークラブ	...	71	長浜北ロータリークラブ	...		2017年7月1日より、		
舞鶴東ロータリークラブ	...	72	近江八幡ロータリークラブ	...		京都イブニングロータリークラブへ		
宮津ロータリークラブ	...		大津ロータリークラブ	...	139	名称変更されました。		
園部ロータリークラブ	...	75	大津中央ロータリークラブ	...	140			

2016-17年度

綾部

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 仲江 文男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	あやべ水無月花火大会 早朝清掃作業		
実施日	2016年7月24日(日)		
実施場所	京都府 綾部市 丹波大橋下、市民グラウンド交通公園付近一帯		
協力団体	綾部ローターアクトクラブ		
参加人数	会員 17 名	→→ 会員参加率 61 %	
	市民 名		
	その他 アクト11名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	綾部市では、水無月花火大会が7月23日に行われた。 花火大会後の清掃作業を翌日早朝より綾部ローターアクトクラブメンバーと共に行った。		
事業結果	他の市民団体とも協同して行われる。 清掃作業は、ロータリークラブ、ローターアクトクラブの市民への理解につながる。   		
新聞、TV等での報道	あやべ市民新聞に掲載された。		
事業予算	10,000	円	
事業執行額	8,411	円	

2016-17年度

綾部

ロータリークラブ

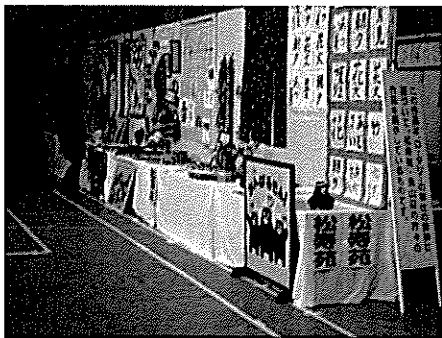
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 仲江 文男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第64回綾部市総合文化祭出展（入所者の作品展示）		
実施日	2016年11月2日（水）～4日（金）		
実施場所	綾部市市民センター		
協力団体	綾部市、綾部市文化協会		
参加人数	会員 12 名	→→ 会員参加率 43 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	綾部市の老人ホーム（綾部さくらホーム、松寿苑）、老健施設（清山荘）、障害者福祉施設（あやべ作業所）に在籍する皆様に文芸作品（書、手芸、絵画等）を、綾部市総合文化祭に合わせて展示ブースを確保。展示をし、広く一般市民に公開することにより、入所者に生きがいを感じてもらう。 		
事業結果	各施設より約400点の参加があり、ロータリアンは搬入、展示、会場案内、搬出作業を行った。当期間中、一般市民も多数来場し、入所者の作品を鑑賞した。   		
新聞、TV等での報道	あやべ市民新聞、FMいかる等で紹介された。		
事業予算	16,000	円	
事業執行額	16,000	円	

2016-17年度

綾部

ロータリークラブ

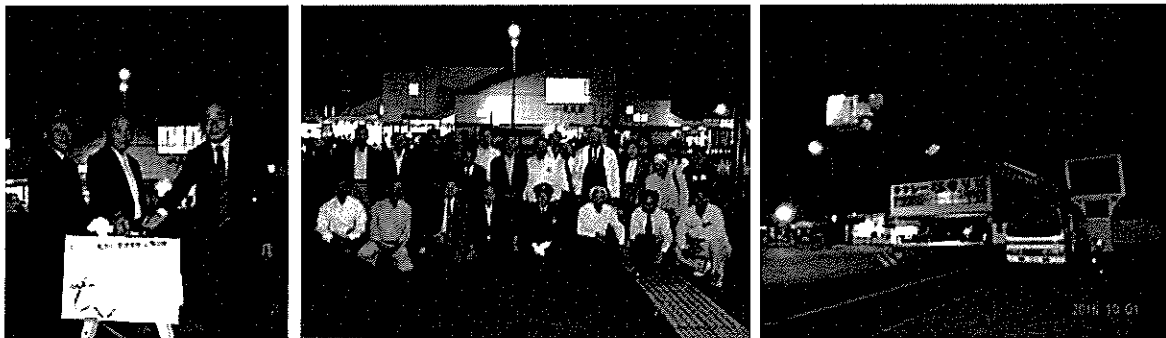
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 仲江 文男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	あやべピンクリボン運動ライトアップ事業		
実施日	2016年10月1日(土) 18:30～24:00		
実施場所	JR綾部駅南口一帯		
協力団体	綾部市、JR綾部駅		
参加人数	会員	19 名	→→ 会員参加率 68 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 当クラブでは、あやべピンクリボン運動を昨年度より展開しております。 本年度も「ピンクリボン運動月間」の10月初日である10月1日に、綾部市様のご後援、また、JR綾部駅様のご協力をいただき、ライトアップ点灯式を実施。JR綾部駅がピンク色に染まりました。 ※ライトアップは深夜12時過ぎまで行った。			
事業結果 広く綾部市民の目に留まり、綾部のランドマーク的建物である綾部駅をピンク色のライトアップをすることで、綾部市民の乳がん検診意識を少しでも高めてもらう目的で実施した。			
			
新聞、TV等での報道 あやべ市民新聞に掲載された。 また、毎月2回、同新聞社にあやべピンクリボン運動の一環として、乳がん、早期発見、早期治療 検診を受診していただくよう広告を掲載し市民に幅広く呼びかけている。(ピンク色でお見せできないのが残念)			
			
事業予算	11,000	円	
事業執行額	5,000	円	

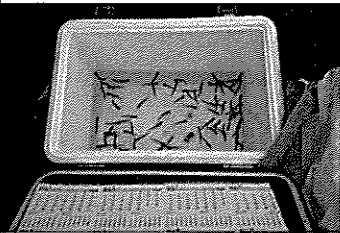
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 仲江文男

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	～由良川にサケよ帰れ～ 綾部サケ放流事業 「サケ放流まつり」		
実施日	平成29年3月11日(土) 10:00～(サケの稚魚放流日) 他		
実施場所	由良川左岸白瀬橋下(由良川花庭園付近)		
協力団体	主催: 綾部サケ放流事業実行委員会		
参加人数	会員 5 名	→ 会員参加率 20 %	
	市民 約300 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	①平成28年11月 8日(火) 19:00～(第1回綾部サケ放流事業実行委員会) ②平成29年 1月 6日(金) 16:00～20:00(サケの卵配布日) ④平成29年 3月11日(土) 10:00～(サケの稚魚放流日) 事業目的: 綾部市を貫流し、日本海へ注ぐ由良川は、サケが遡上する最南端の川です。 そして、綾部は、サケの稚魚を放流する最上流地点でもあり、子供達の心に ふるさと綾部を愛する心豊かな文化を育てたい…。 また、サケの帰る美しい由良川を守ることを目的に実施された。		
事業結果	    		
新聞、TV等での報道	由良川サケ放流事業が、この度、農林水産大臣賞を受賞されるなど、長年の功績が称えられた。		
事業予算	10,000	円	
事業執行額	10,000	円	

2016-17年度

綾部

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 仲江文男

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ロータリーの森合同清掃例会		
実施日	平成29年6月11日 (日)		
実施場所	清掃場所: 綾部市井根山公園、 例会場所: 科研電機 (浅倉修会員綾部工場内)		
協力団体	綾部ローターアクトクラブ		
参加人数	会員 16 名 → 会員参加率 61.54 % 市民 名 その他 アクト7名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	事業目的: 地域貢献、社会貢献、地域美化の振興 事業内容: 綾部ローターアクトクラブと合同でロータリーの森(井根公園一帯)の清掃を行った。 今年度は、武田菫会員より紫陽花の苗木を提供いただき、植樹を行った。 清掃後、浅倉会員の工場へ移動し、例会と懇親会(バーベキュー)を行い、相互の懇親を深めた。		
事業結果			
新聞、TV等での報道			
事業予算	10,000	円	
事業執行額	10,000	円	

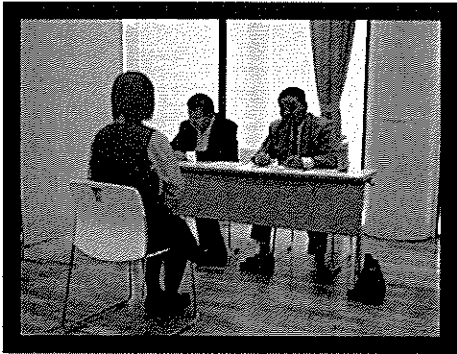
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 足立 正

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	新社会人セミナー・模擬面接体験会		
実施日	平成28年9月3日(土)		
実施場所	市民交流プラザふくちやま		
協力団体			
参加人数	会員 19 名	→→ 会員参加率 46.3 %	
	市民 42 名		
	その他(学校関係者) 4 名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	就職活動を控える、福知山市内高校在学中の生徒を支援する目的で実施。当ロータリークラブ会員(旅行代理人人材育成担当経験者)による「社会人セミナー」のあと、会員2名と高校生による模擬面接を行った。 また、待ち時間を利用し、会員である社会保険労務士による「労働法」に関するセミナーを開催。		
事業結果	市内3校から高校生42名が参加。個人別評価シートを学校へ提供し、直前に控えた就職面接に活用して頂いた。  		
新聞、TV等での報道	地元地域新聞「両丹日日新聞」に写真入り記事として掲載頂いた		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	32,076	円	

2016-17年度

亀岡

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 奥村 昌信

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都丹波Kameoka 夢ナリエ		
実施日	2016年11月12日(土)～2016年12月25日(日)		
実施場所	ききょうの里(京都府亀岡市宮前町猪倉休場20)		
協力団体	一般社団法人亀岡青年会議所、ききょうの里灯り実行委員会、亀岡市、亀岡観光協会		
参加人数	会員 25 名	→ 会員参加率 83 %	
	市民 100 名		
	その他 行政15名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	亀岡市宮前町猪倉は大変過疎が進んでおります。地域には若者が少なく、これからの地域発展を考えると、起爆剤となる事業の必要性があります。開催地である谷性寺は亀岡ゆかりの戦国武将明智光秀を祀る場所で、夏は明智光秀の家紋であるききょうの花を愛でていただく「ききょうの里」事業を開催しており、冬にはライトアップ事業を開催し地域発展を盛り上げてまいりました。そして今冬「Kameoka 夢ナリエ」と題し、グレードアップしたライトアップ事業を企画いたしました。		
事業結果	現在継続開催中ではありますが地域の皆様方はじめ市内外から多くの方にご来場いただいております。  		
新聞、TV等での報道	京都新聞にご掲載いただきました。		
事業予算	300,000	円	
事業執行額	300,000	円	

2016-17年度

亀岡中央

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 木曾卓宏

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	青葉学園との交流事業		
実施日	2月3日(金)・3月18日(土)		
実施場所	青葉学園・滋賀県琵琶湖博物館及び滋賀農業公園(プレーメの丘)		
協力団体	2月3日 (一社)亀岡青年会議所		
参加人数	会員 8 名	→ 会員参加率	%
	市民 40 名		
	その他 (一社)亀岡青年会議所 20名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	それぞれの事情により保護者と一緒に生活することができない社会福祉法人青葉学園の子ども達や、子ども達を支える学園の人々との交流を図ることで、社会奉仕事業とする。 2月3日には節分を一緒に楽しむ事業とし、(一社)亀岡青年会議所メンバーとの協働で鬼に扮したメンバーへの豆まきや節分の由来をクイズ形式で子ども達に伝え、提供した恵方巻と一緒に食する。 3月18日には子ども達と共に滋賀県琵琶湖博物館や滋賀農業公園(プレーメの丘)を観光し、移動時や食事の際に交流を図る。		
事業結果	普段、学園外の大人との交流が少ない子ども達は、当初は少し遠巻きな感じでメンバーに接するのだが、時間が経つと緊張も解けたのか笑顔で喋りかけてくることも多くなり、十分な交流が図れたことがわかった。特に低学年児童は日常で学園職員以外の大人との交流が乏しく、打ち解けるまでに時間がかかるものと思われたが、それでも高学年児童と同様に笑顔がみれたことはこの事業の有意義さを物語るものであると考える。 昨今、増加傾向にと言われる学園の子ども達はそれぞれの事情や問題を抱えているのだが、彼ら彼女の明るい将来のため大人の援助は必須であり、精神面や金銭面の援助を続けていくことは、次世代育成にもなることである。		
新聞、TV等での報道	RC広報誌及び亀岡青年会議所広報誌のみ		
事業予算	170,000	円	
事業執行額	160,612	円	



2016-17年度

京丹後

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山本 武彦

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血への協力		
実施日	2016年11月23日 (水・祝)		
実施場所	ショッピングセンター マイン		
協力団体	京丹後ローターアクトクラブ		
参加人数	会員	8 名	→→ 会員参加率 27.59 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	献血の推進をする。 献血に来られた方に粗品としてティッシュを渡しました。		
事業結果	受付115名と多くの市民の皆様にご協力頂きました。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	5,000	円	
事業執行額	4,957	円	

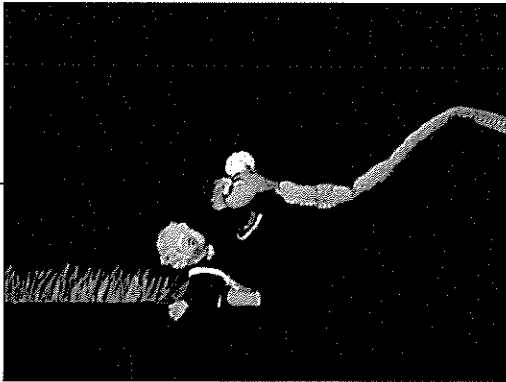
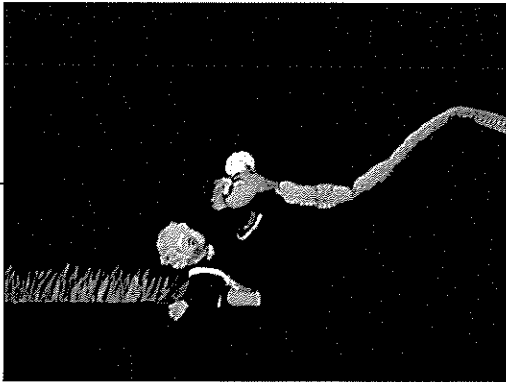
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会委員長

氏 名 : 山本 武彦

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	おはなしフェスティバル		
実施日	2017年5月14日(日)		
実施場所	京丹後市峰山総合福祉センター		
協力団体	京丹後市 京丹後市教育委員会 京丹後ローターアクトクラブ		
参加人数	会員 18 名	→ 会員参加率 52.94 %	
	市民 200 名		
	その他 京丹後ローターアクトクラブ3名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	目的は、社会での道德心の育成です。 内容は、人形劇グループ「みかんの木文庫」の皆様による人形劇の公演です。 公演内容は、 ①人形劇「タオルdeレン」 ②大型絵本朗読「きよだいな きよだいな」 ③人形劇「りゅうになリたかったへび」		
事業結果	今年で3年目の継続事業です。 子どもだけでなく、大人も楽しめる内容でした。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	292,881	円	



2016-17年度

京丹後

ロータリークラブ

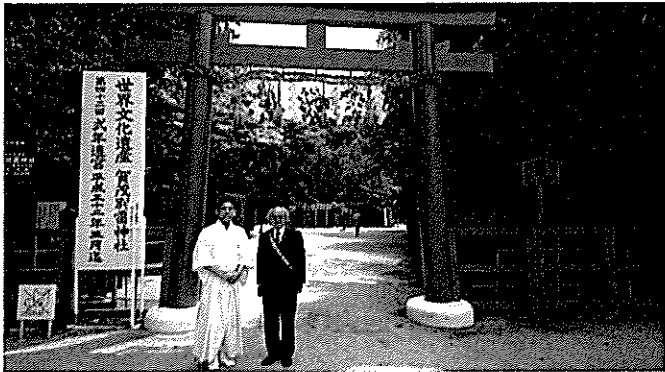
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会委員長

氏 名 : 山本 武彦

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	葵祭にフタバアオイを届けよう		
実施日	2017年5月11日(木)		
実施場所	上賀茂神社		
協力団体			
参加人数	会員	名 →→ 会員参加率	%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	10年前の地区大会で、京都紫野ローターアクトクラブより、「葵祭で使用するフタバアオイを復活させたいので育ててください。」というお話がありました。その時持ち帰った苗が10年経ち、一部が根付いて大きくなりましたので、ガバナー補佐 梶田匠様を通じて上賀茂神社へ奉納していただきました。		
事業結果			
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

2016-17年度

京丹後

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会委員長

氏 名 : 山本 武彦

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血支援		
実施日	2017年3月12日(日)		
実施場所	マイン		
協力団体	京丹後ローターアクトクラブ		
参加人数	会員 11 名	→→ 会員参加率 34.38 %	
	市民 名		
	その他 京丹後ローターアクトクラブ 2名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	市民の皆様への献血の啓発。 献血される方へ粗品の進呈。		
事業結果	受付数94名		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	12,648	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武田 隆久

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	スペシャル・オリンピックス日本・京都 鴨川チャリティー・トーチウォーク		
実施日	2016年9月25日(日)		
実施場所	植物園から京都市立御池中学校		
協力団体	スペシャル・オリンピックス日本・京都		
参加人数	会員 30 名	→ 会員参加率 16.5 %	
	市民 32 名		
	その他 商工会議所等9団体 270名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ジョン・ジャーム会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」に基づき、特に会長の強調されるロータリーを通じて「地域社会とつながり」「人びととの絆を育み」を实践すべく、NPO法人 スペシャル・オリンピックス日本・京都が主催する鴨川チャリティー・トーチウォークに参加協力致しました。特に知的障害者をアスリートとして共にウォーキングを行うチャリティー・トーチウォークには趣旨に共感し、京都R.C.は2004年第1回開催より継続して参加しています。午前10時の植物園での開会式に始まり、鴨川河川敷を東西に分かれ、御池中学までの5.6kmを約300名のボランティアや仲間達と絆を深めながらトーチをリレーするアスリートを見守り、ペースを合わせながらロータリークラブの旗を掲げ共にウォーキングを行い、アスリートたちの自立と社会性を高める機会作りをしました。		
事業結果	全国各地のアスリートが日頃のトレーニングの成果を発揮し、プログラムを通じてボランティアや仲間との絆を深めながら、各々の場面で大会の主役と感じられるような場を盛り上げることが出来、アスリートたちの自立と社会性を高めることに繋がったと確信しております。また、本会とロータリークラブのPRにもなり、何より人が主役となる奉仕活動に於いては継続されることが重要と、本年も引き続き参加出来たことを意義深く捉えております。  		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	152,000 (会員寄付) 円		
事業執行額	円		

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武田 隆久

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	世界の京都・まちの美化市民総行動		
実施日	2016年11月6日(日)		
実施場所	京都市役所～梨木神社		
協力団体	京都市		
参加人数	会員	16 名	→→ 会員参加率 8 %
	市民	35 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
「京都市美しいまちづくり推進月間」である11月に京都市が呼びかけ実施される「世界一美しいまち・京都」の実現を目指した活動に参加、京都人の心に根付いている門掃き(かどはき)を行い、ごみのポイ捨て・不法投棄・放置自転車等、まちの美化を損なうものの一掃に向け、清掃活動並びに啓発活動を行いました。 当クラブでは2000年より毎年全会員に案内し、この意識を周知せしめる為にも会員のみならず、広く家族、友人、会員企業社員などにも呼びかけ参加しております。今の京都まちの美しい現状を保つことこそ、環境保全の第1歩と考えます。			
事業結果			
京都市が実施した旅行者へのアンケートでも京都の「街のきれいさ・清潔さ」が高く評価され、ゴミが道路に落ちていないことは何より 市民のモラルによるもの、私達の京都を美しく保ちたいと言う心の表れです。しかし、その一方で放置自転車や産廃物の不法投棄と言う、処分に手間の掛かるものに関しては、まだまだ意識が行き届いておりません。私達の住む京都を美しく保ち、観光客にも心地よく過ごして頂くことがおもてなしにつながり、その行為は継続してこそ市民に根付くものとなります。			
 			
新聞、TV等での報道			
なし			
事業予算	0	円	
事業執行額		円	

2016-17年度

京都

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武田 隆久

担当委員会名 : 社会福祉委員会

事業名	スペシャル・オリンピックス日本 京都への寄付		
実施日	2017年4月13日		
実施場所	—		
協力団体	—		
参加人数	会員	名	→→ 会員参加率 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都RCが毎年参加、協力しております 知的障害者にスポーツを通じて心身の健康を増進する場を提供する スペシャル・オリンピックス日本・京都は、健常者も共にプレーするユニファイドスポーツ競技への参加拡大を目指されており、その支援として寄付を行った。		
事業結果	各位よりの寄付により、現在、ユニファイドスポーツへの参加拡大を徐々に進められているとの報告があった。		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	30,000	円	
事業執行額	30,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 永井 剛

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	呉竹フェスタ「夏」		
実施日	平成28年7月23日(土)		
実施場所	京都市立呉竹総合支援学校グラウンド		
協力団体	京都伏見ローターアクトクラブ、京都聖母学院中学校・高等学校インターアクトクラブ		
参加人数	会員	43 名	→ 会員参加率 45.2 %
	市民	400 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都伏見にある呉竹総合支援学校の生徒、学校関係、父兄と一緒にまつりを運営し、親睦を図り、社会奉仕の重要性を認識していく事業である。毎年行われている事業である。また、京都伏見ローターアクトクラブ、京都聖母学院中学校・高等学校インターアクトクラブとの交流の場でもあり、京都伏見RCへの理解を深めてもらう。		
事業結果	会員の皆様、京都伏見ローターアクトクラブ、京都聖母学院中学校・高等学校インターアクトクラブのご協力により、学校関係者の方々にも大いに感謝していただいた素晴らしい事業となりました。京都伏見ローターアクトクラブ会員のパワーや、今年から聖母学院中学・高等学校インターアクトクラブになって頂いた社会事業部の顧問・生徒の皆さんが積極的に動いていただきおおいに刺激になりました。 		
新聞、TV等での報道	特にございません。		
事業予算	500,000	円	
事業執行額	500,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 永井 剛

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	こーるはんなり「香東園やましな慰問コンサート」		
実施日	平成28年9月24日(土)		
実施場所	社会福祉法人 香東園やましな		
協力団体	コーラス同好会 こーるはんなり		
参加人数	会員	25 名	→ 会員参加率 26 %
	市民	80 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	本事業は、クラブ内の同好会を積極的に活用し、同好会が主体となり奉仕活動を行うという、新しい形の事業形態であり、超高齢化社会を迎えている日本に於いて、ロータリークラブとして高齢者対象の奉仕活動を行い福祉の現場を体験することにより今後の多様な奉仕活動に活かすことを目的とする。コーラス(歌声)を施設入所者の方々に聞いて頂くだけでなく、昔懐かしい「青い山脈」や童謡唱歌「まっかな秋」等々を一緒に歌って頂き、また、パネルシアターを目の前で製作していくことで聴覚・視覚を使い楽しんでもらうことで、介護の一助となることを目指す。		
事業結果	施設入所者の方々と施設スタッフ及び地域の方々と童謡唱歌13曲を歌い、最後に「こーるはんなり」の持ち歌3曲をお聞き頂きました。入所者の方々の反応も良く、最初は控えめな表情をされていた入所者の方も、曲が始まると同時に表情も柔らかくなり、リズムに合わせて手拍子や鈴、マラカス等楽器も使い笑顔で最後まで楽しんで頂きました。今日では、認知症等の予防・改善の一つの治療として「音楽療法」が活用されていますが、今回くしくもその効能を目の当たりにすることができました。今後もこのような活動を続けていく意義があると確信します。また、内部的には同好会が主体となり奉仕活動を行うという、新しい事業形態も実施でき、今後の奉仕活動の広がりを期待できます。また、本事業はクラブ予算を1円も使用せず、同好会の会費内の極極小額で出来る、費用対効果の高い事業でした。		
新聞、TV等での報道	社会福祉法人 香東園やましなのブログに掲載されました(9月24日付)		
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	



社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松村匡利

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	吉田山の里山再生プロジェクト				
実施日	平成29年2月26日(日)				
実施場所	京都市左京区吉田神楽岡町				
協力団体	吉田山の里山を再生する会 吉田学区各種団体連絡協議会 他				
参加人数	会員	14	名	→→ 会員参加率	%
	市民	50	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
この取り組みは吉田山が昔のように桜や松など緑が豊かな遊宴の地で、大人や子供が安心して集える山に再生しようと「吉田山の里山を再生する会」が組織され、当クラブが中心になり吉田山植樹を2008年度から毎年行っています。今年度で8年目になり、吉田山を豊かな里山にするという目的に成果を着実にあげてきました。この社会奉仕事業は今まで地元の方々や京都大学、行政やボーイスカウトなどの協力もあり、幅広い奉仕事業として高い評価を受けてきました。当クラブの五大奉仕部門の中で、社会奉仕はクラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものであると定められており、吉田山植樹は着実に成果を上げてきています。					
事業結果					
当クラブのメンバー、地域住民、吉田神社の方々に集まっていただき、吉田山の桜の植樹、吉田山周辺の清掃、間伐、手入れなどを行いました。吉田山には9本の桜の若木を植木屋さんのご指導のもと、9班に別れて植樹を行いました。地元の植木屋さんに専門的なご指導をいただき、天気にも恵まれて無事終了しました。今回を含めてこれまでに植樹した桜が約70本、もみじが10本になりました。吉田山植樹作業の後、吉田神社参集殿において11時よりフォーラムとして京都大学準教授深町加津枝先生を講師に「吉田山里山の管理のあり方」と題して、地域住民の方々と今後の植樹の進め方や桜の管理などについて意見を交わしました。これまでの吉田山の清掃、下草刈り、桜の植樹をしてきた成果や吉田山から京都大学など市内の景色を見下ろす事ができるようになった事例などスライドを交えて話があり、今後もこの活動を継続する必要性を実感しました。					
 					
事業予算	円				
事業執行額	円				

2016-17年度

京都城陽

ロータリークラブ

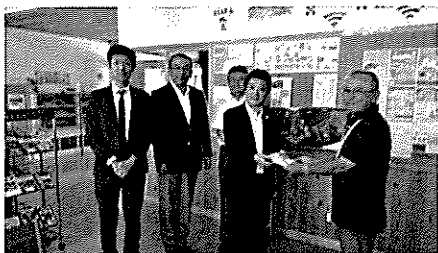
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 北澤善信

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	環境整備事業		
実施日	2016.9.2		
実施場所	京都府立木津川運動公園(五里五里の丘)		
協力団体	公益財団法人青少年野外活動センター(公園委託管理者)		
参加人数	会員 4 名 →→ 会員参加率 12 %		
	市民 名		
	その他 3		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	野外の施設なので、夏の強い日差しを遮る場所の確保及び急な降雨の際の雨よけ。市民・公園利用者の便宜を図り、利用拡大を目的とする。その為に大型テントを寄贈する。		
事業結果	公園の委託管理者と相談の上、大型テントを寄贈し、晴天時の日よけ効果とともに雨天時の雨よけの利用も出来たと聞いている。公園の各種事業開催時にも大いに役立っている。また、大きく京都城陽ロータリーの名前を書いたことにより、地域社会においてのロータリーの社会奉仕を周知できた。  		
新聞、TV等での報道	地元の報道機関である、洛南タイムス社、城南新報に目録寄贈の様子が記事として掲載された。		
事業予算	226,260	円	
事業執行額	226,260	円	

2016-17年度

京都桂川

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 万殿慎二

担当委員会名 :

事業名	嵐峡の清流を守る会「河川清掃活動」				
実施日	2016年9月7日(日)				
実施場所	嵐山渡月橋上・下流一帯の大堰川、桂川沿い				
協力団体	嵐峡の清流を守る会				
参加人数	会員	5	名	→→	会員参加率 17 %
	市民	250	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	嵐峡を流れる保津川・大堰川・桂川を美しく且つ、嵐峡の景観を守るため、美化啓蒙を推進し地域の人々と共に美しい川を次代に継承する活動を行う。 捨てられたゴミは河川を流れ海にたどり着き、地球環境汚染を引き起こします。それを防止するため他団体と協力して、世界的な観光地である嵐山の河川の清掃活動を通して、海外および国内からの観光客にも、環境美化の啓蒙とマナー向上を訴えた。				
事業結果	毎年継続事業として行われているが、経年的に散乱ゴミは減少し、環境美化の成果がえられている。				
新聞、TV等での報道	毎年、地方紙の地域版に取り上げられている。				
事業予算	円				
事業執行額	円				

2016-17年度

京都桂川

ロータリークラブ

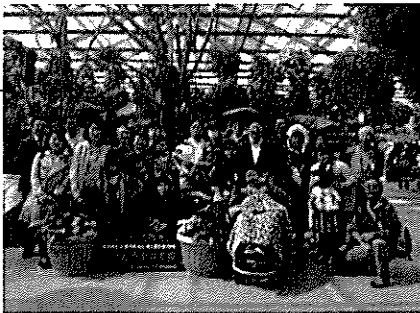
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 万殿慎二

担 当 委 員 会 名 :

事業名	障害のある人と家族のためのレクリエーション		
実施日	2017年4月15日(土)		
実施場所	神戸海洋博物館 神戸どうぶつ王国		
協力団体	西京区社会福祉協議会		
参加人数	会員 4 名	→→ 会員参加率 13 %	
	市民 62 名		
	その他 IAC 5名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障がいのある子供たちの休暇を利用し、子供の親、兄弟姉妹たちと共に普段できないようなことを挑戦、体験できるレクリエーションを企画し、ロータリアンとインターアクトが協力して実施する。		
事業結果	気温的には絶好のレクリエーション日和となりました。 到着までの車中ではバスガイドさんのお話など和やかな雰囲気の中で時間を過ごしました。 神戸海洋博物館、神戸どうぶつ王国では、動物とのふれあいなど子どもたちにはステキな思い出づくりが出来たのではないのでしょうか。 私たち会員も、子どもたちの笑顔のおかげで充実した一日を過ごすことが出来ました。 また洛西高校のインターアクトクラブの参加者も本体験で地域の社会福祉を理解することが出来たのではないのでしょうか。		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	319,500	円	
事業執行額	319,500	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 上田 両四郎

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	第50回白杖安全デー「視覚障害者の交通安全を考える府・市民のつどい」への参加		
実施日	2016年10月10日(月・祝)		
実施場所	京都ライトハウス～北野天満宮		
協力団体	主催: 京都ライトハウス・京都視覚障害者支援センター・関西盲導犬協会・ 京都府立視覚障害者福祉センター・京都府立盲学校・京都府立視覚障害者協会		
参加人数	会員	10 名	→→ 会員参加率 14 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「視覚障害者の交通安全を考える府・市民のつどい」の白杖安全デーの集会とパレードに参加し、府・市民に視覚障害者の歩行環境の改善や、ハンディを正しく理解してもらうことを目的とした事業に協力しました。		
事業結果	・集会に参加し、その後視覚障害者の介助をしつつ京都ライトハウスから北野天満宮まで市民への呼びかけのパレードに参加した。 ・助成金の寄付をしました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

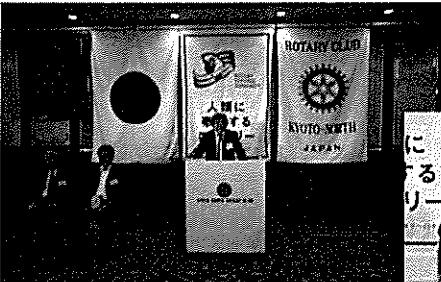
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 上田 両四郎

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ピンクリボン運動協賛 夫人同伴夜間例会		
実施日	2016年10月13日(木)		
実施場所	京都ブライトンホテル 例会場		
協力団体	NPO法人J. POSH (日本乳がんピンクリボン運動)		
参加人数	会員 33 名 → 会員参加率 47 %		
	市民 名		
	その他 夫人16、RAC2名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
10月はピンクリボン月間です。ピンクリボン運動は、乳がんについての正しい知識を多くの人に知って頂き、その結果乳がんから引き起こされる悲しみから一人でも多くの人を守る活動です。 社会奉仕・親睦活動・家族各委員会との共催で、ピンクリボン運動協賛にて 夫人同伴夜間例会・知的なピンクパーティーを開催しました。 出席者合計53名にて、全員ピンクの装いで参加。スペシャルプログラムとして、5名の会員より、それぞれ5分間推薦する本を紹介して頂くビブリオバトルを開催。優勝者を投票により決定し、会長より、出席者の中からピンクの王様と女王様を選出頂きました。			
事業結果			
参加者会員にピンクリボン運動の活動趣旨を啓蒙することができ、また同時にNPO法人J. POSH (日本乳がんピンクリボン運動) に対しピンクリボングッズを購入することで支援を行いました。			
  			
新聞、TV等での報道			
事業予算	100,000	円	
事業執行額	100,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会 委員長

氏 名 : 山本 尚樹

担当委員会名 : 第1奉仕プロジェクト 社会奉仕委員会

事業名	バリアフリーダイビング支援事業		
実施日	2016年10月13日～16日		
実施場所	沖縄県本島（読谷村～本部町）		
協力団体	NPO法人「日本バリアフリーダイビング協会」		
参加人数	会員	21 名	→ 会員参加率 9 %
	市民	45 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障がい者を有する方に新たな喜びと生きがいを感じて頂くこと、そして同じスポーツでふれあい感動を共有することで、障がい者と健常者が共存可能な社会の扉となることを目的に掲げ、世界有数の透明度を誇る沖縄の美しい海でハンディキャップダイビングの発展を願いバリアフリーダイビング支援事業を行う。大会に参加される障がい者12名の中から支援応募があった6名の参加者（内3名は初体験）に参加費の一部を支援する。また本事業の協力団体でありこの分野で数多くの経験とノウハウを持つNPO法人「日本バリアフリーダイビング協会」へ、今回の大会でも使用し、今後有効に活用でき、より快適なダイビングの催行に役立つ障がい者用ダイビング機材を寄贈する。京都南RCからは21名がボランティアとして参加、共に海に潜り、楽しさ、喜び、感動を共有しノーマライゼーションを学ぶ。		
事業結果	ハンディキャップを有する方に喜びを感じて頂き、共にスポーツを楽しむことにより、感動とリハビリテーションを感じて頂くことが第一の目的であったが、このバリアフリーダイビングというハンディキャップスポーツの体験は、我々ロータリアンが素晴らしい感動と心の充実を経験することとなった。障がいとは個性であると日本バリアフリーダイビング協会の山田眞佐喜会長がおっしゃる通り、障がいをお持ちの参加者が皆個性的でチャタリングで、不便であろうハンディを気にせず前向きに明るく生きる強さに、私達健常者のほうがこれからの人生を強く生き抜く力をもらったように感じる。事業は途中で雨もあったがなんとか天候にも恵まれて全てのプログラムを事故無く無事に行うことが出来た。障がい者を有する参加者12名、ロータリアン21名、スタッフ・ボランティア・介助者合わせて総勢66名で支援事業大会を実施、大きな感動と共にフィナーレを迎えた。		
新聞、TV等での報道	10月12日の京都新聞朝刊の23面に、翌日13日から16日にかけて、京都南RCが沖縄にて開催するバリアフリーダイビング支援事業の大会について、また様々な障がい者を有する方が楽しむことができるアクティビティであることについて、紙面に大きく掲載された。		
事業予算	2,498,936	円	
事業執行額	2,174,791	円	



社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 石田 敬輔

担当委員会名 : 奉仕P《社会・職奉》

事業名	京都市内（京都マザーグースの会）絵本コンサート活動の支援 ※名称変更有り		
実施日	2016年7月～2017年3月 計7回について （下記詳細参照）		
実施場所	京都子育て支援総合センター 子どもみらい館		
協力団体	特定慈善活動法人音楽のまちづくり		
参加人数	会員 4 名 → 会員参加率 9.7 % 市民 各回約100 名 その他 施設関係者・協力団体参加者 20名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都市こどもみらい館・京都マザーグースの会と共催で子どもの情操の為に絵本コンサート行う。年間4回～5回程度の予定で、上期には7月（本年初回は6月26日となった）と9月、11月実施予定。下期は2・3月は読み聞かせで、2月5日は音楽コンサートの催しとしている。（上期11月にも音楽コンサートを1回実施）楽器の紹介や楽器体験ワークショップも行う。毎回演奏者の交通費や演奏費を助成することにより、できるだけ高い技術と志を持った音楽家の生演奏に子供たちを触れさせる機会を増やしていくようにしている。子どもだけでなくその保護者も対象とすることで「子育てを音楽で支援する」という狙いも含んでいる。 ※毎回、朗読と演奏の前には前方スクリーンに「協賛：京都モーニングロータリークラブ」と映し出されることにより、父兄の方々に広くクラブの存在を広報する。		
事業結果	第1回 6月26日（日）『うみにしずんだうす』演奏：ピアノ 大人57名 乳幼児64名【121名】 第2回 9月25日（日）『野原のオルゴール』演奏：ピアノ・バイオリン大人52名 乳幼児46名【98名】 第3回11月26日（日）『ジャックとまめのき』演奏：ピアノ・バイオリン大人43名 乳幼児47名【90名】 第4回 2月21日（日）『おおかみと七ひきのこやぎ』演奏：チェロ・バイオリン 大人58名 乳幼児55名【113名】 第5回 3月27日（日）『ぐるんぱのようちえん』演奏：チェロ・ピアノ 大人81名 乳幼児76名【157名】 【事業部実施のミニコンサート】 11月120日（日）『ほっこりシアター』音楽コンサート トリオ演奏（ヴァイオリン・ピアノ・フルート）大人81名 乳幼児64名【89名】 2017年 2月5日（日）『ほっこりシアター』音楽コンサート 演奏（ヴァイオリン・ピアノ）大人81名 乳幼児64名【145名】 年々、参加者が増えており、地域に定着した事業になったことを実感するとともに、協賛としてのクラブ名称の提示だけではなく、開始前にポリオ撲滅に関する広報活動等、委員会が参加者の皆様にロータリーの活動を知っていただけるような広報活動も今後の取り組みの課題として挙げられる。		
新聞、TV等での報道	本事業に関する特別な報道はないが「NPO法人音楽のまちづくり」の取り組みは数多くの新聞等にその活動内容が取り上げられております。 		
事業予算	130,000	円	
事業執行額	130,000	円	

2016-17年度

京都モーニング ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 石田 敬輔

担当委員会名 : 奉仕P《社会・職奉》

事業名	16-17年度社会奉仕実施事業 継続支援団体（2団体）への支援		
実施日	たんぽぽハウス（2017年4月30日）/和敬学園 *訪問（2017年4月13日）（2017年4月30日）		
実施場所	たんぽぽハウス 京都市西京区 / 和敬学園（京都市上京区）		
協力団体			
参加人数	会員 32 名 → 会員参加率 71.11 % 市民 名 その他 ※フォーラム出席会員：32名/バザー寄贈品提供会員：12名/施設訪問会員：6名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	継続支援団体（2団体）において、当年度も支援を致しました。 【たんぽぽハウスへの支援内容】 1. 就労活動に必要な什器備品（落ち葉清掃用ブロアー）/ 2. バス旅行（バスチャーター費）の費用補助支援 ***** 【児童福祉施設和敬学園への支援内容】 1 施設備品等の支援/ 2. バザー売り出し品の寄贈支援 バザー売り出し品については、1 1月より例会時に会員に呼びかけ、家庭などの未使用贈答品等を提供頂き、予算を使用せずに会員一人ひとりの支援が学園に提供され、より良い形の「奉仕」となった。		
事業結果	上記の2団体は、長年クラブがかかわりを持ち支援し続けてきた団体であり、各々も、堅実な活動を続ける福祉施設団体である。よって、自立した活動の中でも、とかく不足しがちな、活動資金の一部を補助することで、活動環境を整えることも支援の一環と考え、継続支援事業として取り組んでいる。 【写真は10月フォーラム時、和敬学園訪問時のもの】「施設が求める支援の形」をより反映した奉仕事業にする為、①10月の部門フォーラム開催で『たんぽぽハウス』平野元子様、「和敬学園」施設長樋口文昭氏に本年もご例会に来訪頂き、両施設の活動状況や施設の現状をそれぞれ15分ずつお話しいただいた。例会終了後には委員会とのディスカッションで、双方のご事情などを更にヒアリングし、より具体的な支援のご希望をまとめた結果、和敬学園へは昨年に引き続き学園主催の「春のバザー」への未使用贈答品等の提供と施設備品の支援。たんぽぽハウスは、就労活動に必要な清掃活動時「落ち葉等清掃用ブロアー」の寄贈と毎年所員が楽しみにしておられる研修旅行の（バスチャーター費）費用補助を決定した。②「未使用贈答品等の寄贈品」については、本年は昨年度より多くの会員から物品の提供が受けられ、後日と敬学園へ会長・幹事、委員会関係者が施設へ届けた。		
新聞、TV等での報道	①10月開催のフォーラムで 10月20日 「社会奉仕部門フォーラム」  ②4月13日例会後 バザー提供品を届ける (於：和敬学園前) 		
事業予算	300,000	円	
事業執行額	299,192	円	

2016-17年度

京都紫野

ロータリークラブ

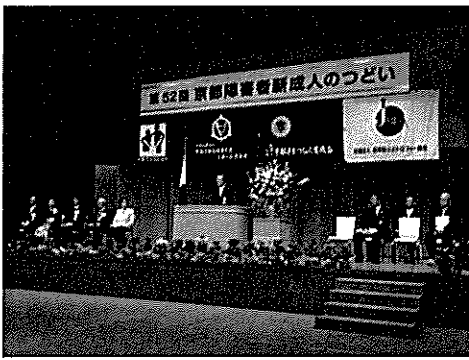
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 吉田 和弘

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都障がい者新成人のつどい記念品寄贈と成人式参列		
実施日	2017年1月9日		
実施場所	京都テルサ		
協力団体	京都市障がい児者親の会協議会		
参加人数	会員	26 名	→→ 会員参加率 47.2 %
	市民	36 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブでは毎年京都市障がい児者親の会協議会主催の「京都障がい者新成人のつどい」への協賛並びに参列している。障害を持って成人する若者にとって、少しでも励みになれるよう記念品を贈呈し、又当クラブ会長より温かい祝辞を述べてもらう。		
事業結果	今年の新成人は36名。当日新成人の方々へ会長より記念品（置時計・シクラメン）を贈呈。新成人へのお祝いの祝辞をクラブを代表して会長より述べてもらう。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	200,000	円	
事業執行額	187,650	円	

2016-17年度

京都中

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクトリーダー

氏 名 : 蜂屋光裕

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	白川栗田夏まつり		
実施日	2016年8月7日(日)		
実施場所	白川(知恩院前から三条通り)		
協力団体	栗田自治連合会 華頂女子中学高等学校		
参加人数	会員 21 名	→ 会員参加率 53.85 %	
	市民 1500 名		
	その他 華頂女子中学高等学校インターアクト会員 20名 事務局員1名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	昨年に引き続き、栗田自治連合会の第7回「白川栗田夏まつり」に華頂女子中学高等学校 I A Cと共に共催しました カキ氷と「プヨプヨすくい」を行いました。		
事業結果	朝早くから外気温が上昇する中、かなりのメンバーの参加をいただき かき氷の提供をすることができました。例年のごとく大盛況で終わることができました。ご協力いただきました会員各位並びにご家族の皆様に感謝申し上げます。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	450,864	円	
事業執行額	354,226	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクトリーダー

氏 名 : 蜂屋光裕

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	鴨川を美しくする会 クリーンハイク		
実施日	2016年11月6日(日)		
実施場所	鴨川北大路橋→北山大橋→北大路橋		
協力団体	鴨川を美しくする会 一般社団法人鴨川流域ネットワーク 京都府土木事務所 ライオンズクラブ他		
参加人数	会員 14 名 →→ 会員参加率 35 % 市民 不明 名 その他 華頂女子中学高等学校インターアクトクラブ会員5名と教員2名 事務局員1名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「鴨川を美しくする会」の平成28年度事業の中の「第四回鴨川定例クリーンハイク」にIACのメンバー5名、先生2名の参加の中、鴨川河川敷を北大路橋から北山大橋までの両サイドをゴミハサミ、袋を全員がもち清掃を行いました。		
事業結果	少し寒かったですが作業終了後は汗ばむぐらいとなりました。参加者の感想ですが河川敷のゴミの少なさに全員が驚いていました。そのあと華頂女子中学校に戻り参加者全員でバーベキューを行い 行事を無事故で終了することができました。参加者の皆様ご苦労様でした。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	130,000	円	
事業執行額	79,100	円	

社会奉仕部門 事業報告書

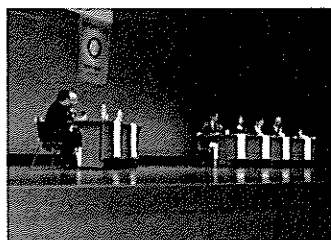
上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 藤井孝二

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	防災フォーラム		
実施日	2016年(平成28年) 10月23日		
実施場所	京都外国語大学 森田記念講堂		
協力団体	京都府 京都市		
参加人数	会員 41 名	→→ 会員参加率 39.4 %	
	市民 160 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	東日本大震災をきっかけに、これから起こると予想されている大震災において、今一度、防災、減災のあり方を考え直す必要性から、フォーラムにて命と地域を守る為のあり方をディスカッションする。		
事業結果	京都府副知事山下晃正様、京都市副市長藤田裕之様より来賓の祝辞を賜った後、基調講演とし、京都大学大学院人間・環境学研究科教授鎌田浩毅様より今後起こり得る巨大地震を目前に我々は何を為すべきか、どうあるべきかをご教授願った。後半はパネルディスカッションとし、パネリストとして京都市行財政局防犯危機管理室長川崎隆司様、河北新報社 防災・教育室主任大泉大介様、京都府府民生活部理事松村嘉文様、公益財団法人京都市男女共同参画推進協会主任久保智里様を招き各部門の問題点をお話しいただき、その後コーディネーターと共に全員でディスカッションを行った。		
新聞、TV等での報道	2016年10月24日(月)の毎日新聞朝刊に「想定被害『準備で8割減』」をタイトルに、講演の様子が掲載されました。		
事業予算	870,100	円	
事業執行額	927,772	円	



2016-17年度

京都西

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 地域発展委員会委員長

氏 名 : 栗栖基

担当委員会名 : 地域発展委員会

事業名	地域食育事業		
実施日	2017 (平成29年) 2月7日		
実施場所	京都市立嵯峨中学校		
協力団体	京都西ロータリークラブ		
参加人数	会員 13 名	→ 会員参加率 13 %	
	市民 80 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	この事業は成長期における中学生に対し、日常の食生活の重要性を考える一環として味覚教育・料理教育・食材教育の3視点から我が国固有の食文化の素晴らしさを理解していただき、日々の食生活に役立てていただけること念頭に企画しました。この事業を通じて少しでも多くの学生達が和食の魅力を知る機会となり、成長期に正しい食生活の知識を身に付けていただくことを目的としております。		
事業結果	当日は午前・午後の部に分かれて事前に打ち合わせをしたタイムスケジュールに沿って、佐藤会長のご挨拶に始まり講師の栗栖会員が我が国固有の食文化の特徴と成長期における食の重要性について講義した後、生徒たちに参加してもらい、調理実習、料理の試食を行いました。そのあと質疑応答の時間をとり、授業内容の復習と食生活における日本料理の関わりについて認識を深めることができました。   		
新聞、TV等での報道	2017 (平成29年) 2月8日 京都新聞朝刊に掲載。		
事業予算	65,000	円	
事業執行額	65,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 木下泰一

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「みんなでおいで～あらぐさひろば」&世界ポリオデー		
実施日	2016年10月23日(日)AM10:30～PM2:00		
実施場所	社会福祉法人 障害福祉センターあらぐさ		
協力団体	あらぐさ後援会、長岡京金管アンサンブル、乙訓アカデミー教室、ひまわりっこ(合唱)、男の居場所の会、モリカ・カライフ京都、あらぐさ福祉会職員		
参加人数	会員 10 名	→ 会員参加率 50 %	
	市民 450 名		
	その他 会員家族2名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「やさしい街づくりを応援！」 みんなおいでよ～ あらぐさひろばの音頭のもと、 ①演奏団体(館内ホール) ②各種物販 ③模擬店 ④遊びコーナー ⑤健康相談コーナー(京都西山RC担当) ・肌年齢測定、・骨密度測定・会員専門医、健康相談 ⑥世界ポリオデーコーナー(京都西山RC担当) ・募金箱の設置		
事業結果	健康相談コーナーは今回初の試みであったが、予想外の参加者で、延べ200名近く会員には嬉しい悲鳴！ 従来のバザーコーナーに変わるものとして、次年度も育てていきたい 「あらぐさ福祉会」とその関係者から当クラブにお礼の言葉も多く心温まる礼状も頂いた。 ポリオ募金はクラブより地区へ送金。 尚、地元選出、泉健太議員も例年、激励に来場いただいた。		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	円		
事業執行額	46,980	円	



2016-17年度

京都乙訓

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 久保 俊介

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名				
実施日				
実施場所				
協力団体				
参加人数	会員	名	→→	会員参加率 %
	市民	名		
	その他			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他			
事業目的及び事業内容	乙訓パオ人形劇への協賛金 10,000円 ガラシャ祭への協賛金 20,000円 ガラシャ祭提灯協賛金 5,000円 向日市まつりへの協賛金 20,000円			
事業結果				
新聞、TV等での報道				
事業予算	円			
事業執行額	円			

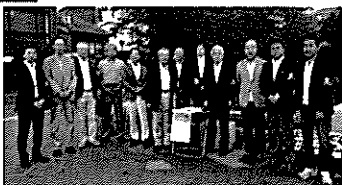
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山口 忠洋

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	ホタルが飛ぶ街づくり「ホ、ホ、ホタル来い事業」継続2年目			パートⅠ・Ⅱ
実施日	パートⅠ：2017年3月18日（土）、パートⅡ：2017年6月3日（土）			
実施場所	高瀬川（木屋町二条～木屋町御池）			
協力団体	銅駝学区自治連合会、高瀬川保勝会、京都市立御所南小学校、京都洛中RAC			
参加人数	会員	パートⅠ：11名（会員参加率 12%）	パートⅡ：会員21名（会員参加率23%）	
	市民	パートⅠ：49名	パートⅡ：155名	
	その他	パートⅠ：0名	パートⅡ：0名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他			
事業目的及び事業内容				
昨年度より継続事業としてスタートした高瀬川にホタルを生息させるプロジェクト。今年度洛中の会長テーマである「持続可能な未来をめざして」にも沿う形で地元の保勝会や御所南小学校の理解と協力を得て着実に2年目を迎えました。今年は川の清掃を学童たちにも手伝わせロータリーの精神であるボランティアの心を養ってもらう事とする。				
事業結果 パートⅠ 【パートⅠ】 高瀬川の清掃を保勝会の皆様と御所南小学校の学童と共にを行った後、ホタルの幼虫300匹とエサとなるカワニナ15kgを放流しました。 【パートⅡ】 ホタルの自生を目指しての事業であるが、それには未だ相当なる時間と環境整備が必要な為、今年もホタル観賞には成虫の放流が必要であるので200匹の成虫を準備し、子供たちに放ってもらいました。観賞の夕べには昨年を上回る多数の学童・保護者の参加を得て大変賑やかに楽しく開催出来ました。又、銅駝自地連合会長から来年度御所東小学校の開校に合わせ、このホタル事業の広域的な拡大の要請があり、次年度の社会奉仕委員会に橋渡しをしました。 パートⅡ 				
新聞、TV等での報道				
報道なし。				
事業予算	パートⅠ：198,000円 パートⅡ：140,280円			
事業執行額	パートⅠ：147,750円 パートⅡ：121,620円			

2016-17年度

京都洛北

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 理事/委員長

氏 名 : 河田稔彦

担当委員会名: 社会奉仕委員会

事業名	岡崎わいわい文化祭		
実施日	2017年2月4日(土)		
実施場所	ロームシアター京都サウスホール		
協力団体	左京区岡崎自治連合会		
参加人数	会員	6名	→→ 会員参加率 8%
	市民	800名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・「ロームシアター京都」や「京都市動物園」のある岡崎地域は、現在の京都で注目の地域である。その岡崎の住民と交流を行い、活気ある地域の活動に寄与する。 ・地域の障害者も多数参加するので、障害者人権を考えるきっかけとなる。		
事業結果	・岡崎地域にある支援学校などの障害者が参加しており、地域の人たちの障害者への理解をより深めることに役立った ・踊り、歌、吹奏楽、コーラス、箏演奏など多岐に亘る催しがあり、地域の婦人、学生などが出演し、2階の客席も開場するほど盛況であった ・クラブ会員も出演者として参加し、会場を盛り上げた ・自治連のスタッフが中心となり活動いただき、共に事業を行ったことで、地域との交流がより深まり、今後の地域活動の礎となった		
新聞、TV等での報道			
事業予算	100,000	円	
事業執行額	100,000	円	

2016-17年度

京都洛北ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 理事/委員長

氏 名 : 河田稔彦

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	第14回京都さくらよさこい		
実施日	2017年4月1日(土) 2日(日)		
実施場所	京都市内(梅小路公園周辺、岡崎公園周辺ほか数ヶ所)		
協力団体	京都さくらよさこい実行委員会		
参加人数	会員	未確認 名 →→ 会員参加率	%
	市民	20余万 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都の春に大イベントとして定着した「京都さくらよさこい」は、『参加、見物を併せ、多くの人が入浴する(地域発展)』『京都の物産を紹介販売(地域発展)』『多くの人に参加することによりでるゴミに対し、J Tのひろえば街が好きになる運動に協力しゴミ拾いを行う(環境問題)』など、数多くの事業分野を含んだイベントである。 また、運営には毎年学生が中心となり行い、マスコミへの露出も多いので、広報、青少年育成にも大いに貢献している。 このイベントが成功することにより、いろいろな奉仕分野に寄与でき、より有意義な協賛となる。		
事業結果	・毎年、延べ20万～30万人の動員数を誇るイベントに協賛することにより、京都洛北ロータリークラブの広報活動また京都の地域の発展に寄与した。 ・この様な大きなイベントを企画・実行したことは、学生にとっては大きな経験となり、青少年育成の見地からも大変有意義であった。		
新聞、TV等での報道	読売新聞他の紙媒体やテレビにとりあげられた。		
事業予算	100,000	円	
事業執行額	100,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 理事/委員長

氏 名 : 河田稔彦

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	いちご狩りツアー		
実施日	2017年4月8日		
実施場所	滋賀県野洲市 南出農園		
協力団体	南出農園 京都洛北RC親睦委員会		
参加人数	会員 13 名	→	会員参加率 28.9 %
	市民 9 名		
	その他 会員家族などクラブ関係者22名【上記の会員・市民(留学生)以外】		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブが活動拠点とする地域社会は、多くの留学生が居住し勉学に励んでいるが、地域住民とのふれあいや一般人の日本文化の体験が少ないと感じていた。留学生がこのようなふれあいや体験をすることにより、母国へ戻ってから「京都」の普通の地域社会の良さを伝えてくれることにより、地域社会の発展になると考えた。 その為、親睦委員会が会員・家族等を対象に行う春の風物詩「いちご狩り」に無料招待し、地域住民である会員家族との交流を図り、地域発展と親睦と国際交流を兼ねた事業を計画した		
事業結果	留学生達はいちご狩りを大いに楽しんでいるようであったが、会員・家族との会話がいまひとつというところであった。 留学生同士で固まらないように、できるだけ大きな集団を避けて募集を行ったが、結局一人で参加した留学生がゼロであり、2人以上のグループ申込だったため、留学生同士での会話が多くなり、当初考えていたような会員・家族との会話があまり成り立たないという結果に終わってしまった。 しかしながら、一般人の日本文化の体験を楽しんでもらえたこと、知ってもらえたことにおいては大変有意義であったと思う。		
			
新聞、TV等での報道			
事業予算	200,000	円	
事業執行額	251339 (親睦含)	円	

2016-17年度

京都洛南

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山仲 修矢

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	伏見区年末防火パレード		
実施日	2016年12月15日(木) 午後2時30分～3時30分		
実施場所	月桂冠(株) 昭和蔵2階ホール～伏見大手筋商店街西口→御香宮神社までパレード		
協力団体	伏見消防署、伏見消防団、伏見区内他14団体		
参加人数	会員 10 名	→ 会員参加率 30 %	
	市民 300 名		
	その他 各種団体200名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	12月20日から31日まで「年末防火運動」を実施している。 15日午後2時30分より、月桂冠昭和蔵ホールにて開会式典が行われ、午後3時より伏見大手筋商店街西口から京阪踏切まで、火災や放火火災の防止、焼死者防止対策などを防火意識の高揚を各団体と共に、ポケットティッシュ入りのチラシを広く市民に配り呼びかける。		
事業結果	月桂冠昭和蔵の2階大ホールにて、伏見消防署より防火運動の説明と防火活動の協力依頼の挨拶。京都洛南ロータリークラブとして例年協賛品(市民配布用)を提供しているが、今年は30周年時にAED講習用トランプ5体を贈呈したので遠慮され、来年以降に持ち越しとなった為、防火キャンペーンの印刷されたポケットティッシュを市民に配布した。 また日本女子プロ野球リーグの「京都フローラ」が伏見消防署防火応援隊として来てくれました。最終地点の御香宮神社にて閉会式が行われ、消防署長より閉会の挨拶後、解散となった。 毎年恒例の年末防火パレードを行う事により、少しでも火災発生が減少する事を願い毎年年末に参加している。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	10万	円	
事業執行額	0	円	

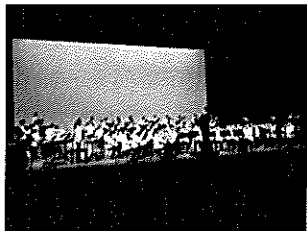
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山仲 修矢

担当委員会名 : 新世代委員会

事業名	伏見吹奏楽のつどい		
実施日	2017年4月29日(土・祝)		
実施場所	京都市呉竹文化センター		
協力団体	伏見地区保護司会		
参加人数	会員	25 名	→ 会員参加率 78.13 %
	市民	1,000 名	
	その他	800 名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容 京都市呉竹文化センターにおいて、毎年4月29日に実施しております。 伏見区内の公立中学校・公立高等学校の吹奏楽部の演奏会を催し、今年で23回目になります。 これは音楽を通して中学校・高校と地域市民との交流の場でもあり、同時に伏見区の青少年の健全な育成を育んでいると思います。			
事業結果 例年通り客席は満席であった。消防法により昨年より危惧していたが、今年は会館の方からの申し入れにより、通路では立見は厳禁となった為、学校側から見回りを強化して頂いた。毎年楽しみにお越しになる皆さんに会場内で鑑賞して頂けなかった方が多数出てしまった事が残念です。これからの課題として、会場の設定等の検討が生じてまいりました。 このような状態なので、京都市の地域情報誌へのプログラム掲載もお断りせざるを得なかった。しかしながら、演奏している中学生や高校生達は、来年もこの舞台にまた立とうと！日々練習に励んでいるようです。また今年の入部部員が各校大幅に増えた様です。   			
新聞、TV等での報道			
事業予算	350,000	円	
事業執行額	358,620	円	

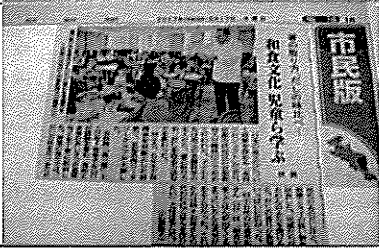
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山仲 修矢

担当委員会名 : 新世代委員会

事業名	食育プロジェクト		
実施日	2017年5月16日(火)		
実施場所	京都教育大学附属桃山小学校		
協力団体	なし		
参加人数	会員 25 名 → 会員参加率 78.13 % 市民 保護者 10 名 その他 150 名 (小学5年～6年生, 教諭, 米山奨学生他)		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	1. 小学生5年～6年生を対象に、日本食の良さを知ってもらう。 2. 当クラブ会員で、伏見桃山の魚三樓の主人 荒木会員に、日本食の原点”だし”の違いを体験してもらった。 3. 日本食を食べるマナーを教えてもらった。 自然のめぐみにより我々が活かされていることを再認識してもらい、感謝の心を育み次世代へと伝えていく事の大切さを学んでもらった。		
事業結果	昆布だしを単独で味わってもらい、その後鰹節との合わせだしで鯛入りのおすましを味わってもらい、味の広がりの変わり方を体験してもらった。 近年では一からだしをとって料理をされない家庭が多く、伝統的な食文化を知ってもらい、生命ある食材や収穫する人々、料理を作る人々への感謝の心を育むことが出来たと思います。		
新聞、TV等での報道	翌日、京都新聞朝刊市民版にて大きく取り上げてもらった。		
事業予算	200,000	円	
事業執行額	200,000	円	

2016-17年度

京都洛南

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山仲 修矢

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都府留学生寮への支援事業		
実施日	2017年6月24日(土)		
実施場所	きょうと留学生オリエンテーションセンター”みずき寮”		
協力団体	なし		
参加人数	会員	20 名	→→ 会員参加率 62.5 %
	市民	0 名	
	その他	みずき寮生と京都府国際課の担当者	
事業分野	☒ 1.人間尊重	☒ 2.地域発展	☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他
事業目的及び事業内容	留学生寮(さつき寮とみずき寮)は京都府の施設ではあるが、留学生の日常生活や交流に欠かせない物品を寄贈し、支障のない生活が出来るように支援する。 (ガスコンロ、食器乾燥機、置き畳、ソファ、加湿空気清浄機、ホワイトボード等) 年間40万円×3ヶ年の計120万円を予定している。		
事業結果	前年度に引き続き、3ヶ年計画の2年目で、留学生の実体を知るとともに、会員メンバーとの交流がはかれたと思う。 6月6日当クラブ例会場に於いて、京都府山田啓二知事より、感謝状を頂戴した。 また6月24日には、みずき寮にて、会員と留学生との交流会が行われる。		
新聞、TV等での報道	未定		
事業予算	400,000	円	
事業執行額	360,025	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山仲 修矢

担当委員会名 : 世界社会奉仕委員会

事業名	ミャンマーにおけるエコサントイレ建設支援プロジェクト		
実施日	2017年6月中		
実施場所	ミャンマー連邦共和国カレン州		
協力団体	公益社団法人日本国際民間協力会 (N I C C O)		
参加人数	会員	0 名	→ 会員参加率 %
	市民	0 名	
	その他 日本国際民間協力会現地駐在員、派遣員等		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ミャンマー連邦共和国カレン州におけるエコサントイレ建設支援をする。 ミャンマーの国境の山岳地帯では、中央政府と各少数民族組織の間で軍事的対立が続いています。戦闘に巻き込まれた住民達は、難民、国内避難民になるなど、多くの困難を経験して来ました。特にカレン州の国境に近い遠隔地では、長きにわたる紛争のために、広い地域でインフラ整備が不十分であり、政治的理由で公共サービスが届きにくい地域です。そのようなコミュニティの衛生環境改善をはかるため、エコロジカルサニター ショントイレエコサントイレ)を建設し、地域の衛生改善、良い土壌の畑づくり、化学肥料使用の抑制が図られる事により衛生的で豊かな農村づくりの支援を行います。カレン州現地へは、日本人が誰でも立ち入れないため、N I C C Oと業務連携し支援を行うものである。		
事業結果	エコサントイレを建設することにより、発展途上国における保険衛生面の改善と堆肥として使用できる利点を生かして、農業の発展にも期待が出来る。 ミャンマー連邦共和国カレン州でのエコサントイレ建設事業は、6月中には整う予定である。		
新聞、TV等での報道	未定		
事業予算	300,000	円	
事業執行額	228,540	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 久保 和子

担当委員会名 : 社会奉仕・青少年奉仕合同委員会

事業名	小倉山特別保存地区の竹穂垣の補修改善		
実施日	2016年9月24日(土)		
実施場所	京都市右京区嵯峨小倉山 大河内山荘近辺		
協力団体	嵯峨野地区竹林を守る会 京都洛西RAC 京都市立嵯峨中学校 地域住民		
参加人数	会員 31 名	→→ 会員参加率 58 %	
	市民 45 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	●地域の環境保全の一貫として竹林の美しい景観を演出する。 ●古くなった竹穂垣を補修改善して竹林を整備する。 ●約20数年前より京都市行政の依頼にて京都洛西ロータリークラブ が関わり、地域住民と共に補修改善を行っている。		
事業結果	9月24日(土) 午前9時から、20年間にわたる継続事業として、竹穂垣補修改善事業を大河内山荘主人大邊会員のご協力のもと、実施いたしました。 社会奉仕事業に加え、青少年事業として、昨年に引き続き、嵯峨中学の生徒の皆さん39名にもご参加頂きました。普段から住み慣れている「まち」への感謝の気持ちと、同じまちに暮らす大人たちの地域を守ろうとする地道な活動のおかげで、今の美しい景観が保たれていることも再認識して頂けたと思います。 又、ニュージーランド、台湾からのロータリアンが「素晴らしい奉仕ですね」と声をかけて頂きお天気にも恵まれた事業になりました。		
新聞、TV等での報道	 京都新聞 9月25日(日) 朝刊 市民版  朝日新聞 9月25日(日) 朝刊 京市内		
事業予算	360,000	円	
事業執行額	375,000	円	

2016-17年度

京都洛東

ロータリークラブ

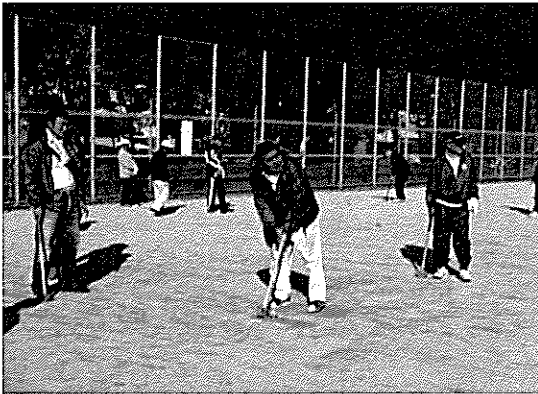
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 山田兼一郎

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都洛東ロータリークラブ杯 山科区老連グランド・ゴルフ大会		
実施日	2016年11月5日		
実施場所	京都山科 勧修寺公園グラウンド		
協力団体	山科区老人クラブ連合会、山科区体育委員会		
参加人数	会員	29 名	→→ 会員参加率 67.4 %
	市民	237 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都市山科区内の老人クラブ及びその連合会を通じて、今日の社会における高齢者の健康増進に資するため、また、地元共同体地域へのロータリークラブの活動を広く広報するため、当クラブの名称を冠して、グランドゴルフ競技大会を開催した。 事前に京都市山科区内の各学区を通じて、協議会に参加する高齢者を募集し、当日、京都市山科区にある勧修寺公園に237名集合した。開始の合図とともに各人は競技を開始した。 当クラブからも10名、競技に参加した。		
事業結果	競技終了後、所定の入賞者には賞品等を授与し、また参加者には全員、参加賞を授与し、1人のけが人もなく事業は終了した。 参加者が237名と非常に多く、社会奉仕活動として、コミュニティ・サービスとして有意義な事業であった。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	322,514	円	
事業執行額	305,357	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 山田兼一郎

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	出合いでつなぐ、京都三山の森づくり		
実施日	2017年3月4日		
実施場所	京都市東山区栗田口東大谷町・高台寺山国有林内の菊溪川沿い		
協力団体	京都伝統文化の森推進協議会・京都市		
参加人数	会員 10 名	→→ 会員参加率 23 %	
	市民 100 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
生活様式の変化から山の手入れが行われなくなった京都三山の森では、ナラ枯れやマツ枯れの発生、シイ林の拡大、近年ではシカの食害による森の更新力不足など、歴史とともに育まれた森林景観は大きく変わりつつあります。そこで、京都三山において四季の彩りが感じられる街づくりの一環として京都市が植栽事業を通じて学習会を開催しました。当クラブでは、この事業に参加することで、一般の市民と協力して景観保全に積極的に資することを目的としました。具体的には、事前に常緑高木を伐採して明るくなった京都東山の高台寺山国有林内の菊溪川沿いの散策道に、キクタニギクやムラサキシキブなどの「京の苗木」5種類約80本を植栽しました。			
事業結果			
京都東山の植栽事業を通じて、京都三山の自然環境の再生及び保全に市民とともに参加できたことに大きな意義があった。			
 			
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

京都洛東

ロータリークラブ

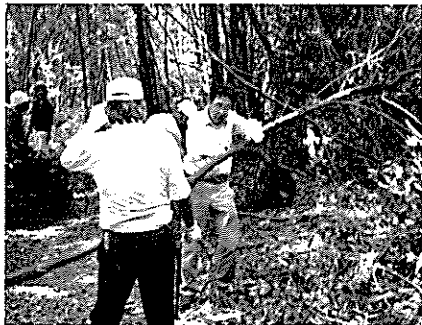
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 山田兼一郎

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	東山で”しば刈り”を体験しよう		
実施日	2017年5月20日		
実施場所	京都市 將軍塚の京都一周トレイル沿いの森林		
協力団体	京都伝統文化の森推進協議会・京都市		
参加人数	会員	5 名	→ 会員参加率 11 %
	市民	30 名	
	その他 青蓮院職員2名、京都市職員3名		
事業分野	☐ 1.人間尊重	☒ 2.地域発展	☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他
事業目的及び事業内容	本年3月4日の菊溪川沿いの植林事業に続き、「京都三山」を育むために必要な、しば刈りを通じて、森の様子を感じ取り、人と森の関わりを体験する事業です。 具体的には、將軍塚周辺の京都一周トレイル沿いの森林で、散策道の常緑高木を斧やノコギリで伐採し、散策道を明るくすることができました。		
事業結果	京都市民のみならず、最近では非常に多くなった県外からの旅行者や外国人旅行者の京都散策トレイルを、より一層豊かにし、大切な京都の文化、京都の森の文化を広く啓蒙していく事に資する結果となりました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	210,000	円	
事業執行額	126,952	円	

2016-17年度

京都さくら

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 内藤 克敏

担当委員会名: 社会奉仕委員会

事業名	玉ネギ栽培事業「植え付け」		
実施日	2016年11月5日(土)		
実施場所	京都市右京区嵯峨観空寺明水町		
協力団体	京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課		
参加人数	会員 14 名 →→ 会員参加率 51.9 % 市民 55 名 その他 【内訳: 児童33名: 引率14名: 京都市1名: 家族会員3名: 竹/折紙/畑協力: 4名】		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	今年で10回目の継続事業。 市内の児童養護施設から児童に参加していただき、今回の玉ネギ植え付け、春の収穫までを一緒にを行います。 食物や自然の大切さを実感し、物の尊さを会員と児童たちが一体となって体験するのが目的です。 土やに触れ、虫や草花にふれ、人にふれ合い、人として成長していくことを主にしています。		
事業結果	児童、引率者、京都市担当者、会員、家族など55名で玉ネギの植え付けを行いました。 「児童と共に」を今年も合言葉に、ひらなで書いた名札を胸に名前を呼びあい友愛の握手！ 今回は、玉ネギ植え付け以外にも、ものづくり体験として、「竹とんぼ、竹笛づくり」と「折紙飛行機づくり」を行いました。普段なかなか体験できないだったので大変もりあがりよかったですように思います。    		
新聞、TV等での報道			
事業予算	330,000	円	
事業執行額	240,000	円	

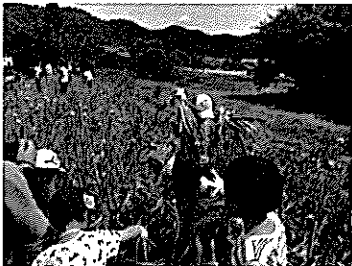
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 内藤 克敏

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	玉ネギ栽培事業「収穫祭」		
実施日	2017年6月3日(土)		
実施場所	京都市右京区嵯峨観空寺明水町		
協力団体	京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 子ども家庭支援課		
参加人数	会員 19 名	→ 会員参加率 70.4 %	
	市民 83 名		
	その他 【内訳: 児童54名: 引率22名: 京都市1名: 家族会員4名: 畑協力: 1名: 米山奨学生1名】		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	今年で10回目の継続事業。 市内の児童養護施設から児童に参加していただき、今回、玉ねぎの収穫を一緒に行います。 食物や自然の大切さを実感し、物の尊さを会員と児童たちが一体となって体験するのが目的です。 土や水に触れ、虫や草花にふれ、人にふれ合い、人として成長していくことを主に行っています。		
事業結果	児童、引率者、京都市担当者、会員、家族など約100名で玉ネギの収穫を行いました。 「児童と共に」を今年も合言葉に、ひらななで書いた名札を胸に名前を呼びあい友愛の握手！ 今回は、玉ネギ収穫以外にも、自然ふれあい体験として、徒歩15分のところにある『沢』まで全員で移動し、土や虫、魚や草花に触れ大自然の中での遊びを楽しみました。普段なかなか体験できないだったので大変もりあがりよこんでいただけたように思います。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	330,000	円	
事業執行額	162,197	円	

2016-17年度

京都西北

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中森信輔

担当委員会名: 奉仕プロジェクト

事業名	河川清掃奉仕		
実施日	2016年9月4日		
実施場所	渡月橋上・下流一帯の大堰川、桂川沿いの河川		
協力団体	嵐峡の清流を守る会主催		
参加人数	会員	5 名	→→ 会員参加率 12 %
	市民	名	
	その他	京都西北RAC 4 名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 毎年恒例ではありますが、一年に一度地域ぐるみで環境保全と河川美化の為に、京都西北ローターアクトメンバーと一緒に参加している。 一般の市民、多数訪れる観光客にも地元の住民が協力して環境保全、美化に取り組んでいることをPRする。			
事業結果 環境保全と河川美化の為に、清掃奉仕活動を行いました。  			
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

2016-17年度

京都西北

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者	役	職	:	委員長
	氏	名	:	中森信輔
担当委員会名 : 奉仕プロジェクト				

事業名	赤い羽根共同募金		
実施日	2016年11月1日		
実施場所			
協力団体	京都府共同募金会へ		
参加人数	会員 43 名 →→ 会員参加率 100 % 市民 名 その他 京都西北RAC 4 名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	毎年、高齢者、障がい者、子ども達への福祉活動支援である赤い羽根募金に協力をしている。		
事業結果	地域福祉活動の為、共同募金に協力した。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	21,500	円	
事業執行額	21,500	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中森信輔

担当委員会名: 奉仕プロジェクト

事業名	第37回大堰川幼魚放流行事		
実施日	2016年11月11日		
実施場所	渡月橋上・下流一帯の大堰川、桂川沿いの河川		
協力団体	京都西南・西北・桂川・嵯峨野R.C、ライオンズクラブ、近隣幼稚園・銀行、嵐山保勝会、他		
参加人数	会員	6 名	→→ 会員参加率 14 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	山田知事も参加をされ、京都府をはじめ各種団体、地域の幼稚園の参加により、環境保全と河川美化を祈念し、幼魚放流と河川美化啓蒙活動を行う。		
事業結果	生きた魚を見て触れて、その魚を放流して、すみかである川の美化の大切さを幼稚園児達に体験してもらい、外国人も多い観光客にも地域ぐるみで、環境の保全、河川の美化に取り組みを行っていることの啓蒙活動を行った。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	20,000	円	

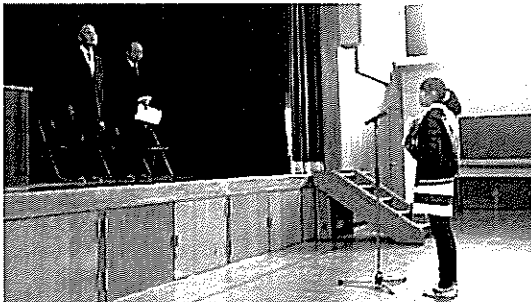
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中森信輔

担当委員会名: 奉仕プロジェクト

事業名	京都西北ロータリー文庫		
実施日	2017年2月1日(水)		
実施場所	京都市立嵯峨小学校		
協力団体			
参加人数	会員	3 名	→→ 会員参加率 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・毎年行っておりますが、京都西北ロータリー文庫（嵯峨小学校）への本の寄贈。学校からの希望の本を寄贈している。子ども達が今、どんな本に興味を持ち、どんな本を読んでいるか、本離れが言われる中、読書への関心を一人でも多くの子どもに持ってもらい、読書により心豊かな子ども成長につながればとの思っております。		
事業結果	・全校集会にて寄贈を行い、会長挨拶からは本に関心を持って読書に興味を持って欲しい等、挨拶をしました。子ども達からは本を大切に扱います。楽しい本を頂き有難うと御礼の言葉を頂きました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	200,000	円	
事業執行額	191,970	円	

2016-17年度

京都西北

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中森信輔

担当委員会名: 奉仕プロジェクト

事業名	右京少年消防クラブへの寄贈		
実施日	2017/3/8、2017年4月16日		
実施場所	らんざん（例会場）、右京消防署		
協力団体			
参加人数	会員	30 名	→→ 会員参加率 71.2 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・ 幼少期から団体活動、奉仕活動を学び、消防についての理解を深めてもらう。ため結成されている少年消防クラブへ本年度は、“デイバック” “クレモナローブ” を 右京少年消防団”に寄贈する。 寄贈品を生かして、大いに活動をして頂きたい。		
事業結果	・ 右京少年消防クラブの修了式・入会式が行われ、多くの子ども達、保護者参加のもと、式が行われました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

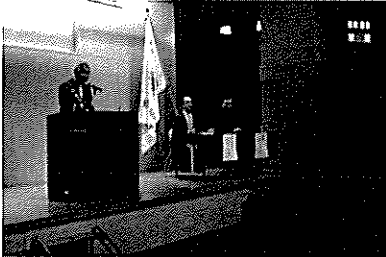
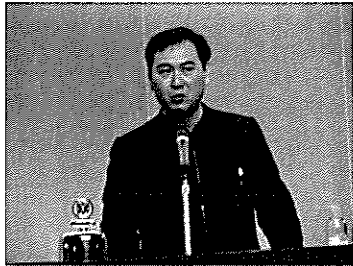
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中森信輔

担当委員会名: 奉仕プロジェクト

事業名	「わたしたち日本の食文化を知る 第2回」		
実施日	2017年4月2日		
実施場所	ハートピア京都		
協力団体			
参加人数	会員	29 名	→→ 会員参加率 74.4 %
	市民	98 名	
	その他	10	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 本年度「まちづくり奨励金」を受賞しました。 昨年に続き、大変市民の皆様に希望されました「食文化事業」として、今年度は京都・東京・横浜を拠点に“食”から読みとく「日本文化を愛でる会」主宰。日本の伝承・伝統文化の普及に努める、松本栄文先生に講演をお願い致しました。			
事業結果 多くの市民に皆さまから、継続希望の声を頂く程、好評でした。和食の関心が高いことを感じました。 当日は、門川大作京都市長がご出席下さり、ご挨拶頂きました。 また、今年度は、クラブ旗を掲げ、点鐘して、例会形式にてロータリーをアピールした形の事業として行いました。   			
新聞、TV等での報道 ・京都新聞 2017年4月3日 朝刊掲載 ・毎日新聞 2017年4月5日 朝刊掲載			
事業予算	550,000	円	
事業執行額	523,800	円	

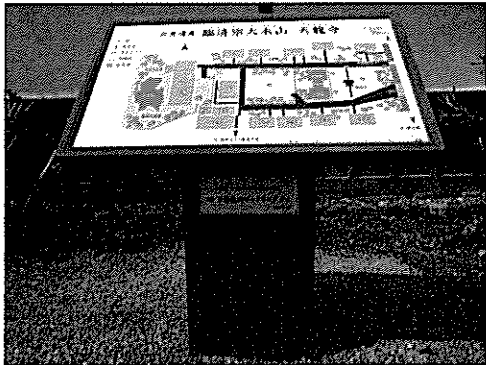
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中森信輔

担当委員会名: 奉仕プロジェクト

事業名	天龍寺への点字案内版（視覚障害者用総合誘導装備）		
実施日	2017年4月12日(水)		
実施場所	天龍寺大門前		
協力団体	天龍寺		
参加人数	会員	15 名	→→ 会員参加率 36 %
	市民	名	
	その他	5	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	例会場近くの「天龍寺」に視覚障害者用点字案内板の設置を行いアクセシビリティの第1歩とした。 また、財団補助金を頂き、有効に活用させて頂きました。		
事業結果	・現在、嵐山は外国人の観光客が大勢来ております。視覚障害者用の案内板ではありますが、一般の観光客も大在、案内板を利用しています。案内板にはロータリー財団100周年の文字も入れ、ロータリークラブのアピールともなることと思います。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	550,000	円	
事業執行額	523,800	円	

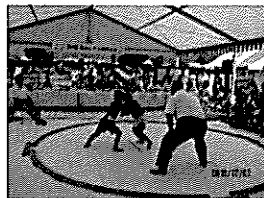
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 八木修二

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第6回嵐山こども相撲大会		
実施日	2016年7月23日		
実施場所	嵐山中ノ島公園		
協力団体	後援：京都府・京都市・京都市教育委員会・嵐山保勝会 協力：京都府相撲連盟・京都嵯峨芸術大学		
参加人数	会員	36名	→ 会員参加率 80%
	市民	600名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
右京区西京区の小学生を対象とした子供すもう大会。日本伝統の相撲を通じて、子供たち、保護者の皆さん、地域の方々との交流をはかり、また子供たちの心身の成長に寄与する。			
			
事業結果			
小学生力士を含め総勢600名近くの地域の方々の参加となりました。 対戦は白熱し、保護者等の応援にも熱が入り会場全体が盛り上がりました。 当日は来賓として、京都市教育長、京都府文化スポーツ部スポーツ振興課長、京都市教育委員会体育健康教育室長、右京区長、西京区長、嵐山保勝会会長、京都府相撲連盟会長他多数を迎え取組や運営についても実際に見聞され、地域への貢献について認識いただいたと共に継続事業としての期待も頂きました。 事前準備である各行政機関との根回し・広報・右京区西京区全小学校への説明・動員活動、当日の運営についてはクラブの手弁当で行いチラシ・土俵等の機材、他設営にかかる費用はクラブから支出しています。小学1年生から6年生までの子ども力士男女240名を含め総勢600名近くの地域の方々の参加行事となり、これら活動を通じて事業目的、ロータリー活動の広報及び地域の活性化を達成することができました。また青少年の健康な心身の成長に寄与することができました。			
新聞、TV等での報道			
7月24日(日)の京都新聞朝刊、7月28日(火)の京都新聞朝刊に写真と記事が掲載。			
事業予算	1,300,000	円	
事業執行額	1,215,102	円	

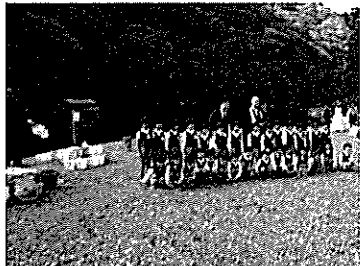
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 八木修二

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第37回大堰川幼魚放流行事		
実施日	2016年11月11日		
実施場所	大堰川左岸		
協力団体	主催：嵐峡の清流を守る会 後援：京都府 協賛：京都西南RC、嵯峨幼稚園など 4幼稚園、右京区西部河川美化推進協議会、嵐山保勝会、保津川漁業協同組合など		
参加人数	会員 6 名 → 会員参加率 13.04 % 市民 100 名 その他 プロバスクラブ京都会員20名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	山田京都府知事もご出席いただき、京都府をはじめ各種団体、地域の幼稚園の参加協力を得て、園児たちが知事と一緒に環境保全と河川美化を祈念し、幼魚放流と河川美化啓蒙活動を行った。		
事業結果	環境保全と河川美化を学ぶ場となり、素晴らしい河川美化啓蒙活動となった。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	20,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 林 一樹

担当委員会名: 社会奉仕

事業名	糺の森一斉清掃		
実施日	9月22日(土)		
実施場所	下鴨神社・糺の森		
協力団体	京都市環境美化		
参加人数	会員	21 名	→→ 会員参加率 57 %
	市民	300 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
恒例の糺の森一斉清掃が行われ、地元消防団やボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんと共に参加しました。  			
事業結果			
鉄くずや陶器の破片、かさやビニール袋など、少し道を外れたところに落ちていました。多くの観光客や結婚式等で賑わう下鴨神社・糺の森。これからも多くの人々が訪れるこの場所を清掃できる事業は、我がクラブにとって非常に貴重な社会奉仕活動の一つになると感じています。  			
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

京都紫竹

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 林 一樹

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	下鴨神社「世界遺産」糺の森に記念植樹		
実施日	2017年1月28日、土曜日		
実施場所	下鴨神社・糺の森「表参道」		
協力団体	なし		
参加人数	会員	18 名	→ 会員参加率 %
	市民	名	
	その他	神社関係者	2名
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 日頃から下鴨神社とは縁も深く、糺の森の清掃、年末の餅つき等、継続事業があり、25年の節目として記念樹を残す事を目的としました。 最初に、本殿で記念植樹の報告参拝をし、お払いを受け、表参道で「イロハモミジ」の記念植樹を行いました。			
  			
事業結果 当日は晴天で気温も高く暖かく、記念植樹には最適な一日でした。 表参道での植樹式に、多くの外国人観光客が珍しそうに写真を撮影されていました。 これからの、京都紫竹ロータリークラブの成長と共に、大きくつことを祈ります。			
 			
新聞、TV等での報道			
事業予算	150,000	円	
事業執行額	150,000	円	

2016-17年度

京都朱雀

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 権 五明

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ホンコンフィナンシャルRCとの姉妹締結と青少年短期交換学生の実施		
実施日	2016-2017・2017-2018年度の継続事業(25周年に向けて)		
実施場所			
協力団体			
参加人数	会員	名 →→ 会員参加率	%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	経済的な理由等で海外に行きたくても行けない学生を対象に、より多くの若者を海外に派遣することにより国際的な人材の育成を目指す。 及び、海外RCと姉妹提携し、クラブ間並びに会員の親睦を深め国際親善に寄与する。		
事業結果	2016-2017・2017-2018の継続事業の為、進行中です。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

2016-17年度

京都田辺

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 奥西伊佐男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	田辺高校生と共に地域清掃奉仕事業		
実施日	2016. 12. 17		
実施場所	JR「京田辺」駅、近鉄「新田辺」駅周辺から田辺高校周辺の地域一体		
協力団体	京都府立田辺高校		
参加人数	会員	14 名	→→ 会員参加率 70 %
	市民	20 名	
	その他	田辺高校生	250名
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 当クラブの社会奉仕事業の一環として、環境保全、地域貢献を目的として田辺高校生約250名と一緒に 田辺高校の環境教育と地域貢献として実施される学校行事にも応援するものである。 事業内容 12月17日（土）13：00に田辺高校に集合し、13：30より全員で清掃活動（環境美化運動）を行い、 15：30頃にごみを焼却場へ搬送し、16：30頃に解散			
事業結果 地域の環境保全・共同奉仕を実現するための府立田辺高等学校のクラブ活動の生徒を中心としたメンバーと共同作業にて近鉄新田辺駅周辺から田辺高校周辺のエリアまでの住宅・商店街を中心に環境美化のための地域清掃活動でした。生徒と学校関係者を含めて参加数は約250名となり、ロータリークラブ会員参加率は70%でした。集められたゴミは軽四トラック6台分となり。ゴミ焼却場へロータリークラブが搬出致しました。			
新聞、TV等での報道 この内容は、地域新聞の洛南タイムスに掲載されました。			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

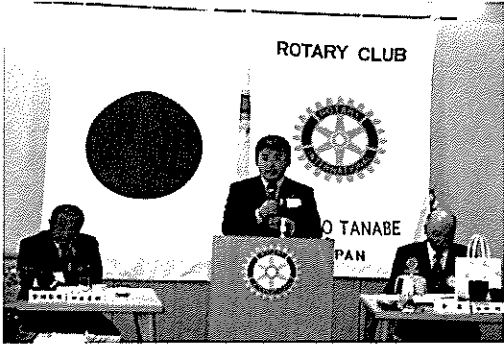
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 奥西伊佐男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	社会奉仕フォーラム		
実施日	平成29年4月13日 (木)		
実施場所	例会場		
協力団体	京田辺市社会福祉協議会		
参加人数	会員 17 名	→→ 会員参加率 85 %	
	市民 名		
	その他 1名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 事業目的 ロータリークラブ会員が、京田辺市周辺地域における社会福祉に関する現状を認識し、どのような必要があるかを考える機会とする。 事業内容 京田辺市社会福祉協議会のふれあい福祉課長の福田様をお招きし。「社会福祉の現状について」と題した講演を頂き、メンバーを対象としたフォーラムを開催致しました。社会福祉の現状を知りロータリークラブとして何ができるか、何をすればよいか等これからの福祉のあり方から奉仕活動を考える良い機会となりました。			
事業結果 フォーラムの開催 ロータリークラブの会員が京田辺市における社会福祉に関する現状をは把握することができ、今後のロータリー活動に大いに役に立つフォーラムでした。			
			
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

京都山城

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 北浦 暁

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	精一杯がんばる障害者仲間との交流及び通所施設への支援事業		
実施日	平成28年12月3日(土)		
実施場所	木津川市中央交流会館・いずみホール		
協力団体	地区内法人通所施設		
参加人数	会員	24 名	→ 会員参加率 88.88 %
	市民	130 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	地区内法人施設に通所の人達が一同に介しての交流と6施設(ヒュッテ 空気清浄機・防犯グッズ、こころく 手織り機、おふんせさみ IPッド、D-アロシェ外 ナンシンパレット、オープンスペースぼらりす 自走型車椅子、無限園 パソコン)に支援物資を贈呈しました。 オープニングセレモニーとして、ジャグラーみらんとコンサート沼澤修一トリオ&モアが、交流会を盛り上げてくれました。 食事会では、カレー、お寿司、おでん、豚汁等で食事を通じて、交流を深めました。豚汁は、「男子厨房に入ろう会」の協力を得ました。 最後にビンゴゲームで盛り上がりました。		
事業結果	京都山城RCの会員手作りの奉仕活動で、障害者仲間との交流も図り、会員同士の親睦も図れ、とても意義のある奉仕活動でした。  		
新聞、TV等での報道	.		
事業予算	1,000,000	円	
事業執行額	1,063,049	円	

2016-17年度

京都山城

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 北浦 暁

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「滝桜」の手入れ				
実施日	平成29年2月8日(水)				
実施場所	木津川市・井手町・南山城村				
協力団体					
参加人数	会員	20	名	→	会員参加率 80 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	クラブ創立記念植樹として、クラブのテリトリー内に「滝桜」を植樹。その桜を毎年、会員で手入れをしています。  				
事業結果	桜の咲く時期になると、毎年きれいな花を咲かせています。 				
新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	9,800	円			

2016-17年度

京都八幡

ロータリークラブ

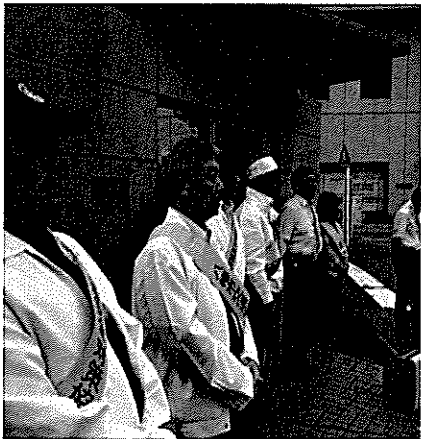
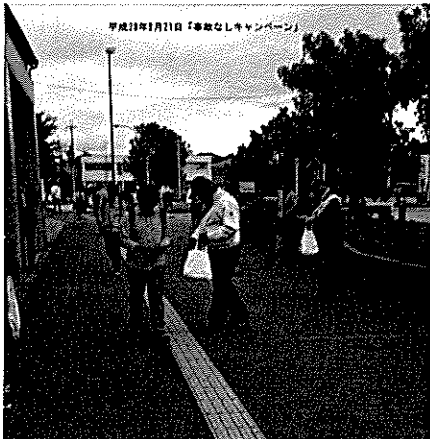
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 森井雅春

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	事故“ナシ”キャンペーン		
実施日	平成28年9月21日(水)		
実施場所	京阪八幡市駅前ロータリー周囲		
協力団体	八幡市交通安全対策協議会の呼びかけ		
参加人数	会員	9名	→→ 会員参加率 30%
	市民	50名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 例年この時期に「八幡市交通安全対策協議会」からの呼び掛けで参加・活動しています。参加団体は、八幡警察署、八幡市職員、安全対策協議会、地域活動委員、八幡市高校生徒、社協、当クラブメンバー等が協力参加しています。例年この事業が実施されていることから市民の意識が高まり、市内の交通事故が徐々に減少してきている傾向であることが警察署より報告されています。			
事業結果  			
新聞、TV等での報道 京都新聞地域版で掲載されていることがあります。			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

京都八幡

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 森井雅春

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	"八幡市「まちかどごみ」ゼロの日"清掃活動		
実施日	平成28年9月25日(日)		
実施場所	さくら公園・松花堂・八幡高校周辺		
協力団体	八幡市「まちかどごみ」ゼロ実行委員会の呼びかけ		
参加人数	会員	9 名	→ 会員参加率 30 %
	市民	50 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	年2回(春と秋)八幡市「まちかどごみ」ゼロ実行委員会の呼びかけで参加・活動しています。参加団体は、実行委員会の八幡市職員、八幡市高校生、一般市民、当クラブメンバー等が協力参加しています。清掃活動箇所は八幡市内5箇所を設定され、例年2回実施されていることから、市民の意識が徐々に高まり、最近では、公園、道路にごみ放置が無くなってきたことに活動の成果が出てきています。		
事業結果	 		
新聞、TV等での報道	京都新聞地域版で掲載されていることがあります。		
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

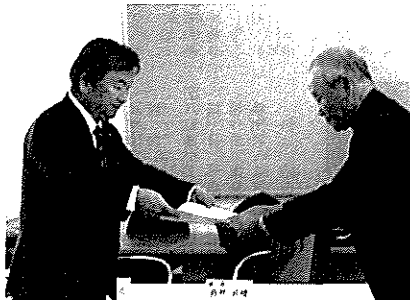
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 森井雅春

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	愛の貯金箱贈呈		
実施日	平成29年2月6日(月) 9:30～		
実施場所	八幡市老人クラブ連合会(八寿園)		
協力団体	なし		
参加人数	会員 2 名 → 会員参加率 %		
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	八幡市老人クラブ連合会は、毎年老人会のメンバーを対象にして、自宅の引き出し等の片隅に眠っている小銭を貯金箱に入れてもらい、老人会の役員が回収に回られています。この貯金箱が毎年必要であることから、老人会の要請により、「愛の貯金箱」と名を打って今年も600個を寄付しました。 回収されたお金は、八幡市の高齢者福祉基金に寄付されるようで、寄付した貯金箱には京都八幡ロータリークラブのシールが貼っており、広くPRに繋がっているものと確信します。		
事業結果	 八幡ロータリークラブ様から貯金箱の寄贈 H29.2.6  		
新聞、TV等での報道	八幡市老人クラブ「八老連」第66号広報誌に掲載されました。		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

2016-17年度

京都八幡

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 森井雅春

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	春の交通安全啓発活動		
実施日	平成29年4月6日(木) 7:00～8:00		
実施場所	京阪八幡市駅前ロータリー周囲一帯		
協力団体	八幡市交通安全対策協議会の呼びかけ		
参加人数	会員 8 名	→→ 会員参加率 26 %	
	市民 約70 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 例年この時期に「八幡市交通安全対策協議会」からの呼び掛けで参加・活動しています。参加団体は、八幡警察署、八幡市職員、安全対策協議会、地域活動委員、八幡市高校生徒、社協、当クラブメンバー等が協力参加しています。例年この事業が実施されていることから市民の意識が高まり、市内の交通事故が徐々に減少してきている傾向であることが警察署より報告されています。			
事業結果   			
新聞、TV等での報道 京都新聞地域版及び八幡市広報誌に掲載されていることがあります。			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

京都八幡

ロータリークラブ

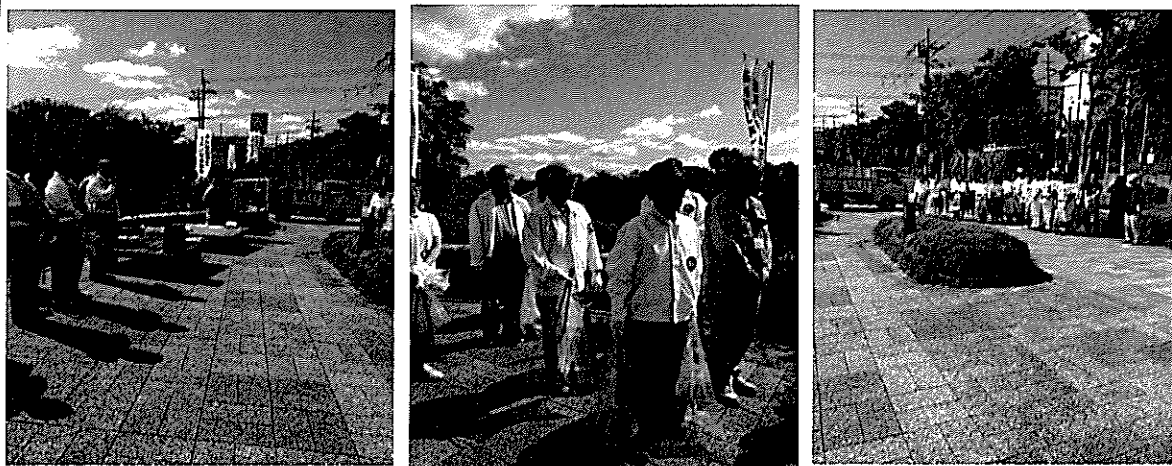
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 森井雅春

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	“八幡市「まちかどのごみ」ゼロの日”清掃活動		
実施日	平成29年6月4日(日) 9:00～10:00		
実施場所	さくら公園・松花堂・八幡高校周辺		
協力団体	八幡市「まちかどのごみ」ゼロ実行委員会の呼びかけ		
参加人数	会員 9 名	→→ 会員参加率 30 %	
	市民 約50 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 年2回(春と秋)八幡市「まちかどのごみ」ゼロ実行委員会の呼びかけで参加・活動しています。 参加団体は、実行委員会の八幡市職員、八幡市高校生徒、一般市民、当クラブメンバー等が協力参加しています。清掃活動箇所は八幡市内2箇所を重点的に例年2回実施されていることから、市民の意識が徐々に高まり、最近、公園、道路等にごみ放置が無くなってきたことにより、活動の成果が実を結び、ごみ一つ落ちていない環境の良い街並みが形成されて来ています。			
事業結果			
			
新聞、TV等での報道			
京都新聞地域版又は八幡市広報新聞等で掲載されていることがあります。			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

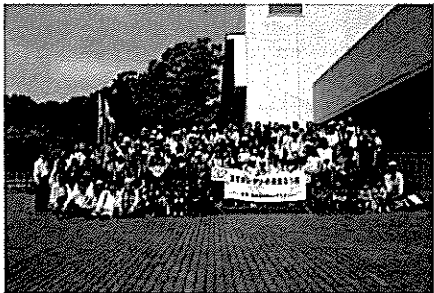
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 高野真一

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	第32回 五老ヶ岳ロータリーの道『登ろう会』		
実施日	2017年5月14日(日)		
実施場所	文化公園体育館⇒五老ヶ岳山頂公園		
協力団体			
参加人数	会員	21 名	→→ 会員参加率 78 %
	市民	280 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 舞鶴ロータリークラブで手入れを行っている『五老ヶ岳ロータリーの道を』を市民の方と一緒に、新緑のトレッキング、山頂公園での「お山のコンサート」を楽しみました。今年で32回目となるのでかなり市民の皆様にも浸透している事業となりました。 ボーイスカウト舞鶴第4団にも参加して頂き道の手入れ、育成会から山頂での豚汁の炊き出し等を行って頂きました。午後からは、恒例の吹奏楽団ブルーマリーンのコンサートを行いました。また、登って頂いた方にジュース、お茶等の飲物を提供しました。帰りに、花や野菜の種15種類を用意し一人4袋ほどをプレゼントしました。			
事業結果 天候にも恵まれ、参加者全員が気持ちの良い日を送れたと思います。昨年から福利厚生の一環として警察署員も多数参加して頂きました、地元企業の団体も数多く登っておられました。「来年も参加するわ。」と多くの声を掛けて頂きました。登頂前に撮影した集合写真を記念になるよう初めてプレゼントしました。今年是一部業者に任せていた手入れも、倒木の除去など自分たちで行いました。			
  			
新聞、TV等での報道 5月15日の読売新聞、市民新聞に掲載して頂きました。			
事業予算	300,000	円	
事業執行額	264,570	円	

2016-17年度

舞鶴東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 稲田 尚

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	社会福祉施設へのバザー用品提供				
実施日	2016年10月1日				
実施場所	舞鶴みずなぎ学園				
協力団体	なし				
参加人数	会員	10	名	→→ 会員参加率	26 %
	市民	3	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	ロータリークラブ会員から集めた本と、提供していただいた家庭用品など福祉施設「舞鶴みずなぎ学園」のバザー用品として送る。				
事業結果	舞鶴市内の福祉施設、公共施設の待合室などで読んでいただくために、古本・新刊本を一年前から会員に呼びかけている。今回そのうちの半分ほどを市内の福祉施設「みずなぎ学園」で行われたバザーに使っていただいた。今回、本だけでは少ないので、会員に協力をよびかけ、家庭用品などの品物を一緒に集め、提供し、バザーに使っていただいた。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	0	円			
事業執行額	0	円			

2016-17年度

舞鶴東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 稲田尚

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	白鳥街道桜並木の整備・保守		
実施日	2017/4/15 (土)		
実施場所	舞鶴市白鳥通り		
協力団体			
参加人数	会員 5 名	→→ 会員参加率 14%	%
	市民 0 名		
	その他 業者3名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	事業目的：継続事業プログラムとして 環境保全 美化を目的に毎年桜の植林をおこなう。 事業内容：山桜3本を補植（昨年植えた苗木の枯死したものの植え替え） 陽光桜20本を植樹		
事業結果	継続事業プログラムとして毎年桜を植樹しており 東舞鶴～西舞鶴間の府道白鳥通りに桜並木を作っている。		
新聞、TV等での報道	舞鶴市民新聞で報道		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	57,115	円	

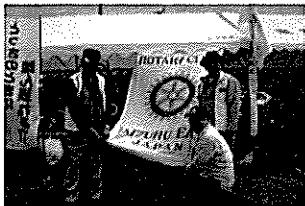
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 稲田 尚

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	みなと舞鶴とれとれトレイルランin大浦		
実施日	2017/5/6 (土)		
実施場所	舞鶴市大浦半島		
協力団体	舞鶴トレイルクラブ		
参加人数	会員	20 名	→ 会員参加率 54 %
	市民	352 名	
	その他	スタッフ128名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 事業目的：歴史と自然を満喫し、心身ともに健康をめざす。 事業内容：縄文時代から受け継ぐ歴史と自然豊かな日本海に面した風光明媚な舞鶴市大浦半島の山中3.2Kmと、最後に1Kmの砂浜を走ってゴールするという、参加者に充分楽しんでもらえるコースを設定することができた。 1.1Kmの多祢山ハイキングには68名が参加した。			
事業結果 前夜からの雨のため、特にハイキングの不参加者が半数近くに上ったが、総数266名の参加があり、アンケート結果は、大満足56%、満足24%という大好評であった。 特に、自然を満喫できるコースに満足してもらえた。トレイルランの完走率は98%であった。 特にけが人もなく実施できたことは幸せであった。 当初の目的は十分に達成できたものと感謝している。 まちづくり基金奨励金優秀賞を受けることができた。   			
新聞、TV等での報道 朝日新聞 京都新聞 舞鶴市民新聞で報道			
事業予算	200,000	円	
事業執行額	250,000	円	

2016-17年度

園部

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 廣瀬 仙義

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	献血活動		
実施日	28年8月9日(水)		
実施場所	南丹市園部公民館		
協力団体	南丹市園部公民館		
参加人数	会員	12 名	→→ 会員参加率 52.18 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	創立3年目から年に2回献血活動を始めて32回目になります。 今年度1回目は8/9(火)に行いました。 		
事業結果	献血受付者は67人。献血数59人。 総献血量23400ml。 骨髄バンク登録者数1人。 		
新聞、TV等での報道	献血前に新聞広告を入れ、献血御協力のお願いをしています。 また南丹テレビでも献血御協力の放送をしていただきました。		
事業予算	30,000	円	
事業執行額	28,588	円	

2016-17年度

園部

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 廣瀬 仙義

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

事業名	インターアクトクラブと合同で募金活動		
実施日	2016.11.5(土)		
実施場所	JR園部駅西口		
協力団体	インターアクトクラブ		
参加人数	会員	名 →→ 会員参加率	%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「世界ポリオデー」関連イベントとしまして、インターアクトクラブと合同で、赤い羽根共同募金、ポリオ撲滅活動のための募金活動を行いました。		
事業結果	 通行人の方は、赤い羽根共同募金をご存知でしたが、「ポリオ撲滅活動募金は聞いた事がない。そもそもポリオって何?」と、聞いてこられる方が多数いらっしゃいました。ポリオの説明をして、ご協力いただく事に苦劳しましたが、今回初めてアクトと一緒に募金活動が行えた事は大変意義があったと思います。赤い羽根共同募金につきましては、集まった募金をアクトと一緒に南丹市社会福祉協議会へ届けに行きました。  		
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

園部

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 廣瀬 仙義

担当委員会名 : 社会奉仕委員長

事業名	花壇に花咲かせましょう運動		
実施日	2016. 12. 9 (金)		
実施場所	園部駅西口		
協力団体	京都府立農芸高等学校		
参加人数	会員	名 →→ 会員参加率	%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブでは、園部駅を利用される皆さんに、少しでも気持ちよく通っていただけるように J R 園部駅西口花壇に花を植えています。 今回は京都府立農芸高等学校環境緑地科の生徒が作られた花を、生徒達と一緒に花壇に植えました。		
事業結果	今回は400株の花を植えました。色鮮やかな花が咲いていると、花壇へのタバコやゴミの ポイ捨てがなくなってきています。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	24,000	円	
事業執行額	24,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト理事

氏 名 : 廣瀬 仙義

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血活動		
実施日	2017.3.10		
実施場所	南丹市八木公民館		
協力団体	南丹市		
参加人数	会員	18 名	→→ 会員参加率 78.3 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 クラブ創業3年目から、年に2回献血活動をはじめて、32年目になります。 「健康な肉体に感謝し、身体をはった愛の献血」をキャッチフレーズに献血の推進をしています。今年度2回目献血活動は八木町にておこないました。			
事業結果 献血受付者数46人 採血数 40人 骨髄バンク登録者数2人 総献血量 15800ml 献血のPRをみて、久しぶりに献血をしようと足を運んでくださった方がいました。今回は必要とされる人数分の協力を得られましたが年々受付数が減ってきています。会場や地域イベントや休日にあわす等、社会環境の変化に対応するよう考えながら、次回献血事業に取り組みたいです。			
新聞、TV等での報道 八木町内全域に献血の新聞広告をいれて、献血御協力をお願いをしました。また南丹テレビでも献血御協力の放送を放映していただきました。			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	18,625	円	



2016-17年度

宇治

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長 理事

氏 名 : 柿谷 致康

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	クリーン宇治		
実施日	7月10日 9月11日		
実施場所	宇治川河川		
協力団体	クリーン宇治協議会		
参加人数	会員	15 名	→→ 会員参加率 38 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	宇治の街を綺麗する一掃清掃を年3回開催されまておりこのお手伝いをさせていただいております。 担当を社会奉仕委員会が担当し会員に呼びかけ毎回15名程度のメンバーが清掃に参加しております。		
事業結果	現在 7月と9月のクリーン宇治にメンバーが参加 次回は3月に開催予定 6月には総会が開催されます。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	10,000	円	
事業執行額	10,000	円	

2016-17年度

宇治

ロータリークラブ

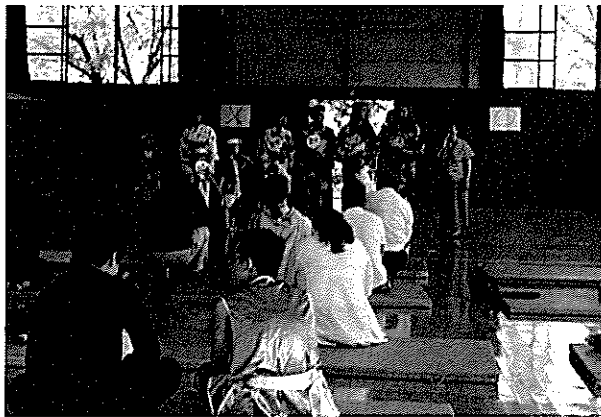
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 柿谷 致康

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	中国帰国者との交流会		
実施日	2017. 5. 28 (日)		
実施場所	宇治市立南宇治中学校柔剣道場		
協力団体	朋友館中国帰国子女日本語教室		
参加人数	会員	12 名	→→ 会員参加率 30 %
	市民	70 名	
	その他 朋友館スタッフ7名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	趣 旨：社会奉仕事業の一環として中国帰国子女家族との交流会 内 容：南宇治中「中文拳」演武と武術体験の披露と体験、クラブ会員によるバルーンアート、浴衣の試着体験披露、その他全員によるゲームや軽スポーツ 他		
事業結果	昼食を一緒に食べ、浴衣を着用して頂くこと等非常に喜んで頂いた。またロータリアンと仲良く遊べる事に感謝された。 		
新聞、TV等での報道	地元の洛南タイムス社・城南新報社の取材を受けた		
事業予算	30万	円	
事業執行額	30万	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 木下 泰彰

担当委員会名 : 社会奉仕委員長

事業名	夏のクリーン宇治運動		
実施日	2016年7月10日(日)		
実施場所	宇治神社周辺～		
協力団体	(一社) 宇治青年会議所を中心とするクリーン宇治運動推進協議会所属団体		
参加人数	会員	19 名	→→ 会員参加率 40.4 %
	市民	0 名	
	その他 市民多数		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 この「クリーン宇治運動」は30年以上前から行われていて内外から宇治を訪れる観光客をはじめ市民に清潔で明るい街を提供する為に 7月 9月 3月 と年3回の一斉清掃活動を予定しています。 今回は「夏のクリーン宇治運動」ということで当ロータリークラブは宇治神社周辺と太閤堤跡に在る石碑周りの清掃を行いました。 			
事業結果 多くの団体や地域住民が参加する運動であり、その一翼を担い積極的に協力することで横の連携を図り自ら清掃活動を行いながら市民の美化意識を高めることに貢献できたことと思います。 			
新聞、TV等での報道 地方紙「洛南タイムス」他に清掃活動が掲載されました。			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	15,000	円	

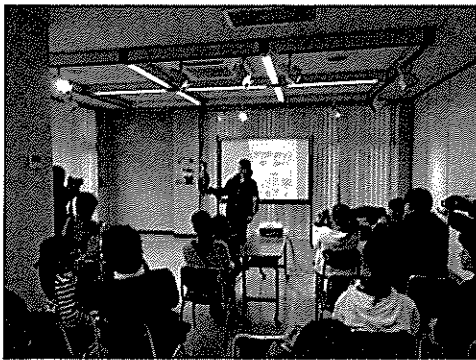
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 木下 泰彰

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ウッティーを描こう！～子どもたちによるウッティーを題材にした絵画作品コンクール～		
実施日	応募期間2016年12月1日(木)～ 作品展示2017年1月28日(土)～ 表彰式2月5日(日)		
実施場所	宇治市観光センター		
協力団体	(公社)宇治市観光協会		
参加人数	会員	47 名	→ 会員参加率 90 %
	市民	名	
	その他	市民多数	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
鵜飼と言う伝統漁法を観光産業とする宇治市においてウミウにヒナが誕生しました。飼育されているウミウの人工ふ化は日本で初めてであり我が町の「宝物」と言えるでしょう。そこでこの鵜飼及びウミウへの理解を深め、ヒナの「ウッティー」を広く市民に広報することで、今や伝統文化ともいえる鵜飼漁法継承への貢献、宇治市の観光事業や少年達の文化教育への寄与、さらには市民レベルでの社会奉仕活動の一助とします。 昨年に引き続き2回目の開催となります。			
			
事業結果			
宇治市在住の幼稚園年長児・保育園年長児・こども園年長児・小学生から75作品もの応募がありました。 宇治市観光センターにおける作品展も連日盛況の様相を呈し、表彰式には入賞者全員を含む保護者、報道関係者に参加をいただきました。 クラブとしては設営等メンバー丸で取り組めたことも大きく、事業的には市民への鵜飼に対する理解を促しつつ青少年育成活動の一助になったのではないかと確信します。			
			
新聞、TV等での報道			
地元「洛南タイムス」「城南新報」の他に「京都新聞」「毎日新聞」にも掲載されました。			
事業予算	600,000	円	
事業執行額	540,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕担当理事

氏 名 : 油谷 啓司

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	おもてなし活動「ガム取り大作戦」		
実施日	2016.9.10		
実施場所	ＪＲ福井駅前周辺の広場・歩道		
協力団体	福井駅前商店街・青年会議所・旅館業協同組合・商工会議所青年部・市内企業・市内ＲＣ他		
参加人数	会員	120 名	→→ 会員参加率 100 %
	市民	180 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容 福井駅周辺の現在の環境について、平成28年3月末福井駅西口の再開発もほぼ完了し、北陸新幹線金沢開通も2年目に入り、今後福井国体、北陸新幹線福井延伸も控え、急ピッチで工事が進んでおります。そんな中、ソフト面では「美のまち福井」と銘打って、福井駅周辺で催しを行い大変賑わっています。そこで、ハード面である町の清掃活動「ガム取り大作戦」を多くの企業・団体ご協力のもと、継続事業として実施いたしました。県外からのお客様に「美のまち福井」のイメージアップに貢献したいと思います。			
事業結果 今年は2回目の継続事業といこともあり、大々的に広報は行わずに、昨年ご協力いただいた方に再度お願いし、各種団体から多数の参加をいただきました。当日は、好天に恵まれ予想を超える300名の参加でガム取り奉仕活動を行うことができました。作業中は、道行く人に、激励、感謝の言葉をかけられ、とても励みになり、無事終了することができました。当クラブとしては、今後商店や自治会などに道具の貸し出しや、ガム取り方法のアドバイスなども行い、地元市民のモラルとおもてなし意識の向上を目的にサポートしていきたいと思います。  			
新聞、TV等での報道 当日は、NHK、福井放送、福井テレビの取材を受け当日のニュースに取り上げられました。福井新聞、日刊県民福井からも取材を受け、翌日の紙面に掲載されました。			
事業予算	100,000	円	
事業執行額	110,052	円	

2016-17年度

福井あじさい ロータリークラブ

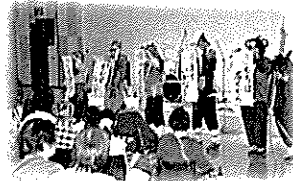
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松塚 泰孝

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	Happyあじさいフェスティバル ～手に手つないでノーマライゼーション～		
実施日	2017年4月29日		
実施場所	ハピリンホール (福井市)		
協力団体	自立支援センターCom-Support Project 福祉ボランティア劇団たからぶね		
参加人数	会員 40 名	→ 会員参加率 63 %	
	市民 120 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 目的：子供からお年寄りまで健常者も障害者も共に楽しい時間を共有することで、誰もが安心して暮らせるノーマライゼーションの地域社会につなげる。 内容：会場にはクラブの奉仕活動をパネル展示しPR ①障害者の方とスタッフで作るバンド演奏 ②福祉ボランティア団体による認知症の理解普及に向けた寸劇 ③子供谷が喜ぶマジックショー&バルーンアート ④来場者全員を対象とした大ビンゴ大会 ⑤来場者全員に参加景品の手渡し ⑥後日、自立生活センターの方を卓話にお呼びし、会員が更に障害についての理解を深める。			
事業結果 『手に手つないでノーマライゼーション』をテーマに開催した、Happyあじさいフェスティバル。障害者の方のバンドは力強く歌い上げ、ご本人たちも満足のいくパフォーマンスを披露していただいた。 ボランティア団体の認知症の理解に向けた演劇は来場者に伝わる熱演ぶりであった。 「障害も認知症も、生活のしずらさは我々の心が大きく影響している。皆が皆にやさしい地域社会」を目指したイベントとして成果を感じている。また、当クラブの会員が準備から運営まで協力したことや、この機会に『障害』や『認知症』について考え学び感じたことは、今後の社会奉仕活動につながる貴重な時間であったと感じている。			
  			
新聞、TV等での報道 日刊県民福井 (平成29年5月5日掲載) 中日新聞 (平成29年4月30日掲載)			
事業予算	789,660	円	
事業執行額	790,296	円	

2016-17年度

福井フェニックス ローターイクラブ

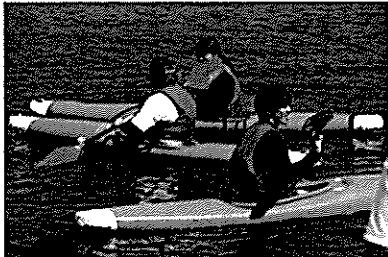
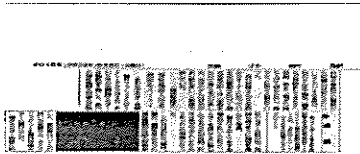
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 辻 正

担当委員会名 : 地域奉仕部会 社会奉仕委員会

事業名	カヌーを通して心からの相互交流を促す体験教室		
実施日	2016年9月4日(日)		
実施場所	福井県あわら市北潟湖 カヌーポロコート		
協力団体	福井県カヌー協会 福井工大カヌー部 福井大学カヌー部 金津高校カヌークラブ		
参加人数	会員 17名	→→ 会員参加率 30%	
	市民 108名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 ローターイクラブの原点は職業奉仕を基本とする奉仕の理想の具現化であります。屋外でのスポーツ等の機会が少ない人たちにカヌー体験教室を通じて体を動かすことの楽しさ、チャレンジ精神や判断力を養ってもらうこと。日常なかなかできないカヌー体験教室にて世代や性別の違う人との交流と深めること。			
事業結果 あすわ支援センター、社会福祉法人コミュニティネットふくい、あいの里・陽だまりグループホーム、社会福祉法人 悠々福祉会、さくらハウスの入所者がふれあいを通してお互いの親睦・交流が深まりました。			
  			
新聞、TV等での報道			
 			
福井新聞・日刊福井新聞 掲載			
事業予算	250,000	円	
事業執行額	300,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 辻 正

担当委員会名 : 地域奉仕部会 社会奉仕委員会

事業名	セイタカアワダチソウ駆除ボランティア		
実施日	2016年9月25日(日)		
実施場所	福井県福井市足羽川堤防左岸(花月橋駐車場周辺)		
協力団体	特定非営利活動法人 ドラゴンリバー交流会主催 市民団体・企業(15団体)約150名		
参加人数	会員	7名	→ 会員参加率 8%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
足羽川の水辺環境を守るため市街地を流れている足羽川の緑地などに生い茂っているセイタカアワダチソウ(在来植物をおしのけて拡大している要注意外来植物)の一斉駆除作業。			
事業結果			
足羽川河原にはびこるセイタカアワダチソウはかなり伸びて、草の根が固いので草刈機やカマで刈取りました。根が固く、植物の背も高くなっていて大変でした。でも汗をかいてするのが真の奉仕活動です。皆と汗を流を流すことによって連帯感も生まれ、河原もきれいになるといった大変意義のある活動であると思います。今後も、継続的にやっていこうと思っています。			
			
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

福井フェニックス ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 辻 正

担当委員会名 : 地域奉仕部会

事業名	足羽川清掃活動		
実施日	2017/3/12 (日) AM8:00～10:00		
実施場所	福井県福井市足羽川の河川敷		
協力団体	NPOドラゴンリバー交流会 (各自治会・一般市民・一般企業等・ドラゴンリバー会員等)		
参加人数	会員 17 名 → 会員参加率 28 % 市民 名 その他 各市民団体、自治会、福井市、企業、総56団体 1,500人		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	福井市内の中心地をながれる足羽川は、市民の憩いの場である。桜の名所でもあり、全国桜の名所100選にも選ばれている。この足羽川を、市民全体できれいにしようと、大勢の市民が参加する清掃活動である。 この足羽川清掃活動に福井市内の他ロータリークラブとともに参加し、足羽川清掃活動を行った。当ロータリー以外にもたくさんのクラブ他・各自治体・各種団体が参加している。 主催者の特定非営利活動法人ドラゴンリバー交流会は、福井県九頭竜川水系の豊かな水環境の保全と創造を図るため「水を創り、水を活かし、水と生きる」をテーマとして、住民参加型の幅広い活動を展開している。 この活動に毎年参加支援することによって、足羽川の水辺環境を守るだけでなく、福井市民の永続的な活動としてともに定着し、足羽川のいつもと変わらない美しい桜を県内外の多くの皆様に喜んで頂ける。		
事業結果	ゴミの量 4トントラック約12台分   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	3,500	円	
事業執行額	2,827	円	

2016-17年度

福井東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 嶋崎 元博

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	九頭竜川に親しむ会		
実施日	2016年8月7日(日)		
実施場所	九頭竜川防災センターと広場及び永平寺川		
協力団体	NOP法人ドラゴンリバー交流会		
参加人数	会員	15 名	→→ 会員参加率 34 %
	市民	58 名	
	その他	スタッフ 10名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 <目的> 川で遊び、川の魚たちの生活を知り、ものづくりを通して川の役割や川の環境保全について考え、行動できる子どもを育てる。 <内容> ・講演会「九頭竜川の魚たちがあぶない！」 ・アユのつかみ取り ・多目的広場でバーベキュー ・ネイチャクラフト「木で船を作ろう」			
事業結果 この事業は継続事業の1つで、毎年子ども達の夏やすみ期間に開催しております。この日は、大変猛暑でしたが、親子でイベントを楽しみました。また、昼食タイムでは、鮎の塩焼き、焼き肉等で舌鼓をうちました。主なスケジュールは 開会式 挨拶 ・ドラゴンリバー理事長挨拶 ・福井東RC会長挨拶 講演会・特別授業 演題「九頭竜川の魚たちがあぶない！」 講師 福井県淡水魚研究会会員 川崎隆徳 氏 アユのつかみ取り バーベキュー ネイチャクラフト「木で船を作ろう！」 指導 東京おもちゃ美術館 おもちゃ学会員 越の郷地球環境会議事務局 長 日野岡金治 氏 後始末			
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

2016-17年度

福井東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 嶋崎 元博

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	福井県立盲学校グラウンドと学校周辺の除草作業		
実施日	2016年9月3日(土)		
実施場所	福井県立盲学校グラウンドと学校周辺		
協力団体	盲学校職員・PTAの皆様		
参加人数	会員	19 名	→→ 会員参加率 40.43 %
	市民	名	
	その他	職員、PTA	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	<目的> 9月17日(土)の文化祭に向けて、福井県立盲学校の敷地、グラウンド、近くの荒川堤防周辺の除草を行い、学校環境を整備。きれいになった学校で気持ちよく意欲的に準備がすすめるために。		
事業結果	継続事業として、これまでは、4月の運動会前にあわせ実施しましたが、今期は、文化祭の前の清掃を実施。 早朝より、草刈機などで除草を行い、清掃後はすっきりときれいになりました。 きれいになった学校で、生徒の皆さんが楽しい学校生活を送るお手伝いができたことを嬉しく思います。 文化祭の大成功が楽しみです。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	3,480	円	

ロータリークラブ

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 嶋崎 元博

担当委員会名：社会奉仕・職業奉仕

試裏面接受け書え
福井県農生に指導

福井県日ノ本
福井市の福井農生日
日、農生指導するに決
を初めに、この農生
会が結成した。福井市
ロケット（RC）と
同様に、この農生会
を結成し、15日、市
人、及び、若者、を
する。

この日、個人、個人、
で、人、人、人、
の、人、人、人、
の、人、人、人、

（注）「（注）」は、
「（注）」は、
「（注）」は、

2016-17年度

福井東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 嶋崎 元博

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	セイタカアワダチソウ駆除作業		
実施日	2016年9月25日(日)		
実施場所	福井市足羽川左岸・花月橋駐車場周辺		
協力団体	NPO法人 ドラゴンリバー交流会		
参加人数	会員 16 名	→ 会員参加率 34 %	
	市民 名		
	その他 17団体 約200名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	<目的> 足羽川の水辺環境を守るため <事業内容> 市街地を流れている足羽川の緑地などに生い茂っているセイタカアワダチソウ(在来植物をおしのけて拡大している要注意外来植物)の一斉駆除		
事業結果	ドラゴンリバー交流会に共催して、セイタカアワダチソウ駆除ボランティア活動を実施。各種17団体200名の皆さんと、背丈ほど伸びている外来植物の除去をしました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

福井東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 嶋崎 元博

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	ナツメロ歌謡ショー				
実施日	2016年11月27日(日)				
実施場所	アオッサ県民ホール				
協力団体	福井ナツメロ愛好会				
参加人数	会員	6	名	→→	会員参加率 8 %
	市民		名		
	その他		施設の方	18名	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	<目的> 地域の老人施設の方や障がい者の方をお招きし、娯楽を堪能して頂くこと。心身の活性化が目的。				
事業結果	昼食の後、ナツメロショーを聴いてもらい、解放感と娯楽を堪能していただきました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	0		円		
事業執行額	28,800		円		

2016-17年度

福井東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 嶋崎元博

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	春の足羽川清掃		
実施日	2017年3月12日(日)		
実施場所	足羽川 大瀬橋から足羽大橋、下新橋～下流600M		
協力団体	NPO法人 ドラゴンリバー交流会		
参加人数	会員	23 名	→→ 会員参加率 46 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	豊かで潤いのある河川環境の保全を目指す事業として毎年行っている。		
事業結果	社会奉仕事業については、回を重ねる毎に参加者が増えてきている。福井東RCの結束の結果の表れと思う。一方、アクト会員及び家族の方々の協力を期待するところである。   		
新聞、TV等での報道	過去から毎回ではないが有り。		
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 佐竹正博

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	福井北ロータリー 献血イベント		
実施日	2016年10月2日		
実施場所	福井市 問屋団地内トントン祭り会場		
協力団体	日本赤十字血液センター		
参加人数	会員	20 名	→→ 会員参加率 19 %
	市民	78 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	日本赤十字血液センターの献血活動に協力するため、トントン祭り（福井市問屋団地の定例祭）での呼び込み、受付、粗品渡しを行い、同時にロータリークラブの広報活動も行った。 		
事業結果	秋晴れの下、大勢の集客があったトントン祭り会場で、新谷雅嗣会員のスピーカーマイク呼び込みなどが功を奏して、目標献血人数もクリアした。 日本赤十字血液センターの担当者よりも「来年以降も継続的にお願いしたい」と要請を受けるほど盛況で、大きな社会貢献活動が出来た。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	110,000	円	
事業執行額	107,308	円	

社会奉仕部門 事業報告書

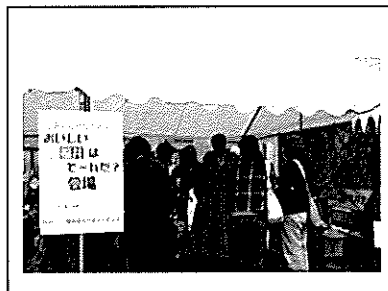
上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 佐竹正博

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	食育で街のにぎわい創出プロジェクト		
実施日	平成28年11月3日(木)		
実施場所	福井駅前 新栄テラス・新栄商店街		
協力団体	福井新聞社		
参加人数	会員	27 名	→→ 会員参加率 26 %
	市民	200 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	11月3日(木)文化の日に福井駅前新栄テラスを中心とした、福井市新栄商店街とその周辺にて『食育で街のにぎわい創出プロジェクト』を開催いたしました。 このプロジェクトは、福井北ロータリークラブがスポンサーとなり、福井市中心市街地活性化と福井の食文化の広い世代への継承を目的に行った事業です。福井北ロータリークラブでは、<おいしい福井はどれだ>をテーマに福井県産と他県産の5種類の食材の食べ比べを行いました。天候が大雨から晴天、曇りと目まぐるしく変わる中でしたが、ロータリークラブ会員27名と一般の食べ比べ参加者のべ200名の参加により成功裏に終了いたしました。		
事業結果	『越のルビーは美味しい』、『大野里芋初めて食べた』『河内赤カブの甘酢漬け美味しい』『コシヒカリはやはり美味しい』など、福井の食材と県外の食材を食べ比べるという中々出来ない体験をして戴き、福井の食材の美味しさを実感して戴けたと思います。 その他の会場では、子供、中高生、大人と世代別の福井の伝統食や、農産物を使ったワークショップが終日行われました。(ワークショップ参加者延べ100名余り) 又、若い女性の農業者のグループ福井農業女子「ふくふく会」による、マルシェの開催や、街中でピクニックを楽しむ「不自然ピクニック」の開催と、多くの団体や世代を巻き込み、街中活性化や食育等目的を十分達成出来た事業となりました。 福井の食材の良さを生かして、『おもてなし』や『街のにぎわい作り』に繋がることと思います。		
新聞、TV等での報道	福井新聞 2016年11月4日 3面 記事掲載 2016年11月8日 3面 記事掲載		
事業予算	970,000	円	
事業執行額	約735,000	円	



2016-17年度

福井北

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 佐竹正博

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	足羽川清掃活動		
実施日	2017年3月12日		
実施場所	福井市足羽川河川沿い周辺		
協力団体	ドラゴンリバー交流会		
参加人数	会員	33 名	→→ 会員参加率 %
	市民	22 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
地域の主要河川 足羽川の環境保全のため、『春の足羽川河原清掃』を行った。 この事業はドラゴンリバー交流会が広く多くの団体に呼び掛けて実施している事業で、多くの団体、企業グループなどが参加して福井市街地のシンボル足羽川の美化に努めている。当クラブも趣旨に賛同して毎年有志会員にご参加いただき協力している。			
事業結果			
今年は雲1つ無い晴天に恵まれて、3月12日例年通り足羽川清掃活動を実施した。 当クラブ33名と応援いただいたリコージャパンさん（当クラブ会員 名倉支社長が代表）の22名含め55名で、清掃後綺麗になった足羽川を見ながら、プレジュールさん（当クラブ会員 織田代表）の焼きたてメロンパンを頬張り、春の訪れを感じることができた。			
			
新聞、TV等での報道			
特になし			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	15,000	円	

2016-17年度

福井南

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 土井直紀

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	ドラゴンリバー		
実施日	2017年3月18日		
実施場所	福井市足羽川河川敷		
協力団体	各種団体		
参加人数	会員	15 名	→→ 会員参加率 42 %
	市民	500 名	
	その他	各種企業・団体	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・春の足羽川河川敷を清掃する活動に参加。当日は「ドラゴンリバー交流会」の呼び掛けの基各種企業団体も参加。当クラブはIACと共に参加をしました		
事業結果	・多くの団体が参加していたことも有り又 毎年の開催の為か市民の意識が変わった為か それ程多くのごみも無く年々河川敷が綺麗になってきていることを実感出来た。 		
新聞、TV等での報道	・新聞・当日にニュース等での報道在り		
事業予算	円		
事業執行額	円		

2016-17年度

福井南

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期（1～6月）

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 土井直紀

担当委員会名 : 社会奉仕・R財団

事業名	R財団100周年記念 桜100本植樹				
実施日	2017年3月11日				
実施場所	福井工業大学あわらキャンパス				
協力団体	福井工業大学学生・福井高等学校IAC・福井中学校生徒				
参加人数	会員	25	名	→→会員参加率	70 %
	市民		名		
	その他	40名程			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
・ R財団100周年を記念して桜100本の植樹を行った。桜の木は「日本さくらの会」より寄贈を受け会員・参加学生等が植樹。 此のキャンパスは、一般開放も行われており春には市民の憩いの場ともなる。多くの人に長く桜を楽しんで頂けるよう 品種にもこだわり開花時期を少しずつ異なる品種での植樹を行った。					
事業結果					
・ 当日は晴天に恵まれ多くの学生の協力も有り作業はスムーズに行う事が出来た。 ・ 今後 様々なメンテナンスが必要となるが春には愛らしい花が咲く事と思われる。					
					
新聞、TV等での報道					
・ 新聞・当日にニュース等での報道在り					
事業予算	円				
事業執行額	円				

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 職業・社会奉仕委員長

氏 名 : 林 雅則

担当委員会名 : 職業・社会奉仕委員会

事業名	被保護者の健全な社会復帰支援事業		
実施日	2016年12月18日(日)		
実施場所	更生保護法人 福井福田会(フクイフクデンカイ)		
協力団体	福井県更生保護事業協会、地区自治会		
参加人数	会員	10 名	→→ 会員参加率 29.4 %
	市民	40 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	刑務所を出た人、少年院を退院になった人たちが、日常生活の秩序を守り、勤労に励み、善良な社会人として自立更生できるよう、更生保護法人などと共に奉仕活動を実施する。 就労のための作業実習には安全対策が必要で、安全靴や衣服等を贈呈支援する。 合わせて、作業所との往復に利用する自転車など就労関連用品を贈呈支援する。 更に、被保護者とふれあいを深めるため、ロータリアンと地区自治会が参加して、ふれあいイベントとしての餅つきを実施する。		
事業結果	2016年12月18日(日)、福井市二の宮2丁目にある更生保護施設「福井福田会」を福井西ロータリークラブの代表 会員10名が訪問。 初めに、午前10時20分から、福井西RCの矢田義邦会長が更生保護法人「福井福田会」藤井健夫理事長に、更生保護施設で必要な物品(作業服、安全靴、自転車、餅つき用杵・臼など)を贈呈し、藤井理事長からは矢田会長に感謝状が贈られた。 その後、寮生8人も参加し、贈呈した杵や臼を使って、餅つき大会が開催され、支援者などと共にきな粉餅やおろし餅を食べて親睦を深めた。 藤井理事長からは、「就職先が見つからず再犯に手を染めてしまう人が多い。今回の福井西RCの支援を契機に更生保護施設のことを知ってもらい、出所者についての理解を広めていきたい。」とのコメントがあった。  		
新聞、TV等での報道	福井西RCの今回の奉仕活動の様子は、当日夜の福井テレビニュースで放映されると共に、翌日の福井新聞および日刊県民福井で報道された。		
事業予算	1,124,200	円	
事業執行額		円	

2016-17年度

福井水仙

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 河合 安子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「スペシャルオリンピックス日本・福井」アスリート支援事業		
実施日	2016年10月13日		
実施場所	福井パレスホテル 3階 例会場		
協力団体	スペシャルオリンピックス日本・福井		
参加人数	会員 17 名	→ 会員参加率 77 %	
	市民 0 名		
	その他 スペシャルオリンピックス日本・福井 事務局 3名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	スペシャルオリンピックス (S0) 日本・福井の運営基盤強化に寄与するため、スポーツボランティア人員育成のための研修会参加勧奨とS0日本の活動報告および今後の取組目標報告のため、日本・福井から、事務局の北出様、野路様、伊藤様の3名をお迎えし卓話を実施。   ◀スペシャルオリンピックス日本・福井ボランティア研修会▶    事務局長 北出様 事務局 野路様 事務局 伊藤様		
事業結果	S0福井の北出事務局長からは、本年2月に開催されたS0新潟大会で競技に臨むアスリートの姿を収めた映像が紹介され、スキー・スピードスケート・フィギアスケート・スノーシューイング・フロアホッケーと多彩な種目に、目を輝かせ全身でスポーツを楽しむ彼等の姿に感動を憶えた会員も多かった。 また、野路スポーツプログラム委員長からは、これまでの当クラブの活動支援に対する謝辞とS0日本・福井の立ち上げまでの苦難、そして今後S0日本・福井が目指す取り組み目標について説明を受けた。 結果、当クラブが支援を行う知的障害者のスポーツ活動についての理解が一層深まり、障害者（アスリート）が練習する際の介助ボランティア活動を行っていく際の基本姿勢を、11/23開催予定の研修会で学ぶことの必要性が確認できた。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

2016-17年度

福井水仙

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 河合 安子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「スペシャルオリンピックス日本・福井」アスリート支援事業		
実施日	2016年11月23日		
実施場所	福井地域交流センター (AOSSA) 6階研修室		
協力団体	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本		
参加人数	会員 14 名 → 会員参加率 64 % 市民 20 名 その他 スペシャルオリンピックス日本・福井 事務局 3名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	知的障害者とスポーツを通じてどのように接するか、会員のスキルアップを図り、アスリートの競技力向上に寄与することを目的に、「スポーツボランティア研修会」を受講。 スポーツボランティア養成プログラムのひとつである本研修会は、スポーツボランティア活動のやりがいや楽しみ方を理解することが第一の目的として挙げられており、今後介助役として関わるアスリート支援のための基礎力を習得するために参加。 講師からはスポーツボランティア概論などについての講義や「W名前集めビンゴ」を使ったゲーム感覚でできるコミュニケーション技法について、実践をととしたレクチャーがあり、仲間づくりと仲間の受け入れ方について学びあった。		
事業結果	本事業の目的である障害のあるアスリートの指導活動を支えたり、地域大会での競技介助を行っていくうえで必要となるスポーツボランティアについて理解が深まった。 また、充実したボランティア活動を通じて仲間を増やし、生活に潤いが生まれることを実践していくことに期待を持つことができた。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	80,000	円	
事業執行額		円	



社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 河合 安子

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	「スペシャルオリンピックス日本・福井」アスリート支援事業		
実施日	2016年12月25日		
実施場所	丹生郡越前町梨子ヶ平の水仙畑、越前温泉なぎさの湯		
協力団体	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本・福井		
参加人数	会員 12 名	→ 会員参加率 52 %	
	市民 23 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	知的障害をもつアスリートとその保護者との親睦を図ることにより、同じ目線にたったボランティア活動を充実したものとすることを目的に、当クラブが育成している越前水仙の刈り取りに10組20人を招待。また、アスリートの自立と社会参加の促進を促すためにクリスマス交流会を実施。 福井市ロータリークラブ 社会奉仕委員会 福井市水仙畑・越前温泉なぎさの湯 水仙畑刈り取り&クリスマス会のご案内 		
事業結果	福井の県花である越前水仙。アスリート達に寒い冬に咲き乱れる水仙刈りを経験してもらい、交流を深めることができた。 子供達は越前町梨子ヶ平地区の滝本正美さんから鎌の使い方など刈り取り方法を学んだ後、香り高い花に顔を近づけながら一本一本丁寧に刈り取っていた。 また午後からは、越前町内の「なぎさの湯」でクリスマス交流会を楽しんだ。子供達は会員が扮するサンタクロースから文具類のプレゼントを受け取った後、オードブルやケーキに舌鼓。 会員と歌やゲームなどを楽しみ、普段接する機会が少ないと思われる社会活動に参加でき、充実した楽しそうな笑顔の花を咲かせていた。 		
新聞、TV等での報道	福井新聞、日刊県民福井、福井放送、福井テレビの各社もニュースで大きく取り上げられた。 また、福井ケーブルテレビは「てくてく歩こさ」の取材班が訪れ、1月9日から2週間に渡って連日放送。		
事業予算	150,000	円	
事業執行額	148,231	円	

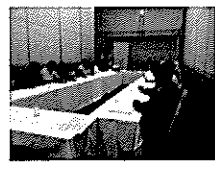
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 河合 安子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	スペシャルオリンピックス日本・福井のアスリート活動支援事業		
実施日	平成29年3月19日、平成29年6月8日		
実施場所	さばえNPOセンター、福井パレスホテル		
協力団体	なし		
参加人数	会員	18 名	→ 会員参加率 78 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
スペシャルオリンピックス日本・福井事務局の積極的活動と運営基盤の強化および知的障害者がスポーツへのチャレンジ精神を育む活動の一環として取り組んでいる各種スポーツ備品、会場費支援金を贈呈。 【アスリートジャンパー贈呈 スペシャルオリンピックス日本・福井総会にて！】      <H29 3月19日(日)>			
事業結果			
寄贈品は、7月2日に福井県越前市で開催予定の県大会において活用されることとなっている。 当日は、ロータリアンのボランティア参加も予定している。アスリートとともに汗を流し、大会運営を盛り上げていき、知的障害アスリートとの交流を通じ、彼等の自立と社会参加の促進に繋げていきたい。 【 スペシャルオリンピックス日本・福井へ 備品贈呈！】 本日の例会  <スペシャルオリンピックス日本・福井 北出事務局長様>   <スペシャルオリンピックス日本・福井への贈呈の品> ◆ スイミングキャップ ◆ バドミントンシャトル (ミズノリコンキャップ)			
新聞、TV等での報道			
なし			
事業予算	636,340	円	
事業執行額	696,320	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員会 委員長

氏 名 : 三寺康信

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ボラ婚		
実施日	平成29年4月2日(日)		
実施場所	桜祭り会場(丸岡城お天守前広場)		
協力団体	坂井市観光協会・坂井青年会議所		
参加人数	会員	18名	→ 会員参加率 48.6%
	市民	42名	
	その他	坂井青年会議所 12人	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	(対内目的) ロータリアンの後継者に結婚する機会を提供し会社の存続のサポートする。 (対外目的) 近年の日本における出生率低下に伴う少子化は、人口減少を引き起こし、将来にわたり労働者不足や年金問題、社会保険制度、医療や介護問題など、大きな社会問題に発展します。出生率低下、少子化を食い止めるために、この丸岡において、結婚適齢期を迎えた男女にボランティアを通じて出会いの場を提供し、早期結婚、早期出産につなげることを目的とします。		
事業結果	①カップル成立は、ロータリアン関係者1人、その他5人の3カップルが成立しました。 ②桜祭りにボラ婚参加者、ロータリアンメンバーが参加し祭り事態盛り上げた。 ③坂井青年会議所との共同事業にすることにより親密な関係ができ、将来のロータリアン候補が見つかった。  		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	200,000	円	
事業執行額	161,694	円	

2016-17年度

三国

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 大嶋 裕一

担当委員会名: 社会奉仕

事業名	セイタカアワダチソウ駆除事業		
実施日	2016年9月4日		
実施場所	えちぜん鉄道沿線（あわら湯の町駅～水居駅）		
協力団体	坂井市・あわら市・青年会議所・福井銀行・北陸銀行・福邦銀行・福井信金・えちぜん鉄道他		
参加人数	会員	23 名	→→ 会員参加率 76.7 %
	市民	90 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	目的：外来雑草であるセイタカアワダチソウを駆除することで環境の悪化を防ぐこと 内容：協力団体と共に駆除作業を行うことにより環境美化活動の推進を図り、外来雑草に対する啓蒙活動を行った。		
事業結果	100名以上の参加で午前7時半～9時半の約2時間 駆除作業を行い、駆除後に菜の花の種を蒔きました。 恒例化しつつある事業で参加された方々も手際よく 予定より多くの駆除が出来ました。 		
新聞、TV等での報道	福井新聞・日刊福井新聞・福井テレビ等		
事業予算	200,000	円	
事業執行額	228,629	円	

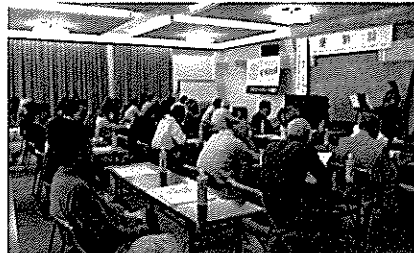
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 大嶋 裕一

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	「認環塾」講座開講セレモニー		
実施日	2016年10月17日		
実施場所	三国社会福祉センター		
協力団体	「NPO法人心に響く文集・編集局」		
参加人数	会員	15 名	→→ 会員参加率 50 %
	市民	100 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 自殺を考えている人たちを擁している周りの人に、支援の方法について学ぶ「認環塾」の開校に対するオープニングセレモニーで、作家の志茂田景樹さんを講師にお迎えし「みんな生きたいんや」と題してお話を頂きました。 			
事業結果 参加人員定員100名を越える115名の人が集まり、三国町在住の川島正代さんの電子オルガンのミニコンサートから始まり、「翼をください」を皆さんで合唱して、心が和んだ所で、志茂田景樹さんのお話しに入りました。 読み聞かせや 志茂田さんの大学時代の友達の話など、経験されたことを話され、約2時間近くの時間でしたが あっという間に過ぎてしまいました 今後、各方面の専門家による「認環塾」と称した公開講座が5回開催されます。   			
新聞、TV等での報道 福井新聞広告・記事掲載 NHKの「今日の行事」による広報			
事業予算	250,000	円	
事業執行額	264,270	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕・環境保全委員長
 氏 名 : 野村重一郎
 担当委員会名 : 社会奉仕・環境保全委員会

事業名	第8回正津・大野ロータリーカップ 学童野球大会		
実施日	平成28年10月22日(土)・23日(日)		
実施場所	大野市奥越ふれあい公園グラウンド		
協力団体	大野市軟式野球連盟・大野市各スポーツ少年団		
参加人数	会員	19 名	→ 会員参加率 46 %
	市民	200 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 大野市出身のプロ野球選手正津英志投手の功績を称え、大野市軟式野球連盟の協力をえて、第8回正津・大野ロータリーカップを開催した。各チームに参加賞としてボール1ダース、優勝チームには優勝カップ、準優勝、3位、4位チームにそれぞれ盾、最高殊勲選手には正津氏よりバットが贈られた。野球を通して学童達の健全な心身の成長の育成に寄与する事が出来た。			
事業結果 10月22日、23日の両日奥越ふれあい公園グラウンドで市内6チームガトーナメント戦を行った。今シーズン最後の大会となる為、父兄、祖父母、兄弟、その他多数の人達の応援を受けながら、好プレーが随処に見られた。			
  			
新聞、TV等での報道 福井新聞社、日刊県民福井の新聞記事として報道された。			
事業予算	150,000	円	
事業執行額	121,946	円	

2016-17年度

大野

ロータリークラブ

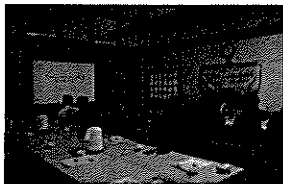
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕・環境保全委員長

氏 名 : 野村重一郎

担当委員会名 : 社会奉仕・環境保全委員会

事業名	亀山における樹木の魅力（地域環境貢献）		
実施日	平成29年5月10日（水）		
実施場所	大野ロータリークラブ例会場		
協力団体			
参加人数	会員	27 名	→→ 会員参加率 71, 05 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	平成22年10月に大野城築城430年祭を記念して亀山公園ふもとにソメイシノとツツジを植樹しました。その維持整備作業として剪定、草取り、清掃、雪囲いを計画しました。		
事業結果	剪定、雪囲いは12月28日に行いましたが、5月10日の草取り清掃は残念ながら雨の為に中止になりました。それにかえて福井農林高校講師の竹内大策氏に亀山における樹木の魅力（地域環境貢献）の卓話をしていただいた。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	44,300	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 婦山明朗

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「さばえ子供交通安全体操“サバーンのおやくそく体操”」普及プロジェクト		
実施日	2016年12月8日～2017年3月10日(内、26日間)		
実施場所	鯖江市内幼稚園・保育園28園		
協力団体	鯖江市、丹南ケーブルテレビ、虹の橋合唱団		
参加人数	会員 延べ95名 → 会員参加率 43 % 市民 2,006 名 その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	市内の子どもたちの交通安全啓発・交通事故防止を目的に「交通ルールやマナーを守ること」「ひとり歩き中の飛び出し禁止」「大人が手をつないで子どもを守ること」など交通安全のキーワード等を交えた楽しい替え歌(童謡「結んで開いて」を原曲)を鯖江市と協働で制作。 それに合わせ、安全行動等を振りに交えた「さばえこども交通安全体操「サバーンのおやくそくたいそう」」を創作。 また、その体操を映像化したDVDを作成し市内の全幼稚園・保育園に配布。 その後、市内28の幼稚園・保育園にロータリアンが出向き、子どもたちに直接、指導して、楽しみながら交通安全を学ぶ機会とした。		
事業結果	 鯖江ロータリークラブのメンバー(左)と交通安全の体操を踊る園児たち＝鯖江市の進徳幼稚園で ☆参加園児数、28園の3～5歳児 合計2,006名 ☆各園への指導に参加した当クラブロータリアン 延べ95名・・・地域の宝である子どもたち。この活動を「地域で子どもを見守り育てる笑顔いっぱいプロジェクト」として継続して取り組んでいきたい。		
新聞、TV等での報道	福井新聞、日刊県民福井、広報さばえに記事掲載、丹南ケーブルテレビにて放映		
事業予算	416,900	円	
事業執行額	416,900	円	

2016-17年度

武生府中

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 村上 宗和

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	児童家庭支援センター・児童養護施設・子育て支援センター施設訪問		
実施日	平成28年10月6日(木)		
実施場所	児童家庭支援センター・児童養護施設・子育て支援センター「一陽」		
協力団体			
参加人数	会員	22 名	→→ 会員参加率 84.6 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	子どもの貧困を解消して行くために、生活困窮家庭の子供たちへの学習支援や、自立支援等を行っている施設を訪問、見学し、クラブとして今後何が出来か考える		
事業結果	副所長さんや事務局長さんのお話を伺った。現状は子供たちにとっては、いじめとか家庭内暴力等好ましくない状況が沢山あるということであった。施設内を見学させて頂いたが、きちんと整理整頓され、小学生からは個室を与えているということでした。子どものいじめや家庭内暴力、貧困など本当に子どもたちにとっては哀しい現実ですが、この状況を少しでも改善して行けたらと感じました。		
新聞、TV等での報道	ありません。		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

2016-17年度

敦賀

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 坪谷 修

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	白梅学園交流会		
実施日	2017年2月26日(日)		
実施場所	社会福祉法人 白梅学園		
協力団体	白梅学園		
参加人数	会員 10 名 → 会員参加率 30.3 % 市民 名 その他 劉恩甫さん(奨学生)		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	人間尊重・地域発展・環境保全・共同奉仕の4つの面から社会奉仕に取り組むとともに、従来より取り組んできたものを継続し、地域に根差した活動を行う。 親と一緒に生活できない子ども達の慰問を行いました、乳児から高校生まで30名の子ども達と一緒にすき焼きを作りました。 すき焼きは、子ども達からのリクエストです、又小学生から高校生の子ども達にはプレゼントを用意して一人づつに手渡しました。		
事業結果	大勢の子ども達と一緒に食べるすき焼きは格別です。 屈託の無い笑顔と賑やかな学園内は明るく、子ども達全員が兄弟のように接する姿は、微笑ましく頼もしいと感じました。		
新聞、TV等での報道	プライバシー保護の観点から取材は受けませんでした。		
事業予算	100,000	円	
事業執行額	100,000	円	

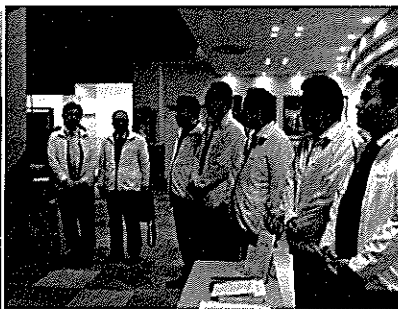
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 木戸則夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	映画鑑賞会		
実施日	平成29年2月3日(金) 18:30～21:00		
実施場所	敦賀アレックスシネマ		
協力団体	なし		
参加人数	会員	15名	→→ 会員参加率 78.95 %
	市民	230名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
映画鑑賞会は、常日頃ロータリー活動に賛同、協力いただいている地域の方々を、映画「海賊とよばれた男」鑑賞会に御招待し、約230名の参加のもと、非常に好評であった。		 	
事業結果			
我々西RCを多数の方々に認知していただき、今後の活動の輪を広げられたのではないかと思います。			
新聞、TV等での報道			
事業予算	120,000	円	
事業執行額	218,558	円	

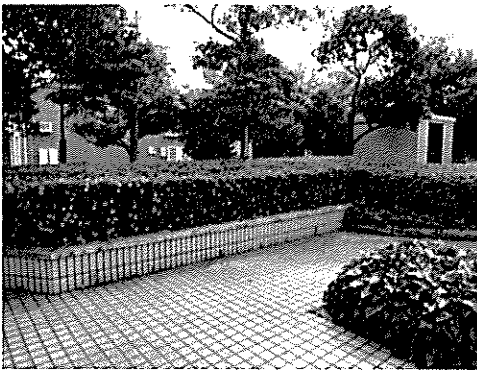
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 木戸則夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	榑川河川公園清掃奉仕作業		
実施日	平成29年5月28日(日) AM7:00～9:00		
実施場所	榑川河川公園		
協力団体	井の口川を美しくする会		
参加人数	会員	12名	→ 会員参加率 66.66 %
	市民	16名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
活動を通じて、地域の方々にRCを認知して頂き、積極的に参加して奉仕の心を学び、その想いをもって親睦を深めることで、より一層奉仕の心を深め充実させていこうと思います。			
 			
事業結果			
年を重ねるごとに、地域の方々との親睦が深まって行くのを肌で感じた。			
 			
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	10,560	円	

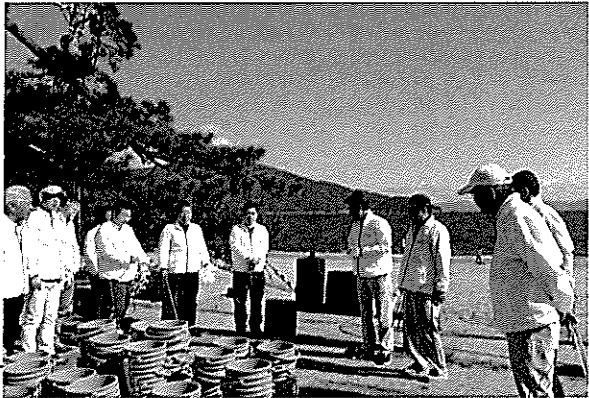
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 木戸則夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	気比の松原清掃奉仕作業と健康づくりウォーキング		
実施日	平成29年6月4日(日) AM8:00～9:00		
実施場所	気比の松原海岸及び、公園		
協力団体	なし		
参加人数	会員	12名	→ 会員参加率 66.67%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
敦賀市では、6月の環境月間に、美しい自然環境や住みやすい生活環境の保全のため「クリーンアップふくい大作戦」を6/4に実施し、気比の松原周辺の一斉清掃活動や、各地区、事業所等での清掃活動を行うのと重なり、多数の市民と一緒に奉仕活動が実施できた。			
事業結果			
天候に恵まれ、清掃奉仕を健康づくりウォーキングを楽しめた。			
			
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	0	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 国際社会奉仕委員長

氏 名 : 田中信太郎

担当委員会名 : 国際社会奉仕委員会

事業名	私立幼稚園児に対する防災頭巾の寄贈		
実施日	2016年10月25日(火) 午後1時から		
実施場所	小浜市 ホテルせくみや		
協力団体	単独事業		
参加人数	会員	29 名	→ 会員参加率 100 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	○事業目的 幼稚園児を自然災害から守り、併せて父兄はもちろん地域社会全体の防災意識の高揚を図る。 ○事業内容 小浜市内の私立幼稚園・保育園に園児用・幼児用防災頭巾を寄贈す。 ①対象者 市内私立幼稚園 6施設 園児345名 乳児105名 合計 450名 ②贈呈式 平成28年10月25日(火) 13時40分～ ガバナー公式訪問後 場 所 「ホテルせくみや」(小浜市; 例会会場) ③内容 会長から各施設園長に目録贈呈、会長及び園長代表による防災に関する卓話 ④その他 報道機関の取材 新聞社2紙 地元ケーブルテレビ1社		
事業結果	贈呈式後各幼稚園において日を改めて模擬防災訓練が実施され、防災意識の高揚を図ることができた。ある園長先生から次のような感想と感謝の言葉をいただいた。 「園児のみならず施設職員も真剣に防災訓練に取り組み、観念的に止まらない実体験として防災意識の高揚と周知を図ることができ、加えて次の世代への伝承のきっかけづくりになった。心から感謝している。」		
新聞、TV等での報道	○福井新聞及び日刊福井新聞で写真入り記事掲載 ○地域のケーブルテレビ(チャンネル0)により何回も放映されたことにより、クラブの社会奉仕活動内容の広報周知を図ることができた。		
事業予算	706,440	円	
事業執行額	706,440	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 国際社会奉仕委員長

氏 名 : 田中信太郎

担当委員会名 : 国際社会奉仕委員会

事業名	歳末防犯・防火に対する慰労と激励会		
実施日	2016年12月6日（火）午後3時から各30分		
実施場所	小浜警察署 若狭消防署		
協力団体	単独事業		
参加人数	会員	4 名	→→ 会員参加率 14 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	○警察署……署長に目録進呈、幹部数名と面談 ・歳末の防犯活動に対し、慰労の意を込めて夜間食100人分を寄贈 ・年末の特別警戒に対して注力していただきたい旨をお願い ○消防署……署長に目録進呈、署員25名に対して激励会 ・歳末の防火・防災活動に対し、慰労の意を込めて夜間食100人分を寄贈 ・消防本部講堂において全員整列の上、激励会を実施。会長激励挨拶、署長謝辞等		
事業結果	○警察署・消防署の日常の防犯、防火、防災、救助活動等に対する市民の感謝と慰労の意を伝達 ○夜間活動のための夜食としてインスタントラーメン・うどんを寄贈 ○警察署……署長はじめ署幹部と面談、特に年末警戒に対するさらなる活動強化をお願い ○消防署……講堂において式典形式で会長が署員に対して年末の特別警戒に対する慰労と激励 ○各署長室での面談……ロータリー活動に対する相互理解を深めることができた。		
新聞、TV等での報道	○福井新聞に写真入り記事掲載 ○地域のケーブルテレビ（チャンネル0）により消防署での寄贈、激励の様子が放映された。 何回も放映されたことにより、クラブの社会奉仕活動内容の広報周知を図ることができた。		
事業予算	42,440	円	
事業執行額	42,440	円	



2016-17年度

若狭

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 田中信太郎

担当委員会名 : 国際社会奉仕委員会

事業名	クリーンアップ大作戦				
実施日	2017年6月4日(日)				
実施場所	日吉海岸道路脇				
協力団体	小浜市観光協会				
参加人数	会員	5	名	→→ 会員参加率	18.5 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容 福井県下また小浜市がおこなう「クリーンアップ大作戦」に、クラブとして今年も参加しました。空き缶、ペットボトルのキャップ、使い捨てライター等のゴミを拾い、清掃作業を実施しました。今年度も若狭小浜の海水浴を楽しむきっかけになったと思います。					
事業結果  					
新聞、TV等での報道					
事業予算	0		円		
事業執行額	0		円		

2016-17年度

びわ湖八幡

ロータリークラブ

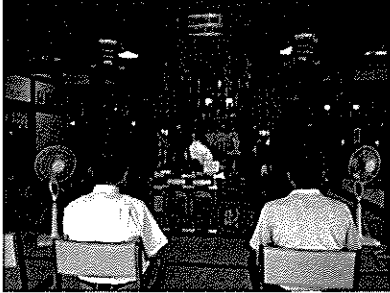
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西山 義己

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	七夕飾り寄贈（近江八幡市立総合医療センター）		
実施日	2016年7月1日～2016年7月8日		
実施場所	近江八幡市立総合医療センター		
協力団体			
参加人数	会員	22 名	→→ 会員参加率 50 %
	市民	多数 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
笹竹に願いを込めた短冊を結んでもらい、入院・来院患者様やご家族様の心の癒しになる事を目的としています。 今年度で9年目の継続事業です。  			
事業結果			
今年度も皆様の願いや想いが書かれた沢山の短冊が笹に吊るされていました。 撤収後は当クラブ会員の寺社 領善寺にてご祈禱頂きました。   			
新聞、TV等での報道			
ZTV			
事業予算	10,000	円	
事業執行額	4,730	円	

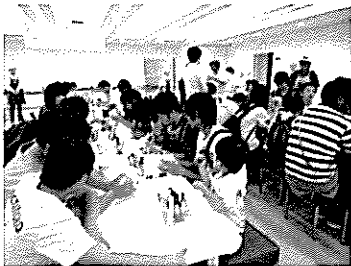
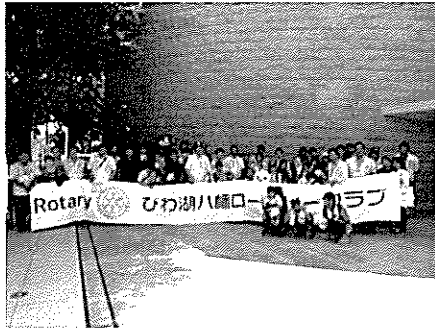
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西山 義己

担当委員会名 : 社会奉仕・職業奉仕・青少年奉仕

事業名	障がい者余暇支援のための体験ツアー		
実施日	2016年9月11日 日曜日		
実施場所	阪神甲子園球場・日清食品インスタントラーメンは発明記念館・伊丹空港		
協力団体	近江八幡余暇支援クラブ「はちの子」		
参加人数	会員	30 名	→→ 会員参加率 68 %
	市民	35 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 障がいを持つ子ども達が、新たな体験や多くの人たちとの交流を通じてこれからの成長や精神的な自立をするために寄与することを目的としています。また、この事業を通じて、同じ悩みを持つ保護者（家族）同士の情報交換や親睦を深め、健全な子育てを行ってゆく上で何かしら良いヒントの場になればと期待します。			
事業結果 インスタントラーメン発明記念館、伊丹空港展望デッキでの飛行機の見学や阪神甲子園球場を巡るツアーで、子ども達にはこれまでにない多くの体験が出来たものと思います。また、保護者・ボランティア・スタッフそして私たちメンバーも大いに交流が深まり、大変有意義な事業となりました。子ども達には今後ますます成長し、自立して行く事を願いたいと思います。   			
新聞、TV等での報道 			
事業予算	459,084	円	
事業執行額	446,274	円	

2016-17年度

びわ湖八幡

ロータリークラブ

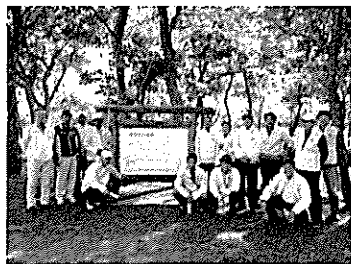
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西山 義己

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	秋の環境整備活動		
実施日	2016年10月23日 日曜日		
実施場所	近江八幡市内「友愛の森」・「めだかの学校」・「長命寺川河川敷桜並木」		
協力団体			
参加人数	会員	14 名	→→ 会員参加率 32 %
	市民	0 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 市民の憩いの場である公園等の清掃活動を行い、利用される方々に居心地の良い環境を提供したく、毎年2回程度、草刈りやゴミ拾いを行っています。 			
事業結果 当日は一部の会員が事前に雑草の草刈り作業を行っていたので、思った以上に作業がはかどりました。会員が集まっての作業するので、地域へのアピールが出来たと思います。   			
新聞、TV等での報道			
事業予算	8,000	円	
事業執行額	2,259	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西山 義己

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	春の環境整備活動		
実施日	2017年4月15日 土曜日		
実施場所	近江八幡市内「友愛の森」・「めだかの学校」・「長命寺川河川敷桜並木」		
協力団体			
参加人数	会員	15 名	→ 会員参加率 33 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	市民の憩いの場である公園等の清掃活動、利用される方々に居心地の良い環境を提供。 秋に続き、今年度2回目の清掃活動。桜のお花見シーズンに合わせ活動しました。		
事業結果	秋に行い今年度2回目の活動でしたが、一部の会員が事前に雑草の草刈作業を行っていたので、目立ったごみを拾う程度で当日の作業ははかどりました。 会員が集まったので、地域へのアピールが出来ました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	8,000	円	
事業執行額	1,244	円	

2016-17年度

五個荘能登川 ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武藤 久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	びわ湖一斉清掃		
実施日	2016年7月1日(金)		
実施場所	琵琶湖岸(東近江市栗見新田・栗見出在家地先)		
協力団体			
参加人数	会員	13 名	→→ 会員参加率 62 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	環境保全県民運動として毎年開催されている『びわ湖を美しくする運動』に今年度も参加致しました。滋賀の象徴「母なる琵琶湖」の環境を守り、素晴らしい滋賀の自然保護に関わることを目的に、湖岸のゴミ拾いをいたしました。		
事業結果	地域の各種団体の皆様と協力しながら、沢山のゴミの回収が出来ました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

五個荘能登川 ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武藤 久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	能登川ふれあいフェア(ポリオ撲滅キャンペーン開催)		
実施日	2016年10月23日(日)		
実施場所	東近江市ふれあい運動公園		
協力団体			
参加人数	会員	13 名	→→ 会員参加率 62 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ロータリークラブを広く市民の皆さんに知って戴き、ポリオ撲滅への理解を深めるために毎年参加しています。 「ポリオ撲滅キャンペーン」として募金箱を設置し、お子さんに楽しみながら募金をして頂けるようにゲームなどを行いました。 出店内容は、フランクフルトとドリンクの販売・ポリオ募金対象として「わたがし」と「スマートボール」です。		
事業結果	ポリオ募金対象の「わたがし」と「スマートボール」では、多くの方に楽しんでいただき、昨年を上回る募金が集まりました。後日ポリオ・プラスとして送金しました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	31,090	円	

2016-17年度

五個荘能登川 ロータリークラブ

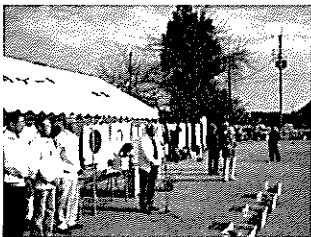
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武藤 久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ポリオ撲滅キャンペーン ロータリー杯親善ゲートボール大会		
実施日	2017年3月22日(水)		
実施場所	五個荘てんびんゲートボール場		
協力団体	東近江市ゲートボール連盟五個荘支部		
参加人数	会員	12 名	→→ 会員参加率 57 %
	市民	93 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	地域のゲートボール愛好家に集まっていただき、ゲートボールを通じて交流を深め、健康維持と生きがいの場を提供することを目的に開催しています。 ポリオ撲滅キャンペーン大会としての開催とし、参加者に募金箱への寄付をお願いした。		
事業結果	今年は、雨天のため翌日に順延となり、参加チームが20チームから18チームに減ってしまいました。 参加者から、登録料の代わりにポリオ撲滅募金をお願いし、また試合中にも多くの皆さんから募金を頂戴しました。 募金箱と事業費の残金等を合算し、21,300円をポリオプラスへ寄付いたしました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

2016-17年度

五個荘能登川 ロータリークラブ

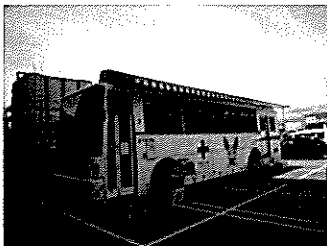
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武藤 久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血運動		
実施日	2017年6月12日(月)		
実施場所	ビジネスホテル アズイン東近江能登川駅前		
協力団体	ビジネスホテル アズイン東近江能登川駅前		
参加人数	会員	12 名	→→ 会員参加率 60 %
	市民	54 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	創立来の継続事業として開催を続けています。 滋賀県の献血者は全国的に見て少なく、また輸血を必要とする人は、高齢者社会になり益々増えています。 そんな状況に少しでもお役に立てないかと開催をしています。 400ml 限定の全血献血を開催しました。		
事業結果	五個荘・能登川地区の各戸に開催案内を回覧し、また新聞折り込みで開催の案内を行いました。 献血者へ粗品を提供し、献血への呼び込みに力を入れましたが、今年は、受付総数が54名で、その内献血者は40名でした。 ここ3年では、一番少ない人数となってしまう、次年度はまた案内方法など検討したいと思います。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	14,212	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 渡邊偉子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	石田三成公いひとプロジェクト		
実施日	①2016年10月3日・4日 ②11月10日 ③12月8日		
実施場所	①市立佐和山小学校・鳥居本小学校 ②佐和山城跡・清涼寺 ③清涼寺		
協力団体	NPO法人ひこね文化デザインフォーラム		
参加人数	会員 平均約25名 → 会員参加率 50 % 市民 名 その他 小学生約110名 教員約8名 ボランティア約7名 中学生数名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	歴史的遺産を多く有する彦根においてこの度は石田三成公、佐和山城跡にスポットライトを当て、佐和山をはさむ2つの小学校の6年生を対象に地元の歴史を学ぶ機会を持ってもらい、将来生まれ育った彦根の歴史を語れる人の育成に寄与すると共に佐和山の下を走るローカルトレイン近江鉄道に協力を得て、子ども達が学んだことを各自ポスターに仕上げたものを車内に掲示して地元の人のみならず観光客などの外来者にも彦根のすばらしい遺産を知ってもらうことで地域活性の一助となすことを目的としています。		
事業結果	現在、5段階の事業展開する中の3段階まで進めてまいりました。 ①では、2校に出前講座という形で子ども達と共に石田三成公の学習をしました。 ②では、両校側の別のルートで佐和山に登り、山頂で佐和山城跡の学習をしました。 ③では、今まで学習したこと、各自で調べたことなどを持ち寄り、20グループに分かれてディスカッションして発表しました。 2つの小学校が合同で学習することは初めての試みで、両校児童にとって実り多い事業となりました。子ども達のこの学習への取り組みの熱心さと自分なりの学習成果の発表など見学するメンバーも深く感動しました。 この後、④⑤と事業が続きますが中間報告とさせていただきます。   		
新聞、TV等での報道	①中日新聞・近江同盟新聞・滋賀彦根新聞・ZTVテレビ ②中日新聞 ③読売新聞・中日新聞・滋賀彦根新聞		
事業予算	730,000	円	
事業執行額		円	

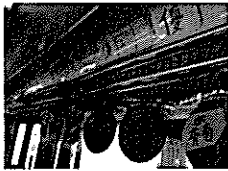
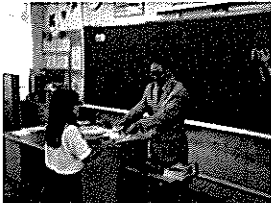
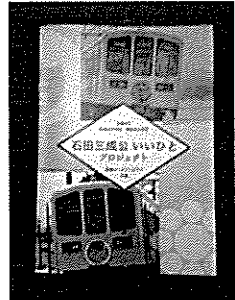
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 渡邊信子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	石田三成公いいひとプロジェクト		
実施日	④2017年2月2日(木) ⑤2017年5月22日(月)		
実施場所	④近江鉄道彦根駅ホームと車内 ⑤鳥居本中学校		
協力団体	近江鉄道(株)・半月舎		
参加人数	会員 23 名 → 会員参加率 50 % 市民 多数 名 その他 (小学生約110名 教員約10名 ボランティア約5名 来賓5名)		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
上半期で第1弾～第3弾で学んで各自がポスターにまとめた作品をローカルトレイン近江鉄道の車内にポスタージャック、さらに車両のヘッドマークを各自が製作し、車内に掲示。両校の代表作を実際のヘッドマークにしてもらい、車両に掲示。その車両「三成号」の出発式を市長、教育長、鉄道会社社長等ご臨席のもと催行。そのあと全員が電車に乗り込み子ども達の作品を観賞した。5月には活動記録としての小冊子ができあがり(200部)贈呈式をとり行った。			
   			
事業結果			
10月から5回に渡る活動をして子ども達はもちろんのこと我々ロータリアンも大変勉強になった事業であった。出来上がった冊子をご覧いただきたい。			
   			
新聞、TV等での報道			
地方紙を含む8新聞社の取材を受け、記事にしてくれZTVも報道してくれた。			
事業予算	730,000	円	
事業執行額	760,000	円	

2016-17年度

彦根南

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 田村 芳宏

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	母子家庭支援事業 クリスマス会		
実施日	2016.12.4		
実施場所	ビバンティ彦根・ビバンティホール		
協力団体	彦根市母子福祉のぞみ会		
参加人数	会員	40 名	→ 会員参加率 60 %
	市民	60 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	近年、個人情報保護法によって市町村から情報が入ってきません。入りたくても入る為の情報が無い為、放置されています。今回、母子家庭支援団体「のぞみ会」をチラシやポスターで周知することによって、少しでも困っておられる母子家庭を支援できればと母子家庭「のぞみ会」の周知チラシとポスターを関係機関、団体に配布する。 クリスマス会では、子ども達と一緒に遊び、一緒に食事をする。		
事業結果	母子家庭の親子の方々対象のクリスマス会を、2016.12.4にビバンティ彦根・ビバンティホールにて開催。生活の福祉向上を図る必要性から、「心に残る思い出のクリスマス会」の企画実践。ロータリーの奉仕の理念の観点から、母子家庭の方々のネットワークづくりの周知ポスター及びチラシを多方面の関係機関、団体に配布し年々増加傾向にある母子家庭にアピールの広告活動を推進し、魅力ある確かな未来を実現する。		
新聞、TV等での報道	12月20日近江同盟新聞社に掲載		
事業予算	1,265,300	円	
事業執行額	824,349	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 徳島りつ子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	未来への一步を、今ここから！紙ふうせんチャリティーコンサート		
実施日	2016年10月23日		
実施場所	甲西文化ホール		
協力団体	湖南省 湖南省教育委員会 湖南省(商工会・工業会・団地協会・国際協会・観光協会・体育協会・社会福祉協議会) FM滋賀・成安造形大学		
参加人数	会員 36 名	→ 会員参加率 92 %	
	市民 400 名		
	その他 成安造形大学4名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	湖南ロータリークラブは本年もロータリーデーを開催し、事業の収益をその年毎の思いをもって寄付等をさせて頂いています。今年度はチャリティーコンサートを開催し、地域のシニアの皆様が明るく健康でという願いと共に、障がい者の自立支援にお役に立てる事として、廃電線はくり機を湖南省の3つの作業所に贈呈し、障がい者自ら作業を通して喜びを感じ、廃電線の売却収益を手にして頂くことが自立支援への推進となることを目的とさせて頂きました。そして地域の皆様へのロータリークラブ活動のご理解とPRを目的としました。 		
事業結果	甲西文化ホールの客席は400人の観客で満席となりました。コンサートに先掛け湖南省市長、いしべ共同作業所、さつき作業所、多機能作業所パンパンの施設の代表者の方にお越しいただき、廃電線はくり機の贈呈式を行いました。皆様方のおかげで、この様な形で地域に還元させていただいた事の報告とロータリー活動へのご理解の場となったと確信をしました。紙ふうせんチャリティーコンサートでは盛り上がり一緒に歌う一コマや、涙ぐむ観客の姿を目の当たりにし、湖南ロータリークラブの活動を多くの地域の皆様にご理解いただけたものと思っております。 		
新聞、TV等での報道	○湖南省広報、甲賀広域勤労互助会広報、 ○成安造形大学に作成依頼のポスターを各所掲示 ○FMラジオで広報 		
事業予算	2,600,000	円	
事業執行額	2,861,391	円	

2016-17年度

湖南

ロータリークラブ

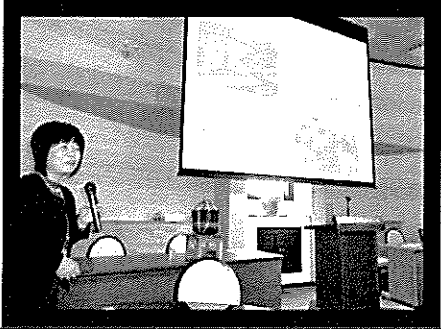
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 徳島りつ子

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員長

事業名	福祉研修会		
実施日	2017年3月23日		
実施場所	やまりゅう(例会場)		
協力団体			
参加人数	会員	25 名	→→ 会員参加率 64.1 %
	市民	4 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容 福祉研修会と題し、社会奉仕事業を行いました。 講師として滋賀県立近江学園、三雲養護学校から4名の先生方にご来訪いただきました。 地域福祉の現状をお話いただき会員の研修として、未来への一歩、今ここからと題して研修会を行いました。 講義の御礼として施設利用備品目録の寄贈を行いました。 寄贈品 滋賀県立 近江学園 テーブルベンチセット 滋賀県立 三雲養護学校 トランポリン			
事業結果 ご講義をいただき、現状の福祉環境や問題点、地域の我々に出来る事の理解に繋がった事と考えます。 園生、生徒の今後の自立支援、就労受け入れや地域の経営者に出来る事はないかと質問が出たりしました。 我々ロータリアンに取ってこの事業を通じ、地域福祉への認識が変わったと考えます。			
 			
新聞、TV等での報道			
事業予算	290,720	円	
事業執行額	270,200	円	

2016-17年度

草津

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

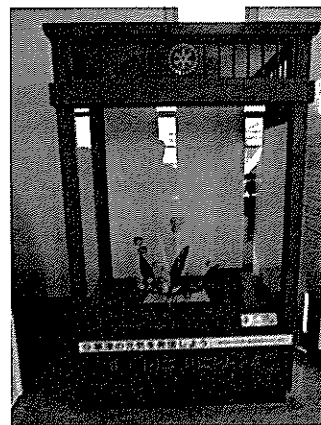
上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 石光 堅太郎

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	フラワーボックスの生花・盆栽等提供事業		
実施日	通年		
実施場所	J R 草津駅・J R 南草津駅		
協力団体	草津市花道協会・光泉中学・高等学校・(レイカディア大学)		
参加人数	会員	名 →→ 会員参加率	%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 J R 駅利用者に対して、季節感や憩いの場を提供することを目的として、草津駅、南草津駅のコンコースにフラワーボックスを設置。草津市花道協会及び光泉中学・高等学校の協力のもと、生花や盆栽の展示を行う。			
事業結果 混雑する駅の中で、オアシス的な存在として利用していただいています。レイカディア大学学生が自分の作品を公の場所で発表することが出来る場が提供されたことで、やりがいを感じていただき、非常に喜んでいただいています。			
新聞、TV等での報道			
事業予算	100,000	円	
事業執行額	50,000	円	



2016-17年度

草津

ロータリークラブ

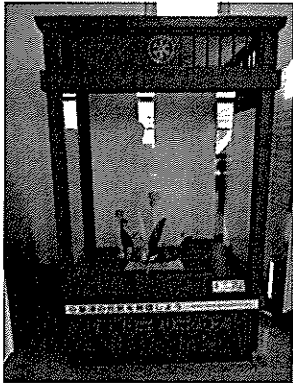
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 石光 堅太郎

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	フラワーボックスの生花・盆栽等提供事業		
実施日	通年（上期からの継続事業）		
実施場所	J R 草津駅・J R 南草津駅		
協力団体	草津市花道協会・光泉中学・高等学校・（レイカディア大学）		
参加人数	会員	名 →→ 会員参加率	%
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	J R 駅利用者に対して、季節感や憩いの場を提供することを目的として、草津駅、南草津駅のコンコースにフラワーボックスを設置。草津市花道協会及び光泉中学・高等学校の協力のもと、生花や盆栽の展示を行う。		
事業結果	混雑する駅の中で、オアシス的な存在として利用していただいています。レイカディア大学学生が自分の作品を公の場所で発表することが出来る場が提供されたことで、やりがいを感じていただき、非常に喜んでいただいています。		
			
新聞、TV等での報道			
事業予算	100,000	円	
事業執行額	100,000	円	

2016-17年度

水 口 ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中 嶋 慶 喜

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ロータリー100周年記念植樹 野洲川堤の桜の木手入れ		
実施日	2016年10月11日(火) 14:00～16:00		
実施場所	甲賀市水口町 野洲川堤防		
協力団体	なし		
参加人数	会員 12 名	→→ 会員参加率 32 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ロータリー創立100周年を記念して植樹した桜の木の手入れを行いました。 		
事業結果	桜の木に巻き付いたツルの除去は大変な作業です。参加人数も少なく時間がかかりました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	2,000	円	
事業執行額	1,290	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山口 宗美

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	もりやま環境フェア2016		
実施日	2016年9月25日		
実施場所	守山市環境センター		
協力団体	守山市環境フェア実行委員会、守山市、他33団体		
参加人数	会員 13 名	→ 会員参加率 36 %	
	市民 5000 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	今年、「ごみ問題！だれかが考えるからわたしが考えるへ」をテーマに、環境センターの更新が課題となっている守山市の市民1人1人が、ごみ問題や様々な環境問題に対しての理解を深め、日頃の生活様式を見直し、新たな行動に移す機会となる事を願い、各団体・企業が協力して開催しました。守山ロータリークラブは、「ポリオ撲滅への戦い」としてペットボトルキャップを集めると共に、エコキャップ860個でワクチン一人分になる事をRIのポリオ撲滅のパンフレットを記念品と共に配布し、啓蒙に努めました。  		
事業結果	地球温暖化防止啓発ショー、ふわふわ、ストラックアウト、市内4中学校吹奏楽演奏、子供園リズム体操等の屋外型メインイベントが行われました。本年度は晴天に恵まれ、約5000人の市民が参加してくださいました。37もの団体、企業が最後まで盛り上げてくださり、参加頂いた市民と共に環境問題への意識向上が確実に浸透してきたと感じました。 守山ロータリークラブでは、今年は記念品として蛍光ペンにエコ定規セットを用意し、RIのポリオ撲滅のパンフレットと共にエコキャップ回収時に配布し、啓蒙に努めました。回収したエコキャップは70kg、30100個、ワクチン35人分、CO2削減220.5kgとなりました。天候にも恵まれたとはいえ、過去最高の量のエコキャップの回収ができた事は、市民に認知されてきた証と実感しました。   		
新聞、TV等での報道	後援としてびわこ放送、エフエム滋賀、京都新聞、毎日新聞。 イベントチラシ守山市全戸配布、エフエム滋賀でインフォメーション守山放送、生活情報誌モリス掲載 市広報誌、ホームページ掲載、京都新聞9月7日朝刊掲載		
事業予算	45,000	円	
事業執行額	56,200	円	

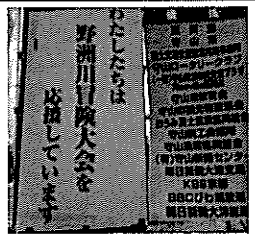
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 山口 宗美

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第35回野洲川冒険大会		
実施日	2016年7月3日		
実施場所	野洲川新庄大橋上流～野洲川中洲河川公園(仮称)		
協力団体	守山ロータリークラブ他31団体		
参加人数	会員	26 名	→→ 会員参加率 72 %
	市民	370 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	野洲川冒険大会は、野洲川冒険大会実行委員会が主催し、守山市の社会教育事業の一環として下記の事を目的として開催する。 1 地域社会における大人と子供の協働の機会、親子の触れ合いの機会を創設する。 2 ものを創る喜びや、仲間と共にやり遂げる喜びを感じる機会とする。 3 野洲川に親しみ、河川愛護の気持ちや、環境について考えるきっかけとする。 4 郷土守山の自然の素晴らしさについて学ぶ機会とする。		
			
事業結果	今年度は、「みんなで作ろう・みんなでくたろう・さあ体験だ!」をテーマに、思い思いの筏を作成し、76艇約370名の参加者が2.5km筏下りを楽しむ事ができました。青少年の冒険心を揺さぶり、チャレンジ精神をはぐくむ事ができ一生の思い出となったと思います。新しく整備されたゴール地点では、カヌー体験や水鉄砲作りプール等のイベントや多くの模擬店を開催しました。今年度は、初の試みとして社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会との共同事業としてポリオ撲滅の為のエコキャップ回収と子供たち(小学生まで)に未来の夢についてアンケートを行いました。14kgのエコキャップ回収と40数名の子供たちからアンケート回収ができました。		
			
新聞、TV等での報道	NHK、びわこ放送、京都新聞 他多くの報道機関が協賛され来場されました。京都新聞社賞を頂いて表彰。びわこ放送にて放送されました。		
			
事業予算		円	
事業執行額	14,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松本茂之

担当委員会名: 奉仕プロジェクト委員会

事業名	スペシャルオリンピックス市民交流ウォーク in ナガハマ		
実施日	2016年9月24日(土)		
実施場所	曳山博物館、中心市街地一帯		
協力団体	S O 日本・滋賀、長浜市、長浜市教育委員会、長浜市社会福祉協議会、長浜商店街連盟		
参加人数	会員 46 名	→→ 会員参加率 77 %	
	市民 51 名		
	その他 スペシャルオリンピックスボランティアスタッフ60人、アスリート49人		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	スポーツを通じて知的しょうがいのある方々を支援を行っている団体である「スペシャルオリンピックス日本・滋賀」の湖北支部様にスポーツトレーニング用具を寄贈するとともに、しょうがい者と健常者が一緒に楽しみ交流をはかるトーチウォークをスペシャルオリンピックスの世界統一デー(EKSデー)に合わせて実施し、しょうがい者の方への理解や支援の輪を広げる奉仕活動を行う。 また、社会奉仕活動を広く地域の人に認知していただき、ロータリーの活動に理解をいただくことを目的とする。		
事業結果	竹下会長よりアスリート代表にスポーツ用品の贈呈式を行なった後、11:00よりトーチウォークで、アスリートとボランティア、ロータリーメンバーや市民が一体となり、にぎやかに市内を練り歩き、しょうがい者の方と市民の交流をはかりました。また、中学生、高校生の多数の参加もいただきました。 トーチウォークの後は、参加者の皆さんで交流会を行い楽しく話をしながら昼食を頂きました。 第2部として元滋賀県知事でスペシャルオリンピックス日本・滋賀会長の国松善次氏より、「人生はドラマ 元気で楽しく」のテーマで講演を頂き、200人を超える参加者が、無事に有意義で楽しい時間を過ごすことができました。		
	  		
新聞、TV等での報道	地域の新聞で紹介されました。		
事業予算	1,010,196	円	
事業執行額	1,010,196	円	

2016-17年度

長浜東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 川瀬 努

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血事業協力		
実施日	平成28年4月9日(土)～平成29年3月11日(土)		
実施場所	西友長浜楽市店及びイオン長浜店駐車場		
協力団体	長浜市		
参加人数	会員	予定30名	→→ 会員参加率 50.8 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	長浜市が主催している献血事業に対し、会員を始め、会員企業の協力もいただいて、一人でも多くの方に献血協力してもらおう。 		
事業結果			
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

長浜東

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 川瀬 努

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血事業協力		
実施日	平成29年4月8日(土)～平成30年3月10日(土)		
実施場所	西友長浜楽市店及びイオン長浜店駐車場		
協力団体	長浜市		
参加人数	会員	30 名	→→ 会員参加率 50 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 長浜市が主催している献血事業に対し、会員を始め、会員企業の協力もいただいて、一人でも多くの方に献血協力してもらおう。			
事業結果 年間を通じて、例会にて献血募集の依頼及び協力要請をすることによって、メンバーに献血量が不足していることの意識付けが出来たと思います。			
			
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕理事

氏 名 : 増田喜代司

担当委員会名 : 青少年奉仕委員会

事業名	子どもを支える居場所を支える		
実施日	2017年5月23日(火)		
実施場所	明日都浜大津		
協力団体	後援：大津市、滋賀県社会福祉協議会、大津社会福祉協議会		
参加人数	会員 20 名	→ 会員参加率 18 %	
	市民 46 名		
	その他 15		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	厚生労働省が2014年にまとめた報告書によると、日本の子どもの相対的貧困率は16.3%、実に日本の子どもの約6人に1人が貧困状態にあることを示しています。 貧困率算定のベースとなる貧困ラインは、1人あたり122万円/年で暮らす生活であり、親と子1人ずつのひとり親世帯(2人世帯)に換算すると、173万円/年、月額約14万円での生活となり、修学旅行に行くのも難しく、学びたくても塾に行くこともできません。2014年のOECD(経済協力開発機構)のまとめでも、日本の子どもの貧困率は、先進国34か国中、10番目に高い数字でした。 2013年度の全国学力テストの結果を分析した調査によると、世帯収入が低い家庭の子どもは、そうでない家庭の子どもよりも、正答率が約20%も低かったという調査結果が報告されました。 親の経済的貧困は、子どもから教育を受ける機会を奪うことにつながります。こうした世帯で育つ子どもは、医療や食事、学習、進学などの面で極めて不利な状況に置かれ、将来も貧困から抜け出せない傾向があることが明らかになりつつあります。 教育機会に恵まれなかったことで低学力・低学歴となってしまった子どもは、大きくなったときに所得の低い職業に就かざるを得なくなり、孫の世代、そしてまた次の世代と、貧困の連鎖が続いていくことになってしまいます。 この貧困の連鎖を断ち切るためにも、経済的な理由で教育を十分に受けることができない子どもたちをなくすことが、喫緊の課題なのです。 NPO法人山科龍園子どものひろばでの理事長としての経験を生かし、子どもを中心に幸せ重なり笑顔が広がる地域作りの手伝いをと、貧困や虐待、いじめなどで苦しむ子供の居場所づくりを行っている幸重忠孝氏より、その現状の基調講演を行った後ブース交流会として児童養護施設、子ども食堂、里親会、夜の子どもの居場所づくり、学習支援などの活動の担い手がブースを設け、金品や物品などの寄付、子供食堂の会場提供、職場体験、ボランティアなどの要望に対しクラブ会員、一般参加者の方々と各交流していただきました。		
事業結果	4月11日例会に幸重忠孝氏をお迎えしその現状をお聞きいただき、今回もう少し詳しくその現状を認識いただき、参加各団体との交流を行っていただきました。各ブース7~8名ずつ交代でその活動内容を説明いただき、大変な現状に耳を傾けられ、その支援策について意見交換をされていました。 終了後、参加いただきました支援団体皆様にも今回の事業についてアンケートを実施し下記のような回答をいただきました。 社会的用語、地域における子ども支援の現状について、まず知っていただけたことが大きな収穫でした。 大津市に於いて子ども達が関わる方々が一同に会したことが大きな意義がありました。 参加団体と主催との親近感が生まれ、意見交換が活発に行われた。 事前に会議を重ねて意見を出し合えたことで効果的なプログラムが組めた。 このような機会がないと出会えない業種の方々とのお会いがあり、私たちの活動を紹介できた。 私たちの活動に関心を寄せ、何かできることがないかと考えてくださる方がいらした。 福祉関係者だけが「子どもの貧困」について考えるのではなくみんなが自分事として考えなければいけない、と言う雰囲気があり、とてもよかったです。		
新聞、TV等での報道	京都新聞・朝日新聞・琵琶湖放送		
事業予算	70,000	円	
事業執行額	62,000	円	

2016-17年度

大津中央

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 金子高夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	スマホとビーコンを活用した行方不明者早期発見法実証実験		
実施日	2016.12.3(土)		
実施場所	大津市中央学区		
協力団体	大津市・大津市社会福祉協議会・中央学区自治連合会		
参加人数	会員	26 名	→ 会員参加率 90 %
	市民	83 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	超高齢社会がどんどん進む中、大津市でも認知症による徘徊者の問題が問われています。認知症は誰にでも起こり得る病気です。徘徊自体もさることながら、家族の安心感をサポートする事と、事故や事件に巻き込まれないようにする事が「老人にやさしい街づくり」に必要な事です。しかし、現状は警察や地域ボランティアなどの人手による捜索は限界を迎えており、新しい対応策が求められています。そこで大津中央ロータリークラブでは、スマホとビーコンを活用した行方不明者早期発見・保護実証実験を実施する事となりました。実験では、ビーコンを持った徘徊役の方が地域を動き回りますが、この地域内にはビーコンの電波を受信できる多数のボランティアが参加されておりその受信情報をもとに捜索隊がビーコンの位置を特定し、従来通りやみくもに捜索する隊より早期に、確実に発見できる事を実証する実験です。 しかも、徘徊高齢者だけでなく、子供の見守りや障害者の見守りにも繋がる実験です。		
事業結果	当日はロータリアンと市民約100名が、ビーコンの発する電波を探知するアプリを起動し、町中に探知の網を張り、その状況の中やみくもに探すA班4組、ビーコンの情報を下に探索するB班4組に分け、実証実験を開始しました。約1時間の間、B班は全組が徘徊役を発見する事が出来たが、A班は全く発見出来なかった。これによりスマホとビーコンを活用した今回の方法がより確実に、行方不明者の早期発見が出来ることが実証されました。 今回の実証実験が「老人にやさしい街づくり」役立つことと思います。		
新聞、TV等での報道	びわ湖放送、朝日新聞、京都新聞		
事業予算	600,000	円	
事業執行額	未定	円	

社会奉仕部門 事業報告書

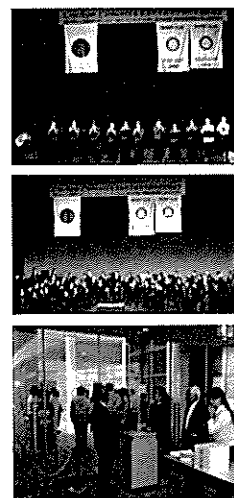
上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 安藤 大輔

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	視覚障害者によるカッコーコンサート支援事業		
実施日	2016年11月5日		
実施場所	滋賀県立芸術劇場 ～びわ湖ホール～		
協力団体	社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会、滋賀県立盲学校、大津視覚障害者協会他		
参加人数	会員 20 名 → 会員参加率 77 %		
	市民 383 名		
	その他 日本ロータリーEクラブ2650(25名)・光泉高校インターアクトクラブ(20名)と共催		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ロータリー財団が100周年であることと、ロータリークラブの奉仕活動を広く市民に知ってもらうため、メディア等も通じながら広報活動を行った。また、視覚障害者が中心となっている音楽活動を発表する場を通して、会員や市民の視覚障害者への理解が深まり、出演者の励みになることも目的とした。 事業は、日本ロータリーEクラブ2650と光泉高校インターアクトクラブとの共催として、視覚障害者を中心に組織された音楽グループの演奏発表の機会を提供する内容であり、滋賀県下有数のびわ湖ホールを借りて開催した。5組の視覚障害者を中心とした滋賀県下の音楽グループが、約3時間にわたって日ごろの練習成果を発表した。また、学校法人聖パウロ学園光泉中学・高等学校吹奏楽部による演奏も最後に披露していただいた。		
事業結果	事前に各新聞社等のメディアへ広く案内し、大津市公報へ掲載されるとともに、びわ湖放送のテレビ番組の中で約1分間コンサートを広報していただいたこともあり、当日は300名を超える観客が来場された。また、当日は地元ケーブルテレビが取材に来られ、後日番組中に当日の演奏模様も含めて放映していただいた。 出演者は総勢で80名ほどであり、5組の出演グループごとに人数、楽器の編成や演奏する音楽ジャンルも違うため、演奏内容が種類に富んだコンサートであった。最後に45名編成の光泉中学・高等学校吹奏楽部による演奏も僅か3曲ながらも演奏が圧巻で、全演奏は約3時間にわたり聴衆を魅了した。 このコンサートを開催するに当たり、準備から開催当日にいたるまで、当クラブと日本ロータリーEクラブ2650、さらに光泉高校インターアクトクラブの総勢60名を超える人員が協力・連携してそれぞれの役割を担うことでコンサートを成功裏に終えることができた。さらに、それぞれが視覚障害者に対する理解を深め、支援活動が行えたという貴重な経験を得ることができた。特にインターアクトクラブの生徒たちは、与えられた状況に応じて、率先して仕事を見つけながら、自分で判断しながら与えられた役割以上の仕事をそれぞれにこなしていた姿が印象的であった。		
新聞、TV等での報道	・事前報道 大津市公報による開催案内。 びわ湖放送にて平日夕方の番組内で約1分間にわたる開催案内。 ・事後報道 ケーブルテレビZTVにて当日演奏模様も含めた放映。		
事業予算	1,000,000	円	
事業執行額	1,019,965	円	



2016-17年度

大津西

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 津田 正治

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	仰木西公園清掃		
実施日	2017年4月20日(木)		
実施場所	大津市仰木の里一丁目		
協力団体			
参加人数	会員	15 名	→→ 会員参加率 88.24 %
	市民	0 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	以前当クラブの事業にて桜を植樹しました。 その仰木西公園にある「ロータリーの森」を毎年清掃しています。		
事業結果	会員総数21名中15名が参加し、枯葉の無い綺麗な公園になりました。		
新聞、TV等での報道	無し		
事業予算	5,000	円	
事業執行額	4,329	円	

2016-17年度

栗東

ロータリークラブ

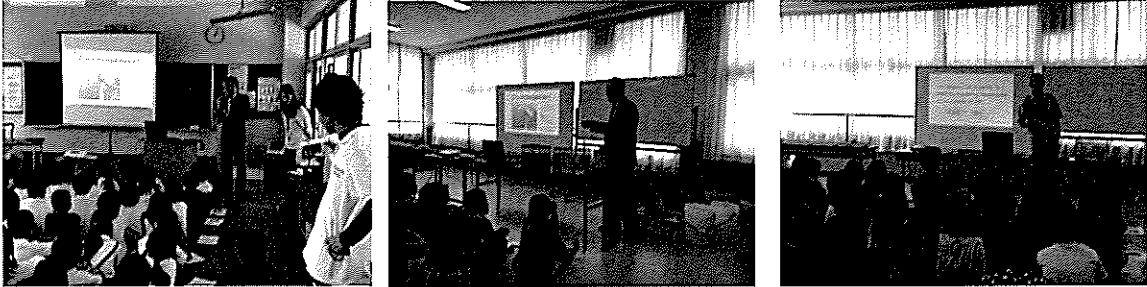
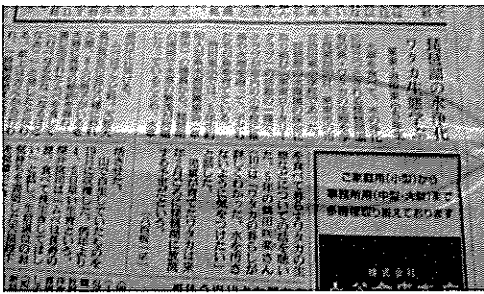
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 田口 信雄

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ワタカについての出前授業				
実施日	2016年10月20日				
実施場所	栗東市立 治田東小学校 ならびに 治田西小学校				
協力団体					
参加人数	会員	17	名	→→ 会員参加率	37 %
	市民	0	名		
	その他 講師1名 小学生 85名				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	琵琶湖の水環境の保全と創造をテーマとし、ワタカの飼育と放流活動を通して、観察・学習を展開して頂くことを事業の目的とし、2014-2015ロータリー財団地区補助金を受けて、2015年より5か年計画で行う事業であります。栗東市内の全小学校にワタカ飼育設備および稚魚を贈呈し、飼育することでワタカの学習および水草を食する性質等より琵琶湖の環境を考える機会を持って頂き、成長した時期に琵琶湖へ放流する一連の取り組みを毎年2校ずつ行っている。 今回の出前授業は贈呈後、ワタカについて小学生に知識を持って頂くため、滋賀県の水産振興課より 講師1名を各小学校に出向いて頂き講義する「ワタカの出前授業」を実施しました。				
事業結果					
新聞、TV等での報道	 朝日新聞 2016/10/21掲載				
事業予算	400,000 円				
事業執行額	97,000 円				

2016-17年度

栗東

ロータリークラブ

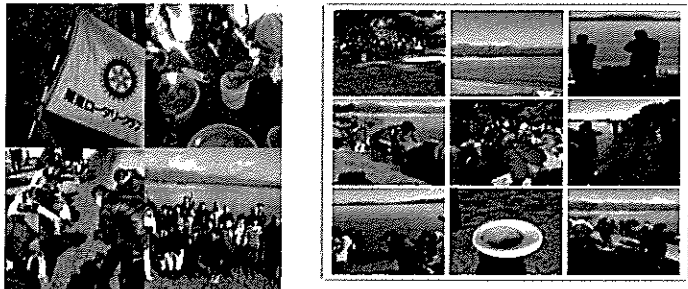
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 田口 信雄

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	琵琶湖の水環境の保全と創造 ワタカの放流		
実施日	2017年2月25日		
実施場所	滋賀県野洲市 マイアミランド		
協力団体			
参加人数	会員	22 名	→→ 会員参加率 50 %
	市民	31 名	
	その他	講師1名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	琵琶湖の水環境の保全と創造をテーマとし、琵琶湖で増殖する水草を食する絶滅危惧種に指定されたワタカと言う魚を 栗東市内のすべての小学校に、順次、毎年2校づつ飼育器具一式を寄贈し 稚魚から飼育することで、ワタカの学習と琵琶湖の環境を考えて頂き、後に飼育したワタカを琵琶湖に放流する5か年計画の事業の3年目であります。特に、本年はロータリーが社会奉仕の一環として幅広く一般の方に事業の内容を知って頂くことを目標とした一年でありました。下半期に於いてのメインの事業は放流であり、治田西小学校と治田東小学校の2校を対象にびわこマイアミランドにてテレビ・新聞等の報道機関を迎えて、放流を実施しました。後、滋賀県農政水産部 主査 亀甲様より「琵琶湖の水環境」について 講義を実施して頂くとともに 各小学校の生徒よりワタカの飼育についての報告・発表を終え 全員で昼食をとり親睦を深めロータリーへの理解も深めて頂いたと感じております。		
事業結果			
新聞、TV等での報道	 朝日新聞  MBSの放映  BBCの放映		
事業予算	450,000 円		
事業執行額	384,434 円		

2016-17年度

高島

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 淵田 泰士

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	①安曇川堤防桜並木清掃活動		
実施日	2017年 3月 8日(水)		
実施場所	安曇川町十八川地先		
協力団体	十八川地区住民、岸田建設㈱		
参加人数	会員	29 名	→→ 会員参加率 66 %
	市民	5 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当ロータリークラブが植樹した安曇川堤防沿いの桜を地元の十八川地区の方とともに管理・維持するための環境美化活動を行う。		
事業結果	十八川地区の有志の方たちとともに、ロータリメンバーが草刈り、ごみ拾い、雑木の伐採・除去等、環境保全・美化活動に努めました。   		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	70,000	円	
事業執行額	76,085	円	

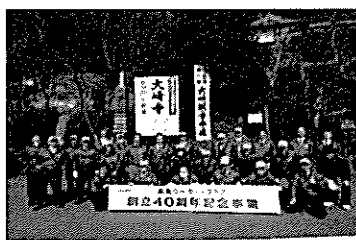
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 淵田 泰士

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	②海津大崎の桜の記念植樹事業ならびに海津大崎の桜並木清掃活動		
実施日	2016年 12月 7日(水)、2017年 3月 29日(水)		
実施場所	マキノ町海津地先		
協力団体	美しいマキノ桜守の会、棚青谷建築工房、岸田建設㈱		
参加人数	会員	36 名	→ 会員参加率 82 %
	市民	18 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 「日本のさくら名所百選」に選ばれ、今ではお花見シーズンには10万人の観光・花見客が訪れる海津大崎の桜並木に10年前の創立30周年時に桜(ソメイヨシノ)の記念植樹をさせて頂きました。本年度創立40周年を迎え、地元の保全団体である「美しいマキノ桜守の会(江端英嗣会長)」のご協力のもと、新たな桜(ソメイヨシノ)の苗木3本を植樹させて頂きました。その後、当ロータリーメンバーで湖岸沿いや道路沿いを歩いて、開花前の桜並木の清掃活動を行い、地元の方たちと共に観光客を迎える準備を致しました。			
事業結果 定期的に桜(ソメイヨシノ)の植樹をすることは、いつまでも観光客および地元の方々に愛される桜の観光名所を守り、育むことだと思います。地域の方々と協力して、清掃・美化活動に取り組み、本年も非常に沢山のお花見客(約10万人)で賑わいました。   			
新聞、TV等での報道 なし			
事業予算	230,000	円	
事業執行額	236,160	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 坂口 重良

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト・社会奉仕

事業名	中主小学校の環境学習会		
実施日	2016.7.11 (月)		
実施場所	中主小学校		
協力団体	野洲市		
参加人数	会員 17 名 →→ 会員参加率 42 % 市民 名 その他 中主小学校5年生 140名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	市内でびわ湖に一番近い中主小学校にて、びわ湖にとって一番大切なヨシ帯を再生するに当たり、小学生一人一人にヨシのポット苗を作っていただき、次の事業（ヨシ群落再生事業）に向けて、準備をしていただきました。   		
事業結果	なお、びわ湖の生物、植物等、環境保全について、中主小学校5年生全員を対象に、環境学習会を事前の6月20日にも行っています。       		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 坂口 重良

担当委員会名: 奉仕プロジェクト・社会奉仕

事業名	びわ湖護岸のヨシ群落再生事業		
実施日	2016.11.12(土)		
実施場所	野洲市あやめ浜周辺のヨシ保全地区		
協力団体	野洲市びわ湖を守る会、中主漁業協同組合他		
参加人数	会員	24名	→ 会員参加率 59%
	市民	210名	
	その他	46名	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 ヨシはびわ湖の環境保全と生物にとって大切な植物です。近年多くのヨシ帯が減少し、生物の住む場所が減ってきています。この為、野洲RCでは、ヨシ群落の再生に向けて、生物の多様性の環境を作り上げて行く取り組みを毎年行っています。			
   			
事業結果 今回も多くの市民や他団体と協力して、護岸のヨシの植栽を行いました。			
      			
新聞、TV等での報道			
事業予算	300,000 円		
事業執行額	316,560 円		

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 坂口 重良

担当委員会名: 奉仕プロジェクト・社会奉仕

事業名	漁民の森づくり				
実施日	2017.3.11(土)				
実施場所	野洲市大篠原地先				
協力団体	野洲市				
参加人数	会員	14	名	→→	会員参加率 35 %
	市民	200	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	琵琶湖再生に欠かせない山、山の環境を再生する為、広葉樹、落葉樹の樹を植樹する。今年は栗の木がメインでした。 				
事業結果	本年度で10年目の奉仕事業です。 今回は、今までの場所ではなく、隣の山に場所を移動し、植樹をしました。 				
新聞、TV等での報道					
事業予算	0 円				
事業執行額	0 円				

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 坂口 重良

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト・社会奉仕

事業名	ごみゼロ大作戦		
実施日	2017.5.28(日)		
実施場所	野洲市 あやめ浜 湖岸		
協力団体	野洲市主催・協力団体として参加		
参加人数	会員 24 名 → 会員参加率 60 % 市民 名 その他 中主小学校5年生 140名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	琵琶湖の環境保全の為、あやめ浜、マイアミ浜周辺の雑草及び湖岸のゴミ回収作業。   		
事業結果	本年5月30日は「環境美化の日」 5月21日～6月4日まで、美化推進地域である湖岸を中心に、清掃活動、奉仕作業が展開されました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 荻田富和

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	第5回グリーンふくろう基金の受賞団体による事業報告会		
実施日	2016年9月14日(水)		
実施場所	八日市商工会議所		
協力団体			
参加人数	会員	39 名	→→ 会員参加率 82.22 %
	市民	0 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブでは、クラブの創立15周年記念事業として「グリーンふくろう基金」により設置した太陽光発電による売電益を、毎年東近江市及び日野町において様々な「奉仕活動」をされている個人や団体に贈る事を介在に、幅広い「奉仕活動」参加することを目ざしてまいります。これを受けて毎年その受賞団体さんより事業内容等を聞かせていただき、その事業への理解を深める事を通して、間接的に社会奉仕活動に資することを目的としている事業です。		
事業結果	今回も二つの受賞団体の代表者よりの事業報告を受ける事を通してその事業への理解を深めて、間接的な「社会奉仕」活動とすることができた。 1、きぬがさ山の「里山」に親しむ会・・・代表 中沢喜夫様 この団体の発起人である初代の会長が衣笠山の遊歩道が荒れていることに心を痛めて始まった団体で、現在は近隣の市町は元より大津方面からも活動に参加して下さる方も有るということでした。遊歩道の草刈などの整備や案内板の設置、また要望があれば衣笠山の道案内や地域の子供たちを対象にした木工教室も実施しているおられる団体です。 今後近隣の観音寺城・瓦屋寺・太郎坊全体の「東近江トレイル」の完成を目指して更に大きな奉仕の夢に向かっておられるとのことでした。 2、パソコンボランティア能登川 和ネット・・・代表 南川敏子様 この団体は高齢者や障害者にパソコンの指導をボランティアでされている団体で、年間200回にも及ぶ講座の開催を通して、地域とのつながりを持つことに力を注いでおられます。高齢者や障害のある方々がパソコンをきっかけに前向きな人生を送っていただけることを目標にしているとの事でした。その為あくまで参加者の自主的な活動によって成り立たせることをモットウにしている為、参加は一切強制していない団体だそうです。このような社会奉仕の報告に感動と共に聞かせて頂いた。		
新聞、TV等での報道	・ なし		
事業予算	なし	円	
事業執行額	なし	円	

2016-17年度

八日市南

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 萩田富和

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	グリーンふくろう基金授与式		
実施日	2017年5月17日		
実施場所	八日市商工会議所		
協力団体			
参加人数	会員	34 名	→ 会員参加率 80.95 %
	市民	名	
	その他	5 名	(受賞団体の責任者)
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブ創立15周年記念事業として設置した「太陽光発電による売電益」を毎年30万円を限度に地域社会に貢献されている社会奉仕団体様に当クラブの社会奉仕の一環として授与している制度です。 今年度も2月から3月の2か月間応募を呼びかけ、その応募者の中から、選考委員会が選考した5団体への基金の贈呈を「第6回グリーンふくろう基金授与式」として実施。		
事業結果	今年度の授与式は、当初に受賞者及び例会参加会員に当「グリーンふくろう基金」の設立経緯を説明。 その後受賞5団体さんに会長より基金を授与した。そして5団体の代表者より一言ずつスピーチをしていただき、当クラブ会員は各団体の社会奉仕活動への理解を深め、間接的社会奉仕活動の一環とした。 第6回グリーンふくろう基金受賞団体 1、きぬがさ山「里山に親しむ会」代表者；中沢嘉夫 2、ワークスペース喜福 代表者；藤井美智代 3、子育て支援サークル「ぽっぷ八日市」代表者；大谷敬子 4、川合寺町「桜画展」開催委員会 代表者；福田幸司 5、おてんとさん 代表者；菅谷寛子		
新聞、TV等での報道	該当なし		
事業予算	300,000	円	
事業執行額	210,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 岡本光晴

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	川上村花火大会（かみせ祭り）奉仕事業		
実施日	2016年8月6日（土）		
実施場所	川上村役場前		
協力団体	川上村商工会（青年部・女性部）、南都銀行川上村支店、地域おこし協力隊		
参加人数	会員	40 名	→ 会員参加率 85.11 %
	市民	約3000人（来場者） 名	
	その他	青少年ボランティア（チームASUKA）52名 会員ご夫人15名 市民ボランティア約100名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 平成23年紀伊半島大水害が発生し、川上村も道路が寸断され孤立した状態であった。翌年、川上村で復興思念の願いや絆を花火で表現しようと計画し実現した。翌25年にも花火を打ち上げ、26年から村主催の花火に引き継がれた経緯がある。クラブとしても、川上村の復興は道半ばととらえ今回も社会奉仕を通じ地域発展の一助になればと、川上村花火大会（かみせ祭り）奉仕事業（チームASUKAもお手伝いいただいた）及び川上村村営「杉の湯ホテル」を貸切、一泊二日の家族例会を行った。 			
事業結果 祭り当日の14時に現地入りした。祭り前のテント設営や夜店の運営に携わった。川上村が出店した夜店で当クラブが運営したのは7店（射的・かき氷・ビール販売・やきそば・フランクフルト・ポップコーン・ふるさと市ブース）。また、当クラブ独自で出店したのは2店（みたらし団子・あてもんコーナー）であり、どれも地元の方から好評でどの店も花火が打ち上げ前には完売となり、活気にあふれた祭りとなった。また、当日は川上村村営「杉の湯ホテル」を貸切、一泊二日で家族例会も行った。会員が奉仕活動に参加する傍ら、家族の皆さんにはお祭りを楽しんでいただき、大いに盛り上げを図ったもらった。最後に、全員で1500発の打ち上げ花火を堪能して終会となった。 今回の奉仕活動では、川上村商工会の皆さんと一緒にお祭りを運営することで、川上村の完全復興に当クラブが与える影響がどれだけ大きいことなのか理解できた。これは過去奉仕活動が続けた結果であり、要請があればまた参加しなければと考えさせられました。 最後に、主催者である川上村村長や商工会の皆さんからもたくさんのお礼の言葉をいただき、大変喜んでいただきました。			
新聞、TV等での報道 8月7日（日）および9月8日（土）の奈良新聞に当日の様子が掲載。			
事業予算	800,000	円	
事業執行額	771,472	円	

2016-17年度

五條

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 高岡 聡

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	五條市チャレンジウオーク2017 ロータリーの泉		
実施日	2017年3月5日		
実施場所	五條市内		
協力団体	五條市		
参加人数	会員	13 名	→→ 会員参加率 39 %
	市民	600 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	五條市主催のチャレンジウオーク 毎年開催され、約600名が市内を20Kmを歩く。等クラブは給水所をロータリーの泉として担当し、参加者を支援する。		
事業結果	給水はお茶、スポーツドリンク、ジュースなど多数用意し、飲んでいただくと同時に励ましの声掛けなど行い、疲れた参加者を元気付け、同時に楽しんで頂く事が出来たと思います。		
新聞、TV等での報道	市内広報等に掲載		
事業予算	20,000	円	
事業執行額	15,660	円	

2016-17年度

平城京

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 大井 隆博

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	左京夏祭りバザー		
実施日	平成28年8月27日(土)		
実施場所	左京小学校		
協力団体	左京グリーンサポートクラブ		
参加人数	会員	8名	→→ 会員参加率 33%
	市民	10名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	エリア内の左京自治連合会主催の夏祭りイベントでのバザーブース出店。全員が持ち寄った物品を提供。バザーの売上金は左京の森を維持・保全しているボランティア団体「左京グリーンサポートクラブ」に寄贈、活用してもらう。		
事業結果	イベント当日は出店ブース16店参加、約3000人の入場があり、地域住民が楽しめる地区最大のお祭りとなった。当クラブではバザー売上金額71600円及び会員の寄付を含め「左京グリーンサポートクラブ」に100,000円を寄贈し、左京の森の維持・保全に役立ててもらった。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

平城京

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 大井隆博

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血奉仕事業		
実施日	2017.5.28(日)		
実施場所	奈良ファミリー(イオン西大寺店)駐車場		
協力団体	日本赤十字奈良支部		
参加人数	会員	14名	→→ 会員参加率 58.3%
	市民	57名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	クラブ創立以来の継続事業で、休日に集客力のある施設を借りて献血事業を実施した。不足する輸血用血液の一助となるべく努めた。		
事業結果	総受付数57名 採血総数44名。目標人数に達し、予定通り終了した。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	40,000	円	
事業執行額	35,532	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 和泉 慶男

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	いこまココロの文化祭		
実施日	2016年9月24日(土) 25日(日) の2日間		
実施場所	生駒市公民館「たけまるホール」		
協力団体	生駒市、生駒市教育委員会		
参加人数	会員	24 名	→→ 会員参加率 87.5 %
	市民	300 名	
	その他 出演者100名、ロータリアン家族10名		
事業分野	☒ 1.人間尊重	☒ 2.地域発展	☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他
事業目的及び事業内容			
ロータリー財団100周年記念事業 生駒ロータリークラブ Presents 「いこまココロの文化祭」 秋のひとつき、やさしい気持ちになってみませんか? (Rotary Friendship Day---手に手つないで--- 君のやさしさには勝てやしない) と銘打ちまして トーク演奏や講演、楽器演奏や合唱で、「家庭や学校、 地域社会の中で調和を保ちながら、自分を大切に生きる 方法を考える2日間」にしようと、市民祭りのような自由な 雰囲気楽しくやろうと企画しました。			
事業結果			
一日目は第10代ミス奈良の佐々木ひろみさんの司会で タンバリン博士の田島隆さんのオープニング演奏。 新世代フォーラムで外国人留学生や米山奨学生のスピーチ。 ライブ演奏とトークの「ふるかわひであきとライトコール コーリングスによる「じゅんちゃんと僕」で知的障害を 持つ女の子との青春物語を通じて、本当の優しさとは? という話と歌は心にしみる二時間でした。 二日目は福井東RCの精神科医貴志英生氏の講演「素敵な 自分になるために」。ゴスペル生駒さん30名の迫力ある 合唱。川崎貴久氏の尺八、西川彩乃さんのチェロ、美越希 さんのピアノとの合奏。長谷川恵美さんのJAZZの世界。 クロマチックハーモニカ奏者の海人君。最後に生駒中学 吹奏楽部による演奏の後、会場と一緒に「花は咲く」と 「上を向いて歩こう」を合唱して楽しく幕を閉じました。			
新聞、TV等での報道			
奈良新聞に掲載、地元ケーブルネットワークKCN および奈良テレビで放映されました。			
事業予算	800,000	円	
事業執行額	1,000,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 和泉慶男

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	生駒山麓公園寄贈ソメイヨシノ樹勢回復事業（完工式）		
実施日	2017年4月12日（水）		
実施場所	生駒山麓公園多目的広場・サクラ並木100本記念碑前		
協力団体	関西ワンディッシュユエイド協会		
参加人数	会員	15名	→ 会員参加率 75 %
	市民	10名	
	その他 小紫生駒市長、市役所土木課5名、藤野工業㈱社長以下3名、近鉄造園5名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
市民憩いの場となっている生駒市山麓公園には、2006年～2011年にかけて山麓公園の周りに桜並木整備事業として100本のソメイヨシノの苗木の植樹を行いました。その中で約10本が天狗巣病にやられたり、虫やイノシシ、また芝刈り機の刃物傷や芝による水の不足等により樹勢が衰えており、枯れ死の危機を迎えているので、当クラブと近鉄造園土木様の監修のもと、生駒をはじめ各地で「陶磁器の循環系社会の構築」を目指した取り組みを行っている関西ワンディッシュユエイド協会様と、その回収された陶器を粉砕し土壌改良材を開発中の藤野工業株式会社様の全面協力を得て実施したものであります。焼却できない陶磁器をリサイクルして地域の公園の桜の命をつなぐ試みはロータリーの社会奉仕の理念と合致し、成熟した地域社会が取り組むべき、循環型社会のケーススタディになればとの思いで事業を実施しました。			
事業結果			
事業結果は今後長期的に見ていく必要がありますが、枯れていく原因を除去した今は樹勢の回復が期待できます。完工式に先立って、生駒山麓公園ふれあいセンター館303研修室で移動例会が関係者全員が参加の上行われ、卓話に近鉄造園部長で樹木医の西胤玲二氏に、桜の樹勢を弱らせる様々な原因と対策について勉強することができました。 小紫市長と関係者が最後の一本に鉄入れ式のように肥料土を与え完工式を終えました。			
 			
新聞、TV等での報道			
地元のケーブルネットワークのニュースで取り上げられた他、翌朝の奈良新聞、全国紙の毎日新聞と読売新聞に取り上げられ、多くの方から新聞を見ましたよという連絡を頂きました。			
事業予算	200,000	円	
事業執行額	200,000	円	

2016-17年度

樫原

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中谷 昌紀

担当委員会名 : 社会奉仕部門委員会

事業名	クリーンアップなら2016キャンペーン		
実施日	平成28年9月4日(日)		
実施場所	藤原宮跡内 大極殿跡		
協力団体	親切美化奈良県民運動推進協議会 「小さな親切」運動奈良県本部 飛鳥樫原ユネスコ協会		
参加人数	会員	16 名	→→ 会員参加率 32 %
	市民	100 名	
	その他	30 名	樫原市職員等
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容 奈良県内各所で美化清掃活動を開催。 当クラブでは、テリトリー内にある「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」のクリーンアップ活動に参加。			
事業結果 市職員、各種団体、企業、市民の皆さん約150名が参加し、地元樫原市長の挨拶のもと、藤原京とその周辺の清掃活動を行いました。 日本最古である藤原京は、観光名所、市民の憩いの場として親しまれています。 場所も広いですが散開し熱心にゴミを集める姿が見られ、住む人に優しく、訪れる人にも優しいまちづくりを心がけ、十分な活動ができました。			
新聞、TV等での報道			
			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

2016-17年度

榎原

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 中谷 昌紀

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕部門委員会

事業名	かなはし苑への音楽慰問		
実施日	平成28年9月22日(木)		
実施場所	介護老人福祉施設 かなはし苑		
協力団体	榎原学院高校吹奏楽部と榎原学院高校インターアクトクラブの合同		
参加人数	会員 5 名	→ 会員参加率 10 %	
	市民 150 名		
	その他 14 名	榎原学院高校吹奏楽部と榎原学院高校インターアクトクラブ	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	核家族化が進む中、日頃お年寄りの方々と接する機会が少ないことから、音楽を通じてお年寄りの方々と共に時間を過ごし、楽しんでいただけたらと思います、毎年恒例行事として行っています。		
事業結果	お年寄りの方々に楽しんでいただく、喜んでいただく姿を間近で感じ、お年寄りの方々に感謝の念を抱き、思いやる心を感じ取り、今後に活かしてくれることと思います。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0	円	
事業執行額	0	円	

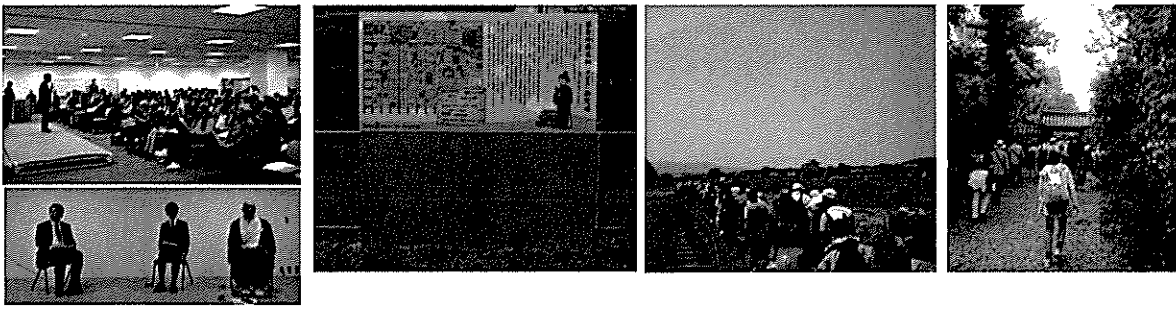
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 緒方 賢史

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	藤原仲麻呂「実はいい人だった」プロジェクト		
実施日	2017年4月2日(日)～2017年5月14日(日)		
実施場所	奈良市四条大路1丁目を中心とするエリア		
協力団体	奈良市四条大路一丁目東自治会、奈良県立図書情報館、唐招提寺、法華寺、海龍王寺 (後援) 奈良市、奈良市教育委員会、公益社団法人奈良市観光協会		
参加人数	会員 62 名	→	会員参加率 47.6 %
	市民 356 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	藤原仲麻呂(706～764)は、奈良時代の栄華を支え、太政大臣まで務め、政治・経済の上で各種の改革を推進した重要な政治家であるが、その業績はあまり伝えられておらず、その邸宅の痕跡も表示されていない。 そこで、当クラブは、創立65周年記念事業として、藤原仲麻呂の業績を今日に伝え、平城京のよりリアルな姿を世に広めるために、「藤原仲麻呂『実はいい人だった』プロジェクト」と題し、①4月2日(日)、奈良県立図書情報館(藤原仲麻呂邸跡地の近辺である)において、奈良文化財研究所の馬場基先生および唐招提寺第88世長老・西山明彦師を講師に迎え、藤原仲麻呂をテーマとする市民向けの講演会を行い、②5月14日(日)、「タイムトリップラジオウォーキング・藤原仲麻呂編」と題し、藤原仲麻呂ゆかりの地を歩いて回る市民向けのラジオウォーキング事業を開催し、③藤原仲麻呂邸跡地の一角である奈良市四条大路一丁目第1号児童公園に、邸跡地であることを示す看板(案内板)を設置した。 以上のプロジェクトを通じて、これまでその名が世に知られることがなかった藤原仲麻呂という人物を地域に広く知らしめ、かつての平城京の姿がより詳細に地域住民に伝わっていくことをめざしたものである。		
事業結果	講演会においては251人、ラジオウォーキングにおいては105人の一般参加を得て(ラジオウォーキングはリアルタイムでラジオ放送を行ったため、聴取していたリスナーはこれ以外にもいる)、藤原仲麻呂という人物の存在およびその人物像を広く知らしめることができた。 また、案内板の設置により、後世にも残る形で、かつ、仲麻呂邸跡地近辺の住民の方々を中心対象として、仲麻呂邸跡地の存在、ひいては平城京の全体像の姿を伝えていくこととなった。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	2,380,000	円	
事業執行額	2,283,005	円	

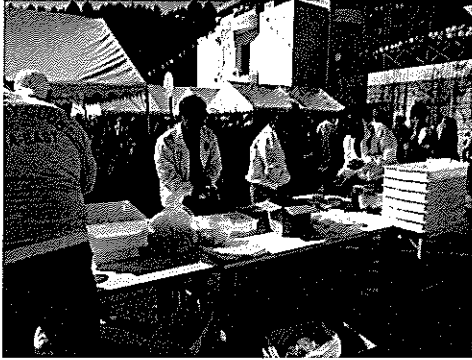
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 伊東 月臣

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	知的障害者支援事業		
実施日	2016年11月12日		
実施場所	奈良市杣ノ川町50番地の1		
協力団体			
参加人数	会員	28 名	→ 会員参加率 75 %
	市民	650 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	社会的弱者といわれる障害者の皆さんに少しでもお役に立てる事業をと中村会長の方針にのっとり、障害者とのふれあい楽しいひと時を醸し出すことを目的とし、知的障害者約270名を就労支援されてます、社会福祉法人青葉仁会の法人設立25周年記念祭典にて、唐揚げ600食提供、知的障害者に餅つきして頂きその餅で黄粉餅、ぜんざい500食提供イベントとしてデッキ輪投げ、スーパーボールすくい、ビンボーリング(全て景品付き)にて協賛した 		
事業結果	当日の参加者は知的障害者、ご家族、出入り業者、地元の協力者等で、中村会長は挨拶の中でロータリークラブの活動の事もお話して、またイベント用のテントには奈良東ロータリー名の横旗を掲げ、餅つきも会場も中央でさせて頂き、地域の方々にロータリークラブの活動についてアピールできたと思います 青葉仁会の実行委員会と細かな協議打ち合わせをしてこのように盛況となり、障害者に対する理解を深め、障害者及び地域の方々と交流がより深まり大変有意義であった 参加人数は知的障害者約200名、参加者合計650名となった   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	800,000	円	
事業執行額	519,236	円	

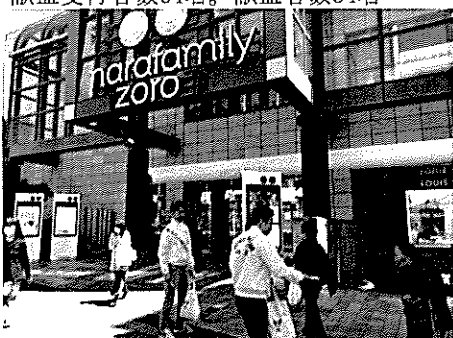
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 伊東月臣

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血奉仕活動		
実施日	2017年4月23日		
実施場所	奈良ファミリー 中央駐車場		
協力団体			
参加人数	会員	21 名	→→ 会員参加率 60 %
	市民	64 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
血液が大変不足しているとのことで、創立以来献血奉仕活動を行ってまいりましたが、昨年度はクラブの都合で出来ませんでした。今年度よりまた継続する予定です。中央駐車場より奈良ファミリーに通じる通路にて奈良東RCの、横旗を掲げ市民の皆様に献血奉仕活動をアピールしました。			
事業結果			
多くのメンバーに参加して頂き、社会奉仕活動を行いながら、親睦もはかることができました。 献血受付者数64名。献血者数54名 			
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	37,084	円	

2016-17年度

奈良西

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 奉仕担当理事

氏 名 : 猪上 正孝

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	社会福祉法人中川会 夏祭り協賛				
実施日	平成28年7月23日(土)				
実施場所	社会奉仕法人中川会				
協力団体					
参加人数	会員	10	名	→→	会員参加率 4.4 %
	市民	100	名		
	その他 入所者関係の方々				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	継続社会奉仕事業として行っております。障害をもつ入所者が家族、ロータリー会員と触れ合う機会として毎年楽しんでいただけるよう協賛というかたちで参加しております。				
事業結果	本年も入所者とふれあう事が出来ました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	30,000		円		
事業執行額	30,000		円		

2016-17年度

奈良西

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : クラブ奉仕理事

氏 名 : 猪上 正孝

担当委員会名 : 佐川 寛一

事業名	帝塚山社会福祉協議会「おしゃべりサロン」協賛		
実施日	2017年3月26日		
実施場所	介護老人保健施設アンジェロ2階サロン		
協力団体	帝塚山地区社会福祉協議会		
参加人数	会員	3 名	→→ 会員参加率 7 %
	市民	60 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	高齢者の孤独感の解消、高齢者の引きこもり防止を目的とした、65歳以上の誰もが参加できる「おしゃべりサロン」に協賛金を提供し、ケーキやコーヒー等の費用としていただき、高齢者のふれあいと絆づくりに協力する。		
事業結果	地域から60名以上の参加があり、普段の「おしゃべりサロン」とは、一味違う内容になったと感じました。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	120,000	円	
事業執行額	120,000	円	

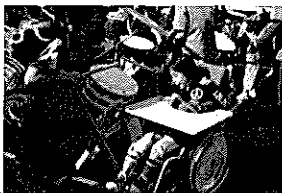
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高辻 良成

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	東大寺福祉療育病院の音楽療法活動について		
実施日	2016年10月29日(土)		
実施場所	東大寺福祉療育病院の音楽療法活動について		
協力団体	なし		
参加人数	会員 22 名 → 会員参加率 32 % 市民 名 その他 入院患者60名 保護者5名 職員20名 RC家族2名 奨学生2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	重症心身障害者が入院されている東大寺福祉療育病院において、生駒山麓太鼓保存会(15名)による大太鼓および帝塚山学園ギターマンドリン部(25名)が奏でる管弦楽による音楽療法を考慮した事業。本奉仕活動は、単に演奏を聴いてもらうだけでなく、障害者自ら、楽器に触ってもらい、音を出したり、その振動を感じてもらうことを企図した。また、人工呼吸器を使わざるを得ないような病室から出ることすらできない重症心身障害者に対しては、病室まで演奏者がおもむいて、楽器を奏でてもらった。また、地区財団補助金を活用して、同病院にクッションチェア等10点の介護用品の寄贈を行った。		
事業結果	直接的には、音楽療法により、入院患者児童の一日も早い快癒を期待しての奉仕活動であったが、太鼓の奏者からは、「今までは見せる太鼓をしてきましたが、本日は求められる太鼓を演奏することができました。こんな機会を与えていただけて感謝しています」との言葉があった。また、日頃、何の不自由もなく暮らしている中高生に、車椅子生活を余儀なくされている同年代の子供たちと触れさせることができ、校長や顧問の先生から「いい勉強になりました」と言われた。また子弟を連れてきた会員からも、同様の言葉があった。また、身障者に付き添う家族の方々や、同病院の職員の方々にも、リラックスできたひと時となった。  		
新聞、TV等での報道	奈良テレビ(10月29日夕方ニュース)で放映された 産経新聞(11月8日朝刊) 奈良新聞(11月9日朝刊)に掲載された  		
事業予算	900,000	円	
事業執行額	830,607	円	

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高辻 良成

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	年末交通安全啓発運動		
実施日	2016年12月5日(月)		
実施場所	奈良警察署およびJR奈良駅前		
協力団体	奈良県交通安全協会		
参加人数	会員 19 名 → 会員参加率 28 % 市民 名 その他 奈良県交通安全協会 10名 奈良署員 4名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	年末の交通安全、特に、飲酒運転根絶の街づくりを企図した啓発活動。具体的には、サンタの衣装を着た当クラブメンバーを中心に、JR奈良駅近辺で、通行人や、飲食店において、飲酒運転根絶を呼びかけるチラシやグッズを配布した。また、奈良警察署の壁面に、当クラブが製作した、サンタクロースの交通安全を呼びかける横断幕を設置した。		
事業結果	サンタの衣装が市民の目を引き、新聞社3社も取材に訪れ、記事化されるなど、啓発活動としては、大きな成果があったと言える。		
新聞、TV等での報道	朝日新聞(12月6日朝刊) 読売新聞(12月6日朝刊) 産経新聞(12月7日朝刊) に掲載された		
事業予算	800,000	円	
事業執行額	800,000	円	

2016.12.6 朝日(29)



2016.12.6 読売(33)



+ 2016.12.7 産経(22)

2016-17年度

奈良大宮

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高辻 良成

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血協力活動		
実施日	2017年1月18日		
実施場所	近鉄慣れ駅ビル献血ルーム		
協力団体	奈良県赤十字血液センター		
参加人数	会員	10 名	→→ 会員参加率 14.93 %
	市民	73 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	例年、冬場には献血級力が少なく、輸血用血液が不足することから、当クラブのメンバーだけではなく友人や各メンバーの事業所で働いている人たちに、チラシを配布し広く、協力をよびかける。また、さらに、インセンティブを高めるため、当日だけの、オリジナルグッズを献血協力者に、進呈する。		
事業結果	会員の高齢化に伴い、献血をしたくてもできない会員が多く、会員の献血は10名であったが、会員の紹介で、46名が来場された。献血ルーム全体では、83名であり、採血者のほぼ2/3が、当クラブの関係者であった。なお、当献血ルームの本年1月の1日当たりの平均採血者は、36名であり、当クラブの協力により、倍以上の来場者があったことになる。		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	105,000	円	
事業執行額	118,800	円	

2016-17年度

奈良大宮

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高辻 良成

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	高齢者交通安全支援活動		
実施日	2017年4月8日		
実施場所	奈良100年会館中ホール		
協力団体	奈良警察署、奈良市		
参加人数	会員 13 名	→→ 会員参加率 19.4 %	
	市民 160 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	高齢ドライバーによる事故が増加傾向にあるが、奈良のように、必ずしも公共交通機関が整っていないところでは、自動車が生活に不可欠な手段であり、免許の返納のみが、交通事故防止のベストの方法ではない。 しかし、高齢者が運転される際の注意点や、運転免許自主返納についての特典等、正しい情報を知っていただくことが、交通安全につながると思慮されることから、奈良警察署、奈良市の協力のもと、啓蒙活動を実施する。		
事業結果	春の交通安全県民運動の一環として、高齢市民約160名にご参集いただき、高齢者の交通事故情勢の説明や、危険予測システムによる交通事故予測体験などを行い、最後は、座ってできる元気がでる体操を全員で行った。 なお、最後まで参加された方には、卒業証書ならびに当クラブ会員企業である、奈良ヤクルト販売社より、飲料の詰め合わせを粗品として進呈した。 また、奈良市をうまくまきこみ、共催とすることで、100年会館の使用料が無料となり、経費が大幅に削減できた。		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	250,000	円	
事業執行額	127,337	円	

2016-17年度

桜井

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中田 昭弘

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	①桜井市図書館への児童図書の寄付 ②桜井記紀万葉歌碑原書展手伝い		
実施日	①通年 ②平成28年11月19日～11月27日		
実施場所	①②ともに桜井市立図書館		
協力団体	①桜井市立図書館及び桜井市教育委員会 ②桜井記紀万葉プロジェクト推進協議会		
参加人数	会員	18 名	→→ 会員参加率 100 %
	市民	100 名	
	その他	0	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	①児童の知識向上 ②地域活性及び地域社会への貢献		
事業結果	①多くの子供たちが本に触れ新しい教養をもつことができた。 ②多くの団体がかかわり、期間中の手伝いを通して、各団体との横のつながりもできた。また、地域の人々とも原書を交えて交流でき、たくさんの人に興味を持ってもらうことができた。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

2016-17年度

桜井

ロータリークラブ

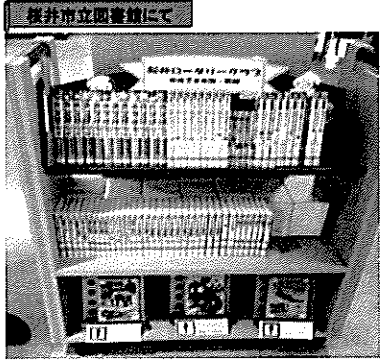
社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中田 昭弘

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	桜井市立図書館への児童文庫寄贈		
実施日	2017年2月8日		
実施場所	桜井市立図書館		
協力団体	特になし		
参加人数	会員 19 名 → 会員参加率 100 % 市民 不明 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	読書離れが続いている昨今、児童にもっと本にふれてほしい、読書の楽しさを知ってほしいという目的の元、文庫本寄贈が実施されました。  		
事業結果	多くの児童が本を借り、図書館にファミリーで足を運んでくれる姿を多く見るようになったと報告を受けました。図書館館長より状況を報告するメールを添付いたしますのでご一読ください。なお、上半期(7-12月)にも1度文庫本寄贈が行われていることもあり、メールはその実績についても触れられている。 桜井ロータリークラブ会長 内田リカコさま 桜井市立図書館の岩本です。 今年度ロータリークラブさんからご寄贈分の本日までの貸出回数をまとめました。 (添付資料) 今年度は、10月にシステム入替の臨時休館、3月に9日間の資料整理休館があり、その間は貸出期間が延びていたことを考えれば、回数をみるとほぼまんべんなく本が貸出されていることがわかります。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 桜井市立図書館 岩本		
新聞、TV等での報道	特になし		
事業予算	50,000	円	
事業執行額	50,000	円	

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中田 昭弘

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	としょかんにいこうプロジェクトinさくらい! 2017への打ち合わせ (3回実施)		
実施日	2017年2月10日、3月20日、4月5日 (打ち合わせ)		
実施場所	桜井市立図書館		
協力団体	(株)図書館流通センター		
参加人数	会員	19 名	→→ 会員参加率 100 %
	市民	不明 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
【目的】乳幼児期から青少年期まで読書に親しめる多彩なイベント事業を桜井市立図書館とコラボ形式で開催し、多くの市民のみなさんに図書館に来ていただく機会をつくり、新しい図書や雑誌の充実を図ることで、子どもおよび青少年育成のための読書環境の推進と醸成に貢献します。 【内容】★イベント事業1★英語多読のためのマイクロライブラリーinさくらい ・英語の本を多読するイベント。今回は、神戸市北区で毎月定期的に行われている「英語多読のためのマイクロライブラリー」が桜井市立図書館にやってきます。そのお手伝いをします。 ★イベント事業2★親と子のバルーンアート講座 ・プロのバルーンアーティストを招き、いろいろな実演や、親子でバルーンアートを作成。			
事業結果			
次年度事業へ向け打ち合わせへの参加が今年度の実施内容となる。次年度への準備がスムーズに行われており、共催の(株)図書館流通センターと信頼関係・友好性を深めることができた。また、早い段階から会員に周知ができていたことから、いろんなアイデアがだされ、参加意欲を高める結果となった。			
新聞、TV等での報道			
特になし			
事業予算	356,606	円	
事業執行額	356,606	円	

2016-17年度

やまとまほろば ロータリークラブ

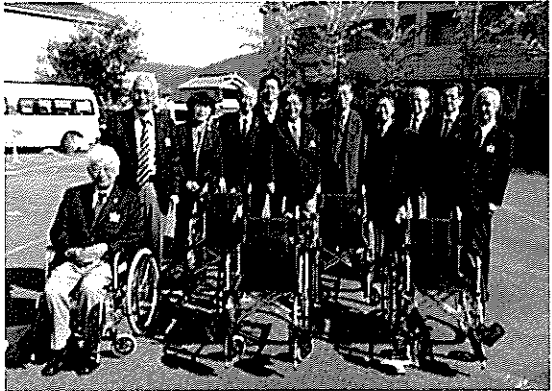
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 池側 義嗣

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	済生会中和病院 「健康フェア」		
実施日	2016年10月30日(日)		
実施場所	恩賜財団済生会中和病院		
協力団体			
参加人数	会員 11 名	→→ 会員参加率 35.50%	%
	市民 約500 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	桜井市阿部の済生会中和病院で行われた第12回「健康フェア」に参加。 開会セレモニーで、車椅子5台を寄贈。又、当日病院内で行われたイベント会場でロータリー活動を紹介するパネルを展示した。  		
事業結果	当日は、色々な催し物があり、健康チェック、健康づくりコーナー、医師会コーナー、ゲームコーナー、模擬店等、健康増進の意識を高める為に大勢の病院勤務者、関係者の方々が活動していました。 市内幼稚園児150人のマーチングバンドも参加、多くの地域の方々の参加もあり、大変賑わっていた。 		
新聞、TV等での報道	2016年10月31日付の奈良新聞に掲載		
事業予算	190,000	円	
事業執行額	190,000	円	

2016-17年度

やまとまほろば ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1～6月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 池側 義嗣

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第3回やまとまほろばRC会長杯 少年サッカー大会		
実施日	2017年4月29日(土・祝)		
実施場所	奈良県フットボールセンター		
協力団体	桜井市サッカー協会、(一社)奈良県サッカー協会、奈良新聞社		
参加人数	会員 15 名	→ 会員参加率	46.88 %
	市民 350 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
地域の少年サッカーチームの交流と青少年の健全育成に寄与する。  			
事業結果			
今回も、奈良県下より12チームが参加、サッカーを通じて参加各チーム間の親睦及び交流を深め、礼儀、礼節を学び、青少年の健全育成を図った。  			
新聞、TV等での報道			
大会前の、26日、27日、28日の3回に分けて参加チームの紹介を奈良新聞に掲載。当日は、奈良新聞社及び朝日新聞社の取材あり、奈良新聞は、30日に成績を掲載されました。また、5月29日の奈良新聞の全紙一面に、当日の写真と会長挨拶、及び奈良県下RC名を掲載しました。			
事業予算	500,000	円	
事業執行額	681,267	円	

2016-17年度

やまと西和

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 松本安司

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	社会奉仕事業 献血事業		
実施日	2016年9月9日		
実施場所	J R 王寺駅北側駅前広場		
協力団体	王寺町交通安全母の会		
参加人数	会員 25 名	→→ 会員参加率 100 %	
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	社会奉仕事業 献血奉仕事業 献血PRの為にポケットティッシュ配布・献血参加者への粗品進呈 後期予定、老人介護施設訪問 施設の方々に楽しい時間を過ごしていただく。 会員も参加し盛り上げ施設の方と触れ合う時間を持つ。		
事業結果	献血総受け付け72名 クラブ名入りのぼりや クラブ名入りジャンパーを着用しクラブのPRもできました。 献血PRの為にポケットティッシュを配布し、献血協力者には粗品を進呈しました。 老人介護施設訪問は 施設の方々に楽しい時間を過ごしていただく予定です。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000	円	
事業執行額	20,000	円	

2016-17年度

やまと西和

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

下半期(1~6月)

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 松本 安司

担当委員会名 : 社会奉仕委員長

事業名	やまと西和ロータリークラブ さわやかコンサート		
実施日	2017・5・27		
実施場所	奈良ベテルホーム		
協力団体			
参加人数	会員	20 名	→→ 会員参加率 80 %
	市民	50 名	
	その他	3 名	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	地域社会奉仕を広めるため、初めて老人介護施設奈良ベテルホームを訪問させていただきました。 岡本高光会長を始め会委員18名、ソプラノ歌手の内海緑さんにも参加を頂きさわやかコンサートを開催いたしました。		
事業結果	やまと西和ロータリークラブ さわやかコンサートと題して、奈良ベテルホーム入居者・利用者50名ほどの方にコンサートに参加して頂きました。 内海緑さんの「夏は来ぬ」で始まり、「琵琶湖周航の歌」我がクラブメンバーが歌う「夜霧よ今夜も有難う」も好評でした。「青い山脈」、「学生時代」等懐かしいメロディーを内海さんと共に歌いました。よく知られた歌になると入所されている方もマイクを持って大きな声を出して歌われました、手遊び「茶摘み」では会員と入所者されている方々とお互いの掌を合わせ笑顔満開、心まで温くなるひと時でした。 会員もとても楽しい時間を過ごさせて頂きました。 6月は、更なる趣向を凝らして、悠々の郷を訪問いたします。 今後も継続していきたい事業と考えています。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	30,000	円	
事業執行額	30,000	円	

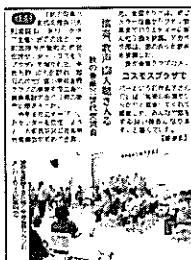
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 鈴木 勝士

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	市民交流施設へ環境充実設備の寄贈といきいき発信事業		
実施日	2016年10月29日(土)		
実施場所	大和高田市市民交流センター「コスモスプラザ」		
協力団体	片塩校区老人会連合会・婦人会・総代会		
参加人数	会員 30 名	→→ 会員参加率 30 %	
	市民 200 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	4月にオープンしました市民交流センターにスポットをあて、施設の充実と活性化、又この施設を通じて三世代交流を企画し、市民がいきいきと生きがいを感じて頂くため片塩小学校の金管クラブ、高田商業高等学校のアカペラ部を交えて秋の音楽三世代交流会を企画致しました。また物的支援として施設充実の為、タブレットパソコンとアクセスポイント各階設置工事、ワイヤレスアンプ一式、きぼう号時刻表、交流センター案内板等を11月15日の例会に市長をお招きし、目録贈呈式を行いました。 		
事業結果	ロータリークラブ主催の秋の音楽三世代交流会を開催するにあたり、各団体地域の方々に施設のPRを含め動員のご協力をお願いしたところ、当日満員の約200名の方々のご参加をいただき、出演する児童、生徒達は、張り合いのある場で良かったと思います。三世代が温かく見守りよき交流の場であったと思います。又、アンケート調査をさせていただき、市民の声として施設の思いを交流センターのスタッフに報告し提言させて頂きました。今後この施設を通じて継続事業を行ってほしいと市より要望を受ける。    		
新聞、TV等での報道	●秋の音楽三世代交流会 毎日新聞 2016年11月15日 奈良新聞 2016年10月30日 中和新聞 2016年10月31日 ●目録贈呈式 奈良新聞 2016年11月16日		
事業予算	円		
事業執行額	円		

2016-17年度

日本ロータリー
Eクラブ2650

ロータリークラブ

社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7~12月)

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 堀江 大典

担当委員会名 : 社会・青少年奉仕委員会

事業名	ケイタイ・スマホ安全教室		
実施日	2016年9月23日		
実施場所	岐阜県笠松町立松枝小学校		
協力団体	株式会社ドコモCS東海		
参加人数	会員 8 名	→ 会員参加率 16 %	
	市民 210 名		
	その他 教諭 6 名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	小学校6年生児童102名と、スマホ等を実際に購入される父兄102名を対象に、今後起こるであろうトラブルの未然の解決と、正しいスマホの使い方などを講演し、広く知識を深めた。四つのテストを含め、事前に資料を配布し、家庭での議論も呼び掛けた。		
事業結果	参加児童やその保護者が勉強不足、知識の不足に気が付き、トラブルなく安全に使用するためのフィードバック等々について質問があった。家庭でも話題になったことは今後に向けて収穫となった。ドコモCS東海の講師からは、購入する保護者の責任についての話があり、子どもをしっかりと叱ることが少なくなった最今、保護者から大いに感謝された。  		
新聞、TV等での報道	岐阜新聞に掲載 (平成28年10月14日) 		
事業予算	10,000	円	
事業執行額	150,000	円	

2016-17年度

日本ロータリー
Eクラブ2650

ロータリークラブ

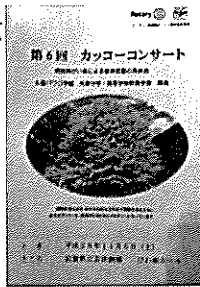
社会奉仕部門 事業報告書

上半期(7～12月)

報告者 役 職 : 会長

氏 名 : 片山 暁

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ロータリー財団設立100年記念事業視覚障がい者により音楽活動発表会「カッコーコンサート」		
実施日	2016/11/5 (土)		
実施場所	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール		
協力団体	滋賀県立盲学校 (社福) 滋賀県視覚障害者福祉協会 大津視覚障害協会 びわこハーネスの会		
参加人数	会員 21 名 → 会員参加率 42.9 % 市民 303 名 その他 光泉中学・高等学校インターアクトクラブ19名 出演者80名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	大津東RCとの共同事業 視覚障がい者為の音楽活動発表の場の提供と、一般市民に対して、RC活動の理解と広 当日募金箱を設置をして総額¥133,034円を滋賀県視覚障害者福祉協会に寄贈した。   		
事業結果	無料整理券の配布で予想人数が読めない中303名の市民が来場され、RC活動の理解と広報の場となった。視覚障がい者の皆さんの素晴らしいピアノや笛、ギターの演奏に、来場者全員が感動した。受付や誘導係のロータリアンは、積極的に車椅子の入場者対し、さわやかな対応が出来ていた。インターアクトクラブの生徒たちは、演奏者の準備や誘導にきびきびと動き、会場が一体となってこの演奏会を盛り上げた。 		
新聞、TV等での報道	びわ湖放送での取材および放映		
事業予算	800,000	円	
事業執行額	800,000	円	

まちづくり基金奨励賞

2016-17年度まちづくり基金奨励賞一覧

結果		事業名
最優秀賞	大津中央RC	安心・安全の街づくりのための 「徘徊高齢者捜索システムの検証実験」
優秀賞	奈良RC	藤原仲麻呂「実はいい人だった」プロジェクト
	京都洛西RC	嵯峨嵐山特別保存地域竹林整備事業
	舞鶴東RC	舞鶴一周トレイル 「大浦半島トレイルラン、ハイキング」大会
	奈良大宮RC	交通事故のないまちづくり活動
	生駒RC	産官学民＋RC 生駒山麓公園内桜並木樹勢回復事業～10年の歳月を経て
	京都西北RC	「わたしたち日本の食文化を知る 第2回」
	福井北RC	食育で街なかにぎわい創出プロジェクト
奨励賞	やまと西和RC	世界に羽ばたく人材育成と地域活性化事業
	鯖江RC	ロータリー財団100周年記念「国際交流座談会」 ～みんなで世界平和について語ろう～

国際ロータリー第2650地区 2016～17年度

まちづくり基金奨励金申請書

1. ク ラ ブ 名 : 大津中央 ロータリークラブ
-
2. プロジェクト名 : 安心・安全の街づくりのための「徘徊高齢者搜索システムの検証実験」
-
3. 実 施 場 所 : 滋賀県大津市浜大津中心とした大津市中心市街地一帯
-
4. 実 施 期 間 : 2016年12月3日(土) をメインとして2016-2017年度
-
5. 主 な 事 業 内 容

滋賀県においても、また大津市においても、認知症による徘徊高齢者が行方不明になるといった問題は、喫緊の課題であると考えています。同時に、住民一人一人が「認知症」への理解を高めていくことの必要性も、強く感じているところであります。このような取り組みは、これから迎える『超高齢化社会』への備えとして必要であるということに留まらず、希薄になりつつある「地域コミュニティ」の再構築にもつながるものと考え、ソフト面での『まちづくり』に貢献していきたいという思いで、今回、大津中央ロータリークラブにおいて、当該事業を実施いたしました。

メインとなる事業イベントとしては、H28年12月3日の「検証実験」と、その前段として「認知症に対する理解を深める講習及び事業説明会」H28年11月5日を開催しました。これに前後して、以下のような関連する活動も行いました。

- ①前段：参加者を集めるために市内各所におもむき説明会を多数開催した。
(社協会長会議、県担当課、市担当課、民生委員会、地域敬老会集会、学区自治会、大学、警察署など)
- ②説明会・講習会：(28年11月5日)約50名参加 認知症理解のための講習、搜索実験の説明等
- ③検証実験：(28年12月3日)約100名参加 詳細は添付の「結果概要報告書」参照
- ④事業後：事業報告(南郷学区2月23日)、事業報告書取りまとめ、各方面への結果報告等

今回の事業は、私達が生活していく街において、全ての住民が「安心して暮らせる 安全な街づくり」に少しでも近づくための、ある1つの手段の提案です。(認知症)高齢者及びそれを支える家族の人たちのための、セーフティーネット構築に貢献するメニューではありますが、これらに直接関わる人たちだけで完結できるものではありません。あらゆる分野の、あらゆる年代の住民が関わってこそ、効果を発揮するものだと考えています。

こういう性格の事業を実施できる団体はなかなかありません。まさにロータリークラブに求められる使命ではないかとも感じていますし、ロータリークラブだからこそできる事業だとも考えています。

「検証実験を開催して終わり」ということではなく、結果報告を携えて、市内の各所で啓蒙活動にも動いています。後援して下さった大津市や大津市社会福祉協議会をはじめ、滋賀県知事やマスコミ各社へも、報告書を渡しました。また市内の学区自治会での講演会活動(報告啓発活動)も開始しています。その結果、大津市や社協さまは、次年度も後援に前向きな姿勢を見せてくれており、マスコミ各社でも、この結果報告を記事として掲載してくれています。興味をお持ちいただいた自治会では、同様の検証実験を実施してみたいという動きもあります。

少しずつですが、広がりを見せはじめたこの事業を、次年度執行部でも継続的に開催していく方向で検討しています。

(なお、本事業は財団地区補助金受領事業ではありません。応募はしましたが不採用となりました)

※当事業について新聞等掲載は、4回(京都2回、朝日、毎日)、TV報道はびわ湖放送で1回されました。

6. ロータリアン参加人数 25 名 (クラブ会員数 30名)

他参加人数 75 名 (合計 約100名)

(ロータリアンとの関係 : ロータリアン家族等10名 ほかは以下の分野の方々)
大津市長寿福祉課職員、大津市社会福祉協議会職員、大津警察署、市議員、各地区民生委員
地域住民(敬老会、自治会、一般ボランティアなど多数)、企業労組組合員、企業従業員など

7. 費用と内訳

収入

クラブ調達資金	530,800	円
その他の資金	0	円
		円
		円
		円
合 計	530,800	円

支出

費 用	内 訳	金 額	備 考
実証実験機材関係	機器レンタル料	192,000	
システム運営費用	オペレーター	120,000	
説明会費用	会場費、資料作成等	88,800	
広報・準備費用	案内書・チラシ等	100,000	
看板など	看板、備品、郵送費	30,000	
合 計		530,800 円	

8. 参考事例

地区内で、この種の事業を他のクラブで実施したという事は聞いていません。

大津中央 ロータリークラブ

会長氏名 浜 本 博 志

日付 2017年3月16日

国際ロータリー第2650地区

2016～17年度

社会奉仕委員会

諮問委員 パストガバナー	坂本 克也	(京都八幡ロータリークラブ)
委員長	北野 加代子	(栗東ロータリークラブ)
副委員長	影近 義之	(京都東ロータリークラブ)
副委員長	宮倉 靖幸	(五條ロータリークラブ)
委員	岩井 美晴	(京都南ロータリークラブ)
委員	岩崎 新	(福井ロータリークラブ)
委員	久保 和子	(京都洛西ロータリークラブ)
委員	峰 覺雄	(長浜東ロータリークラブ)
委員	大島 國裕	(奈良ロータリークラブ)
委員	澤村 富哉	(大津東ロータリークラブ)
委員	竹内 順子	(福井フェニックスロータリークラブ)

